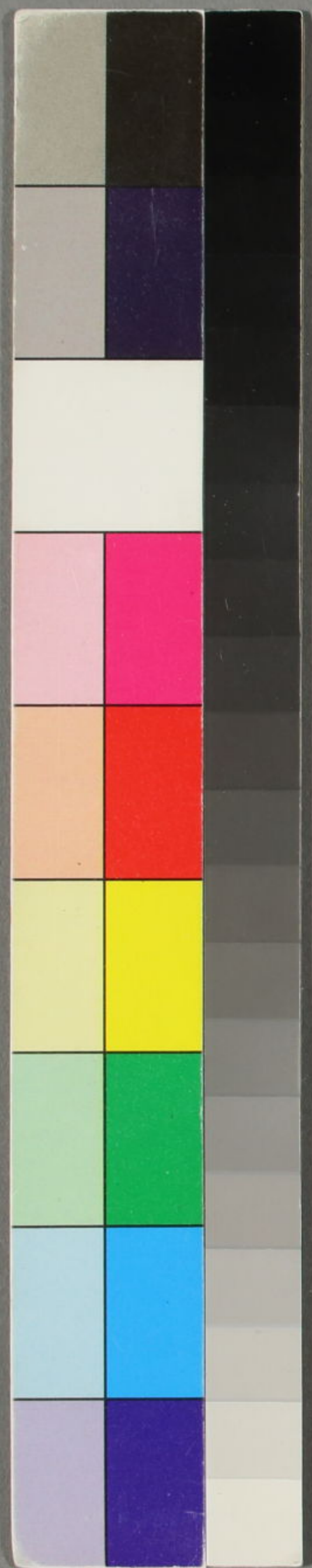


唐詩國字辨

三四五

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十



唐詩國字辨卷之三

五言律

五言律ハ七言律ヨリカタイニ作リヨイ方チヤ皆知テイル通り破題領題頸題結  
句ト云フカアル領題テハ上ノ句ヲ承テ云ヒ頸題テハ轉トテユクフチヤサリナカラ始  
終ノ命脉ガツカ子ハナク又今ノ詩人ノ詩ヲ見ルニ唐詩ナトノ中カラ一二字ツ、切テ作トニ間ハ  
ヨイ句モアレハ命脉カツカヌハヤクニタ、又是ヲ合点ノ字ヲガヨイ三體詩ナトモ云テアル如ク  
色々ノ名カ有テムツカシイナレハ上手ニ成テハ此ノヤウナハハイラヌ初心ノ内ノチヤ上手ハ其  
中ニ自然ニソナワツテイル初メ能ク守テ破題テハ景ニ對シ或ハ事ヲ引テ起リ或ハ題ニ就テ起ス  
破題トハ題ヲセツパスルチヤ次ノ領題テハ上ノ句ヲ承テ云ヒ次ノ頸題テハ轉ト云フ末ノ二句ヲ結句  
ト云題ニ就テ結ト或ハ前聯ノ意ヲ繳ス兎角一ヘンノ命脉ノツミクカヨイ去リナカラ唯ナニナク平地ヲ  
三ルヤツテハヨクナイ其中ニハ山モアリ川モナケレハ風景カ面白クナイ領題テハ上ヲ承テ頸題テハ轉ト  
テ云タカヨイ○排律ハ四句ツマシテアル隨分長イガ十二句ト四句チヤ排ハ行列ヲ立並ヘタ如クテ  
アル五言體カラ一體タテタモノデガシキヲ作タ如クガシキハカリデハスヌカサリカナケレハナラヌ  
ハ色々ノ文字ヲツカフチヤ中テタルムヤウナガアルゾコムリニ句ヲ置タ分デハ前後ノ  
ツリ合ガワルイ能クツリアイヲアンジテ作ルチヤ故事ナドヲ引用スルチヤヌハ學問モ  
ナケレハナラヌ先ツ四句ツ全篇ノツリ合ヲスルチヤ長句上意ニ短ク變スルハヨクナイ是デ  
合点スレハ四六對ナドモカケル四六ヲ書ク筆テナケレハ排律ハ作ラヌ前ニモ云如ク句カラヨ  
リモツリアイガ大切デ字眼ガアルコレニアル皆トモ手本ニナルヨイ詩テアル

野望

野外へ出テソコヲ望ミ見テ作ル王績ハ隋ノ末ノ者テ亂世ヲユヘヨリ処モナイヤウスヲ云フ

王績

東臯薄暮望徙倚欲何依

東臯ハ王績カフヲ東臯子ト云タフカアレコレトハ東方ノヲカ山ト云ニナル○暮方只ヒトリ東方ノヲ

五言律

カ山ヘキテ人家モナイ野外ヲノゾミヨリ処モナク徒倚ハ徘徊ノ  
貞テアラリトシテイルノ上ノ句ヲウケテ欲何依ノ三字字眼ナリ

落暉 常サヘモソサヒシイ野原ナルニ山々ハ秋ノ気色ヲ  
催シ夕日カゲノ体モノアワレニ思ハル遠ヲ望ムヲ云 牧人驅犢返獵馬帶禽歸

近ヲミレハクレ合ニナルユヘコガイノ牛ヲ先立テ返モアリ獵人ハ馬  
ノクラニケダモノヲクリ付テ歸ル込付テモナケレハ頼モナラヌ 相顧無相識長歌懷

采薇 詩ヲ作り長歌スルニツイテ古伯夷力無道ヲ悲シテ采薇ノ詩ヲ歌フタト同シ  
テ言外ニ亂世ヲカ ナレムヲカ知レル

從軍行 樂府題デ人ノ軍ニ從テユク  
ヲミテ手前ノ不遇ヲ憤ル

烽火照西京心中自不平 火カアガル此ノ火カ都ヲテラスニハ京中ノモノカ  
イニ思テ心 牙璋辭鳳闕鐵騎繞龍城 牙ハ將軍ノ旂ナリ璋ハワリフナリノソコ  
中不平 辭都ヲ出テ邊塞ヘユキツクト鐵騎ノヨロイ 雪暗凋旗畫風多雜鼓聲 雪ノ  
キタ武者カ龍城ヲ二重三重ニトリマワス 雪暗凋旗畫風多雜鼓聲 フルニ

百夫長勝作一書生 千夫長万夫長ト云ガアルニヨリ百夫ノ長ト云ハ小頭ノライ  
ノコチヤコノマヌナガラモ寧ワスカ十百夫長ニナルガ此ノ方

寧為 寧カニシテ

杜少府之任蜀州 杜少府ハ官テ蜀人ニ  
任セラレテ行ヲ送別スルナリ 王勃

城闕輔三秦風烟望五津 城闕ト云ハ禁裡ノ一闕ノ字ヲ付タハ蜀ハ要害ノヨイ処  
子ハナラヌ玄宗蜀ヘ落サセラレテヨリ後蜀ヲ南京ト云タモノニハ關ノ字ヲツケタハ三秦ト云ハ

有タコト都ノ一シナカニ京兆院ト云テ町奉行ガ立テアル三里モ西里モ隔テ東ノ方ニ左遷ト云カ  
アリ西ノ方ニ右扶風ト云カアル此レヲ一輔ト云此ノ三処ノ役所ノ中トイヅレニサワギカ起テモ殘ノ二

所カラ人ヲ出シテ相互ニ救ヒ合ニヨリ輔ト云○サテ其元ノユカル蜀ノ城闕ニツイテハ都ノ難儀ナ  
時ハ三秦ノ輔トナル処テ大切ト云テアル又風景ハ南ノ方五津ヨリ南蠻ノ夷ノ地トツマニニ時々

八夷氏ノサワギ出ヌ処テ大切ノ処ナレハ其 與君離別意同是宦遊人 六人ノユク処  
元ノヤウナオノスグレタ人デナケレバナラヌ 云ヒ立ルカ其人ノオヲホメルニナル○今君ト離別ノワケテナゴリヲシト云ハ吾モソナタモ共ニ宦遊

ノ身ノコト今此都テ其元ニ別レテ來年ハ吾モドコノ國ヘ追ヒヤラレヤウモレヌナレハ再ヒ逢フ  
リガタイ 海内存知己天涯若比鄰 去リナガラ互ニ心ヲレリ合タ知己ト云モハ海内  
天ノハテニ居ヤウニ比 無為在岐路兒女共沾巾 無為ハムエキナト云フ能ク思フニ

鄰ニイル同前テアル 如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナト云フ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リナカ  
ラコレハ男ナキ千ヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

五津 五津ト云ハ

無為在岐路兒女共沾巾

如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナト云フ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リナカ  
ラコレハ男ナキ千ヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

無為在岐路兒女共沾巾

如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナト云フ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リナカ  
ラコレハ男ナキ千ヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

無為在岐路兒女共沾巾

如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナト云フ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リナカ  
ラコレハ男ナキ千ヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

無為在岐路兒女共沾巾

如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナト云フ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リナカ  
ラコレハ男ナキ千ヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

無為在岐路兒女共沾巾

如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナト云フ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リナカ  
ラコレハ男ナキ千ヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

無為在岐路兒女共沾巾

如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナト云フ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリドシ同前チヤ去リナカ  
ラコレハ男ナキ千ヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

魁次樂鄉縣

南方ニアリ。是ハ訓解ノ註ヨクナシ。征ノ字カアルニ從軍ノ一見久ソウデナイ亂後ノ体ヲ云前此ノ処ニ來テミ

タトハチガイガアルト云フヲ作ル

陳子昂

故鄉杳無際日暮且孤征

今此ノ樂鄉縣ノ迹処ニキテ故郷ヲフリ帰テミレハ杳然ト遙ニ限リモナイヲキヤヒトリ旅ノコトニケル

方マテホツク宿ヘツクマデハ行カチオラヌ物ウイヲキヤ

川原迷舊國道路入邊城

マヘカタ此ノ処ニキテミタトハ何モカモナガイ。舊國

コレモナガフタアレモナカフタト思ハ別レテ心ボソイ。迷ノ字ヲコメテ非舊國ト云フテアルノソレヨリノ路ノカタワラノ山城トドノアル処ヲ通テミレハ是ハ少シ昔ニカワラス存レテアル

野戍荒烟斷深山古木平

野戍ノ番手ノ居処ナドモ荒レハテ人カケモナイ段々ヲク山ヲ見レハ古木ノ枝ナドカマツ手ヲニ揃テ見ユル

如何此時恨嗷嗷夜猿鳴

只サハ悲イニ此ノ時ノ恨嗷々トカカヒスレク。ウラメレゲニ猿ノ鳴ヲキイテハドフモ堪ヘラレヌデアアル

春夜別友人

銀燭吐青烟金尊對綺筵

夜酒モリノコトニ銀簿ナトヲ以テ飾タリツハナ蠟燭ヲ立トボスヲナレハ烟リモコト吐キ金尊ノケカフナ樽

離堂思琴瑟別路繞山川

サテ今夜離堂ノ別レノサレキデニギソレク琴瑟ヲウキハヤ

明月隱高樹長河沒曉天

明月ノ影ハ高樹ニカレ長河ノ没ハ曉天ニカレ

悠悠洛陽去此會在何年

悠悠ハ長河ノ内ニ宵ノ中ニ三ハ夕明月モ高樹ニカクレ長河ノアマノ川モ曉方西ヘオカレテ見ウレナイ

送別崔著作東征

金天方肅殺白露始專征

金天ハ秋天ノコトデカタイ文字ナレ下ノ白露ト對スルニヨイ。金天秋物ヲ鳴ヌ殺伐ノ時ニ乘レテ征伐ス

王師非樂戰之子慎佳兵

サテ王者ノ師ヲ出サルト云モノハ有征無戰トテ是非

海氣侵南部邊風

海氣侵南部邊風

莫賣盧龍塞

莫賣盧龍塞

歸邀麟閣名

盧龍塞アタリテヨイクライニコシラヘトヨシテソレヲウリツケテ都ヘカエ

蓬萊三殿侍宴奉敕詠終南山

杜審言

北斗挂城邊南山倚殿前

長安ハ北斗星ノ真下ニ當

雲標金闕迥樹抄玉堂懸

雲標金闕迥樹抄玉堂懸

ヨリニレバ金剛カ遙ニ雲ノハツレニ見ヘテ玉堂ハ大抵天子ノゴザサレル処ヲ云時ニコトハ終南山ノ上ニアル山神堂ヲ云トニヘルソウモシテミ子バツリ合ガワルクナル南山ノ頂ノ樹杪ヲウキコレテ山神堂カ高ク懸テ三ヘル 半嶺通佳氣中峯繞瑞烟 御所ノ佳氣カ南山ノ嶺マデ通シトイニ中峯ノマシナカコロテ天子ノ目出度イ瑞烟カヒキマクツテ 小臣持獻壽長此戴堯天 小臣壽ヲ獻シイワフテイツマテモ長ク堯ノ如クアルノ御世ニツカテアリタイモノト君ヲ思ハ身ヲ思ト云辨ヲツケテミレバヨクシレル

和晉陵陸丞早春遊望 早春ノ遊望ト云ガサキノ題ニシメ 晉陵ハ南方ノ陸氏ノ者ナリ

獨有宦遊人偏驚物候新 春ハ面白イハツナルニ吾モソナタモヒトリ官遊ノ人バカリテ備ニ節物氣候ノ新ニウツリ替リアラタナルニ驚テアル

雲霞出海曙梅柳度江春 春ニ南國ニキテイルコト朝ノ雲マ霞ガ少シ赤フニハルトキニ海ヨリ日ノ出ルガニル梅柳ナドニハマダ花ノサカヌコト云ハ見タコトイ梅ナドモ早春ニハ都テハ花ハサカヌニ

淑氣催黃鳥暗光轉綠蘋 淑氣ハタカナカカガ鳥ナドヲ催促シテナカセ春ノ初ノコトウキ草モハナナルニ暗光ノ日カケガキラウツルテアル轉ノ字テ浮草ノコトニアルト云ガシレル 忽聞歌古調歸

思欲沾巾 其元ノスケレタ古調ノ中ニ故郷ガコイレイト云ガ作テアルヲミテ吾モ忽チ故郷ヘカエリタフ成テ欲沾巾

和康五望月有懷 康氏カ望月有懷ト云題ノ和ナリ

明月高秋迫愁人獨夜看 秋ノソラノ高クスミワタリタルニ月カ高クカリテ遙ニミヘ只サハ月ハモノ哀レシト懷アル愁人カ獨リミルコトハ餘カナシ 暫將弓並曲翻與扇俱團 將ノ字兼ノ字與ノ字皆同レ意テ前後ノ文字ヲ結テアル此此七八日ノ間弓張月テ有タガ早ヤ十五夜ニ成タユ團 露濯清輝苦風飄素影寒 露ガレツホリト下リ清輝ノ月カサキキ肩ノ形ニ成タ 羅衣一此鑒頓使別離難 羅衣一此鑒頓使別離難 此サテク旅ハハカナイノ義テ月ノサキツタノチヤ風モ月影ノサハ切タ素影ヲ飄ヒテ除寒クニ 羅衣一此鑒頓使別離難 此サテク旅ハハカナイクナルマテヤツハリ 笈衣ノマテイルコレラヲ三ルニツケテモ別離ノニクイヲ頓ニ合点ヒテアル

送崔融 崔融カ從軍シテ書記ニシクヲ送ルト見ヘル

君王行出將書記遠從征 此時分天子ノ御出陣ト云フハナカツタ親王方カ諸侯ノシキクニ御出ナサルコトニ才智ノスケレタ其元ヲ書記役ニ仰セ付ラレテ遠ク征ニ從イユカルガイコフハレナキテアル 祖帳連河闕軍麾動洛城 祖帳上云ハ祖ハ行ヲ送ルノ祭ナリ黃帝ノ子壘祖遠行ヲ好テ道ニ死ス故ニ後人以テ行神トス帳ハ酒幔ナリノ河闕ハ伊闕河水ノ經ル處ノ名ナリノ全行ク人ヲ送ルハナムケノ場テ道ノ神ヲ祭リ其方方ヲミレハ河闕ノ方マテ連テアルノ軍麾トハ軍兵ノサレル小旗 旌旗朝朔氣笳吹夜

旌旗朝朔氣笳吹夜 旌旗朝朔氣笳吹夜

邊聲

此二句邊塞ノ景ヲ思イヤツテ云。朝旌旗ヲ立テ朝氣ノ北風ノ寒イニモユクシク立ツラニテ置夜モスガラ聞ナレヌ胡笳ノ哀ノ聲ナドヲキカレタナラバ。サゾカナレイフテアラフ

坐覺烟塵掃秋風古北平

其元ノヤウナスグレタ人ノユカル、ノニ邊塞ノ烟塵ヲモ坐ナガラ掃イニツム。胡人ニトラレタ北平郡モ。秋ノ時分ハトリカ(サ

ルニテアラフ

扈從登封途中作

宋之問

高祖ノ時秦山ニ封禪アリレニ。扈從ニテ途中ノ御休足所テ作ルナリ。帳殿鬱崔嵬仙遊實壯哉。崔嵬ト高ク鬱然トモリトシタ中

二帳殿カアル天子ノ出行ノアル處。帷帳ヲ以テ宮殿ヲ設ル。トヤカヤウニ天子ノサカニ仙遊ナサルハ。實壯哉トイミヌテアル。曉雲連幕捲夜火雜星

回。山ニ登レハ。ハッロク夜ガアケテクルニヨリ。帳殿ノ幕ノハツテアル處カラシラニカリ。雲ト幕トヲ一ツニマクヤウニアルマダクライユハ。松明ヲ持テユクガ。甚タ高イ處ニ登ルニヨリ。星ト雜リ一ツニナリ回ルヤウ

二見。谷暗千旗出山鳴萬乘來。谷アイン暗イ處ヲ大勢御供ヲツレラレウチハヤシナト。ガコタニヒ、キ山モ鳴リワタル。漢ノ武帝ノ時山呼

歲ト云タフガアル。扈遊良可賦終之。按天才。カクノ如クノ仙遊ニ扈從スルト云ハ。珍ラシシ。イフテ良可賦。楊雄如キ。按天才オカ

之イユ天子ノ御目通りヘ石出サル、ヤウナハハイト云。テ。實ハ揚雄ニモヲトラヌオテアルト云フナリヤ

送沙門弘景道俊玄莊還荆州應制

此三人ハ天子ノ歸依僧テアル

一乘歸淨域萬騎餞通莊

三人ノ高僧タチカ一ツ車ニ乘テ蜀ノ方清淨ノ地ヲ尋子ユカルニツイテ。天子カラ仰付ラレ萬騎ノ大勢カ。通莊ノ

就日離亭近彌天別路長

別ル處モ天子ノ御近處ヲ。遠三天ノハテカラ。ハテ。テ。ヲ。エ。ワ。タ。レ。ニ。アル。處。ヘ。遠。ク。ニ。カ。ル。ギ

荆南旋杖鉢渭北限津梁

南方蜀ノ地荆南ノアタリヲ。杖鉢ヲタクラシ。濟度セラル。テアラフガ。今都渭北ノ方ニヲ

何日紆真果還來入帝鄉。何レノ日カ。紆。真。果。還。來。入。帝。鄉。何レノ日カ。移。行。成。就

長寧公主東莊侍宴

李嶠

長寧公主ハ中宗ノ姫宮ニ揚慎ト云モ。別業臨青甸鳴鑿降紫霄。サテ此別業ニサテ此別業ニサテ此別業ニ

鳳凰調。去ル程ニ公主ノサシキノ長筵三百官百士カ。鶴鷺シ位ニヨツテ。順ニナラフ。調ハ和調。フ。テ。調。子

樹接南山近煙含北渚遙。ヒロカカラ樹木ガ終南。山マテ引ゾ。イ。テ。アル。ヤ

承恩咸已醉戀賞未還鑣。皆御酒宴ニ。ア。カ。リ。恩。ヲ。タ

承恩咸已醉戀賞未還鑣

皆御酒宴ニ

ケテ酒ニ酔テイル身レ公主ヘノアサツテ皆酒ニ酔テ座敷ノ風景ニ  
ミホレ天子ヘ御歸リラス、ムルモノナク、天子モ御志レナサレテカカルヲ云

恩敕麗正殿書院賜宴應制得林字  
開元十二年玄宗麗正  
殿ヲ置テ文学ノ士ヲ

張說

聚ル修書侍講、其外テ御酒宴ニツカリ詩ヲ作りマセシ  
ト詔アツテ作ルニツイテ、切リ韻テ林ノ字ヲエタモノナキヤ

東壁圖書府西園翰墨林  
東壁ノ二星ハ文籍ヲ主ル星ニテ天下ノ圖書ガイレテアル今  
麗正ノ書院ニライテモ東壁ト同シテ大切ノ圖書ヲ入

レカカル処ナキ、其外ノ翰墨ニ達者ナオカカ林ノ如ク  
集テイハ翰墨林トイハオ人ハ大勢集テイルトニナル  
誦詩聞國政講易見天心  
詩ヲヨ

セテ風俗ヲアラタムルヲオキナサレ或ハ  
易ヲ講セサセテ天ノ思召考ヘラル、  
位竊和美重思叨醉酒深  
書經ニ若作和  
美爾惟並梅セ

ヨト有テ天下ノ政ヲナラハント云フガアル、  
クテアルト云モノハ及ヒモナイ、  
テアル此ノ御恩ヲウケテ御酒宴ヲタハルト云ハリガタイ、  
ヲヤハ位

恩上云守折用タモノデ  
載歌春興曲情竭為知音  
ロベタノナリテ春興ノ曲ヲ作  
テ奉ル天子ノ詩ニ巧ナルニハ

如此ハバカラズ情ヲツクシテ申上ル知音ハ音樂ニツイタ  
一ナレト天子ノ詩ニ巧ナト云フニナルナリ

還至端州驛前與高六別處  
嶺南ヨリ端州ノ驛ニ歸ルニツイ  
テ前ニ高六ト別レシ地ニシテ高  
六ハ死セシヲ思ヒ出シ  
舊館分江口凄然望落暉  
端州ノ驛ニキテシテ此分江ノホトリノ館  
テ昔ニ高六ト別レタ処ヲアルト思ヒ出シタ

日カケモ凄然トシテナニトナク哀ヲニシ眞ト  
此処ニ別レル時分ニ相至ニ禮義ヲセシガ  
相逢傳旅食臨別換征衣  
旅食トハ儀禮  
ニマフテ互ニキテイタウワキノヤツナモ  
ノヲ重テテ出逢シシニ取テキテ別カ  
昔記山川是今傷人代非  
吾今此ノ外ニ歸ルニ三  
ハ山川バカリイハ人代ハ非ナ  
高六モ死テ今ハ跡ヲ多トイ  
往來皆此路生死不同歸  
別レル時分ニモ今ニ歸ルニモ此  
路ヲ通ルノナルガ高六ハ死  
レ歸ル向フセヌハ  
ガニ子ニシテアル

幽州夜飲  
幽州ハ北方ノ地ナリ大將ナ  
上ニ成テイタモノ上ニル

涼風吹夜雨蕭瑟動寒林  
時分カラ秋ノノニ涼風カ夜雨ヲ吹キ寒林ヲ  
動シ風ノナル音ガ蕭瑟トモノサビクキコヘル  
正有高高

堂宴能忘遲暮心  
上ノ句ヲウケテサビシイニシケテ皆カトリハヤレテ高堂ニ酒宴ヲ催シ  
慰メテクレルレ此ノ年モ未ニ成タヨト思ヒ出シテ忘レカサルニ遲

暮八月日ノクニユクノナレ年ノヨル  
軍中宜劔舞塞上重銘音  
軍中ノノノバ常  
マデコノヤウニ志シラエヌト云意テアル  
ニテクサムト云ニモ

劔舞大トラスル吹キモノトイハハ胡人ガ動ニスル筋ヲ  
フクガ何レモ都ニナイノニ馳走ニスレ却テ悲フナル  
不作邊城將誰知恩遇深  
此

ヤウニ邊塞ニ來テ人ニモテハヤサルト云モノハ天子ノ御恩ノ深イユナチヤ邊塞ノ大將ニ成テミ子ハシレヌ  
トスラリト云テ置ヤウナレ能ク氣ヲツケテ見ルガヨイ涼風蕭瑟ト都ヨリモノサビシク劔ノ舞胡筋

大トモ面白カラヌモノテ都ノ音樂トハイコフチカフタモノデヤ  
天子ノ御前テ御酒宴ニアツカルヤウナモノデハナイト云也

五律

宿雲門寺閣

山門ニ登テ宿スルナリ

孫逖

香閣東山下 烟花象外幽

雲門寺ハ東山下ノ一段高イ処ニアル烟花ヲヨリアタリノ風景モ人間世上チガイ格別靜カニヲクフカイ

懸燈千嶂夕卷幔五湖秋

日クレテフラフミハ山寺ノ門ニ高ク燈ナドカ懸テアルノ夕ノ字ト夜ノ字ト同シ

畫壁餘鴻雁紗窗宿斗牛

壁ニカイトアル畫ニ古ク成テ所々ニ雁ナドガ一二羽殘テアル紗窗ノモチ

更疑天路近 夢與白雲遊

上ノ句テ斗牛ノ間近クミルハ更ニ上天ヘ上ル路モチカイヤクニ疑ハレ

夢與白雲遊 夢ニ白雲ノ遊ハイト白雲ト共ニアソビダヤウニ思ハル

素蜀西至劔門

玄宗ノ駕カラ歸

玄宗皇帝

劔閣橫雲峻 巖輿出狩回

劔閣山ハツト雲ニ横テ峻ク天子ノツニ巖輿ヲメクラシ出狩ノ回ル出狩ハ天子ノ他國へ出ル春秋以來出狩ト云フ

翠屏千仞合 丹嶂五丁開

道ノ左右ヲミルニ屏風ヲ立タ如ク千仞ノ山ガツキ連ツテミル切リ通シノ道ノ両カワハ丹嶂ヲ昔シ五人ノ力モ切

灌木紫旗轉 仙雲拂馬來

樹木ノ間タラ旗ヲタテガリ轉シテ御通リナサラルニヨリ木末ニ旗カ

乘時方在德 嗟爾勒銘才

今ニ時ニ乘シテ天下ヲ治ムルト云ハ方ニ德ニ

在ル義チヤト嗟嘆孟陽ガ才ヲオホメナサルニテアル

塞下曲

樂府題

李白

塞虜乘秋下 天兵出漢家

秋ハ馬モ違者ナツイテ塞虜ノエビスモ秋ニ乘シテ都

將軍分虎竹 戰士臥龍沙

漢制ニ銅虎符竹使符ト云カアル共ニワリフテ平生ハ竹使符ヲ用ユルワリ

邊月隨弓影 胡霜拂劍花

夜モスガラ急度子スヨク矢トリ劍ヲヌキニシテイルニ

玉關殊未入 少婦莫長嗟

ツテイルニ玉關ニ入ルツガ

秋思

景色ニツイテ 閨怨ヲ云フ

燕支黃葉落 妾望自登臺

時分カラ秋ノツニ吾カ夫ノイル燕支山アタリモ木ノ

海上碧雲斷 單于秋色來

吾カ夫ノイル方ハアソコカト海上ヲ望メ庄一向ニ何ノ別チモナク碧雲ガ斷



テ北狄軍于方カラ秋色ノ物サヒ  
シイカ見テ唯遠イノミデア  
コゴモ都カライタ御使カ玉  
カラサキハ通リ夕子テ歸タ  
ルクニ夕夫ノ婦ヲスウキニ  
シイフキヤ。蕙草ハ婦人ノ顔色ノフナリ

送友人

青山横北郭 白水遶東城  
一為別 孤蓬萬里征  
浮雲遊子意 落日故人情

揮手自茲去 蕭蕭班馬鳴  
見說蠶叢路 崎嶇不易行

送友人入蜀

見說蠶叢路 崎嶇不易行  
關山度若雪 冰天雪地  
馬行苦  
見說ハ只見ルト云ギナリ  
關イタ人ナリ 蠶叢トイハ蜀ノ  
一ハ蜀ノ一ニナル其元ノユカル

送友人入蜀

見說蠶叢路 崎嶇不易行  
關山度若雪 冰天雪地  
馬行苦  
見說ハ只見ルト云ギナリ  
關イタ人ナリ 蠶叢トイハ蜀ノ  
一ハ蜀ノ一ニナル其元ノユカル

棧道羅路入 口ニ劍閣山ナド  
云テサガレ山ガアルフレラ  
コカルノナレハサキガツカ  
ユテ不易行処ヲ通ラレ  
デアアラフ

山從人面起 雲傍馬頭生  
雲ナドモムラクト馬ノ前  
カラ立ホル

芳樹籠秦棧 春流遶蜀城  
道スガノ風  
景ヲ云。棧道

升沈應已定 不必問君平  
人ハ仕合不仕合ハ前カラ  
定テイル必ス疑ラ起  
シテト者ノ君平ナドニ問  
ハルニ及ヌキト存スル

秋登宣城謝眺北樓

江城如畫裏 山曉望晴空  
朝日分水ニサレシテケル  
時分  
ニハ別シテ晴切テ見イチヤ

兩水夾明鏡 雙橋落彩虹  
ハサム如クキラク見ヘ  
兩水ニカケテアル橋カ  
虹ノ如クソツテ水中ニウツ  
ラフ

人烟寒橘柚 秋色老梧桐  
老梧桐 入烟ハ人家ノヤ  
ウス楚ノ地夷ノ近処テ  
人家モマラナト云一カ  
寒ノ字テキコル橘柚モ  
青

誰念北樓上 臨風懷謝公  
秋モ未ニ成タニ梧桐ノ葉  
モ落テ物サヒニ氣色ヤ

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上  
ナモノカイルナラハ共々  
詩テモ作テ慰フト風景  
ニ兼ニテドコニナク

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上

謝公才力 謝眺カ如キ詩ノ上

臨洞庭

岳陽樓ニ登リ洞庭ヲ見ラロシテ作ル

孟浩然

八月湖水平、涵虛混太清

八月、湖水平、涵、虚、混、太清、朝日ナトノ出ル時分、楚ノ七澤ノ内、雲夢ノ下カラ、水ガム

氣蒸雲夢澤、波撼岳陽城

朝日ナトノ出ル時分、楚ノ七澤ノ内、雲夢ノ下カラ、水ガム

欲濟無舟楫、端居恥聖明

書經ニ若濟、巨川、用、汝、舟、楫、ト云フガアル、濟トハ

吾も一ツ天下ヲ治メテニタイト思ヘ、舟楫トナルオガナイユニ、御當代ノ聖明ニ恥シテ、端居ト

ツ、タリト手ヲコマメイテ、ナニモセズニ居ル、實ハ吾も舟楫ノオアレ、凡今ノ天子カクライユニ、我カ器

量ガ知レヌト、坐觀垂釣者、徒有羨魚情

董仲舒カ策ニ、臨淵羨魚、不如退而、結網トアル、吾もイナカラツリラタル、

題義公禪房

義公習禪寂、結宇依空林

此ノ義公ト云人ハ坐禪ズキテ、習禪寂トヒキコンテイヤ

作テ戶外一峰秀、階前衆壑深

景色モヨイ処テ、座鋪ノ戸ヲヒラクト、マ向ニ

カク連ツテ夕陽連雨足、空翠落庭陰

一峯カ高ク秀イデ、ミル下ラミレハ、谷々カフ

終南山

王維

ナク家ハ影カサレシ、ン

看取蓮花浄、方知不染心

庭ノ池ニ蓮花ノキヨラカニ咲テ

太乙近天都、連山到海隅

終南山一名太乙山ト云此ノ山ニライテハ、甚タ高ク天帝ノ

ツラナツテ小山丘ガ四海ノ隅々ニテ連リアル

白雲廻望合、青靄入看無

今ニテ向ノ峯ガニ、タガチヨツト

面ニテリ山ヲ遠クヨリミレハ、一面ニ青々トシ

分野中峰變、陰晴衆壑殊

山ノ上モ廣大

ノ分野モ中峯ニテ變シ分テアル、谷アイヲ見ヲ白セハ、曇テ小雨ナトガフリ

或ハ晴レ切テアル、谷モアル、是ニテ山ノ大キナヤウスヲ云テ下ノ句チサレヲ云

欲投人處宿、隔水問樵夫

過香積寺

不知香積寺、數里入雲峯

香積寺カアルトハ、キケヒツイニ來テニ、ヌニ知

無人逕深山、何處鐘

古木ノ三生ハ、茂テ人逕モナイニツイテ、是ハ香積寺ニ、ナクニ

ヨツテコレト思テ行テ  
 ミレハ果シテ寺ガ有タ  
 ナドノサラクト危石ニ咽ニテ流ル、景色イカサテ物シツカナクイヤノ危石トハ石ノ出張テ高ク  
 成テアルヲ云山ヲクノクニ夕日影モ青々トシテ松ノ間ニサシコム物スサシクサムトニユル  
 薄暮  
 空潭曲安禪制毒龍  
 ライカフモノ静デ面白イツイテ暮合デモ空潭ノ人影モイ  
 水ギワニツクリト坐禪ヲシテ居レハ吾ガ心中ノ毒龍ヲ制伏シ  
 昇ヘテアラケ  
 出ヌウデアアル

登辨覺寺寺ハトコニア  
ル所知レヌ

竹逕從初地蓮峰出化城  
初地ハ入り口ノ義ニテ入り口ハ竹ヤデ其竹藪ヲワケ  
 入レハ思ヒモヨラヌ処ニ寺ガアルノ化城寺ノノ思ヨラヌ処

天地カラ寺ガ出現シテ  
 アルト驚ダヤウスラ云  
 窓中三楚盡林外九江平  
窓ノ向ニ楚國ノハテカラハテガ盡  
 テニハ林ヲウチコシテ洞庭九江ガ

嫩艸承趺坐長松響梵聲  
嫩艸ノワカ艸ノ上ニツクリト心ヨク  
 シテイレハ長松ノ間ニ御經ヲヨム声ガヒ

空居法雲外觀世得無生  
浮世ヲナシテ空居法雲ノ外ニ無常ヲ觀  
 シテイレハ無生法恐ヲエタカト思ハルノ維摩

經是天女所願具足得  
 無生法恐ト云フヲ引用ユ

送平淡然判官軍ニ從テ行ヲ  
送ルナリ

不識陽關路新從定遠侯  
後漢ノ班超出テ西域ヲ征ヌ五十余國ヲ安集シ定遠  
 侯ニ封セラルノ会始テ定遠侯ノ頭ヲ從テ隨テ西域ノ

傍ラ出口ノ陽關路ヲ  
 モシラス行カルノナレハ  
 黃雲斷春色畫角起邊愁  
段々邊地ニ赴カルニ隨イ空ヲ  
 モハレヤラズ春モタヘテ物サヒシ

イ道中テアラフ其上ヘキナレ又笛ノ  
 声トドラキカレタナラハ心細イテ有フ  
 瀚海經年別交河出塞流  
西域ノ瀚海アタリハ  
 甚タ遠イナレハ

子ヨトイテ歸ルト云フハナラヌニ三年別レニルト云モノイヤノサテ交河ノ天山ヨリ  
 分流ニテ塞ヲ出テ流ルヲニテ通ラル、時分サククタビレラル、デアアラフ  
 須令外國使

知飲月支頭  
邊塞ヘ行カレテ胡人臣ガ使ヲコレテアルナラハ昔シ漢ノ時月支王カ首ヲ切  
 テ飲器ニシタヤウニキツイヲ云テキカセテ中國ノ威勢ヲニセツケテ

レ必ス氣ヨワナクヲセラル、ナ、匈奴カ月  
 支王ヲ切テ首ヲ飲器ニ作タ故事ヲ用ユ

送劉司直赴安西

絕域陽關道胡沙與塞塵  
中國カラ絶ヘ切タ西域安西ノカタワラニ行カルニツイテ  
 ハ陽關ノ道スガカラ胡國ノ地ハ渺々トシタ沙ハラテア

三春時有雁萬里少行人  
西域ノ地ハ春モ寒イニハ雁ナドカイルカヤウナレハ  
 一日アルイテモ行人ニ由合ヌヤウナサヒシイ処チヤ

首宿隨天馬蒲萄逐漢臣  
其元ノユカルニツイテハ漢ノ李廣カ如ク中國ノ威勢ヲ  
 ニセテ西域ノ各馬首宿ノ馬艸ナドヲ貢ニ上ケ蒲萄

酒ナドテ漢臣ヲ逐イ  
 カケ獻スルヤウニシヤレ  
 當令外國懼不敢覓和親  
ラズイフン外國ニ威ヲニセツケテ漢  
 ノ高祖ノ如ク匈奴ト和睦ヲシテ

親類ニナルヤウナ手ヌルイ  
フヲシヤルナ

送邢桂州

邢ハ氏ナリ桂州ノ  
太守ニ成テ行ヲ送ル

鏡吹喧京口風波下洞庭

太守ノフク吹キモノナトヲシテ通ルニツイテ喧シクニギヤ  
カナフチヤ今此ノ京ヨリ舟ニテ南方洞庭ヲノリヨシ

赭圻將赤岸擊汰復揚舲

赭圻ハ吳ノ置所也所ナリノ舲ハ船ノ窓ノ戸ナリ汰ハ水  
波ナリノサテ西方ノ山ヲミレハ吳國ノ陣屋ヲノア赤圻

日落江湖白潮來天地

日落江湖白潮來天地

青

月力横スチカイニ海ニツツラフテツツ白ニ潮モ  
三チ來テドト云カギリモノク青ク見ユル

明珠歸合浦應逐使臣星

桂州ハ漢ノ合浦ノ近クニユカルナレハ昔漢ノ順帝ノ時孟嘗合浦太守ニ成テイタルハ前ノ太守カ  
貪穢ナニ他境ニ徙タ珠カ孟嘗廉介ナニ再ヒ合浦ニ歸タ云フカアル今其元モ孟嘗カ如キ人ナレ  
ハ外ハ散タ明珠モ歸リ集ルテアヌフ。使臣星ト云テ後漢ノ李郃能ク星ヲ知テニ使臣ノ益ニ向テ見テ使  
ヲ遣ノ男ニ入タ云故事テ使臣星ト云テヤリ太守ノフニナル珠ト星ト縁ナル文字ニミラニ合テ用タ多也

使至塞上

單車欲問邊屬國過居延

漢武帝ノ時蠻夷漢ニ屬スルニ屬國ト云。居延ハ古ノ  
流沙ナリ。大勢ノ大將ヲモナク手ニワリ少クテ單

征蓬出漢塞歸雁入胡天

漢塞ヲ出テ蓬ノ飛ズ  
トクアルモノク遠クニ行

大漠孤烟直長河落日圓

沙漠ニ出テ山モナク風モナイニハ  
家ヨリ立チ上ル煙モナシノサワリモ

蕭關逢候騎都護在燕然

モフ都護府ノ間モ  
アルニト思テ蕭關

候騎八案內者ヤウナモノデアル

觀獵

獵スル者トツレダツテ  
一日アルイタヤウスヲ云

風勁角弓鳴將軍獵渭城

冬ニナルト風カハゲシイニ弓ノニベモカワイイガラク弦ノ  
音ガ鳴テカリヲスルニヨイ時分ニ將軍渭城カカリニ

出州枯鷹眼疾雪盡馬蹄輕

州ガ枯レテ鷹ノカケヒキモ目バヤニスルトク雪モキ  
エテ狐兔ノヤウナモノモドニイルト云カニテ鳥モ

忽過新豐市還歸細柳營

獵ラレテ忽モモナク長安ノ新豐  
ニ市ニ寄テヒルヤスミシレテソレヨ

回看射鵰處千里暮雲平

早ヤ日モ暮合ニ成テ一日獵ラレタ  
ヲフリカツテハ遙ク遠ク暮雲カ

知不足遠處マテユクモノキヤト去義テアル

送張子尉南海

岑參

不擇南州尉高堂有老親

南海人ノイヤル処ニ常在モナラユクマイケレ  
此ノ人ハ母親ノタバカリニユカル、氣ノ毒ヲフニアル

五律

臺重リ蜃氣邑里雜リ鮫人ヲ南方ノ替々ニ海ニ樓基ガデキル此レ蛤ノ吐ク氣ヲ吐キヤリ

イル南都賦註鮫人水底居從水中ニ出寄寓人家ノ買ハ鮫ト云語ヲ引用

海暗三山雨花明五嶺春ノ番山馬山堯山ヲ三山ト云五嶺ニ

モアル通リ南方ハ暑氣ノ強イ処テ海上モ常ニ雨ガフリ此郷多寶玉慎勿厭清貧

此ノ南海ノ地ハ寶玉ノ澤山ニ出ル処テ欲フカテ奉行カユクト五ガ外ヘ去ルト云ホト隨分大ニナカラ清貧ヲ守テゴザレ

寄左省杜拾遺ニ杜子美モ岑參モ同シ拾遺ニテ役所カ左右ニ隔テアル

聯步趨丹陛分曹限紫微ニ參内スルヲリハ丹陛ヲ聯步シテ上リ退テハ禁裏ノ御殿ノ左右ニ曹カアルヨリ紫微ヲ限リ分曹シテアル

曉隨天仗入暮惹御香歸上ノ句ヲウケテ曉方參内スルヲリハ天子ノ御先拂ノ役入ル氏カ天仗ノホコナトヲ持テ我レニ隨テイル素ヨリ御近ニ処ノ

了ユ暮方歸ルモ天子ノ御香ノ香イラ手前ノ撥東ナドトニ歸ルテアル

白髮悲花落青雲羨鳥飛カヤウニ白髮ニ參内スルモノイヨリ花ノ落ルヲミテモ又此ノ春モ空シク過行クヨト

聖朝無闕事自覺諫書稀カラ吾モカラバ天子ノ御諫ヲ申上テ切ク立テ思フ臣ノ當代ハケツコウナ御代テ闕事ガナイニ諫書ヲ上ルヲモナラ又上テ去テ矣御諫メ申テモドリアゲナイヲ云

登總持閣

高閣逼諸天登臨近日邊總持閣ニ登テニバズト高ク天モトクヤウニ思ハレテ下ヲ見ヲロセバ禁裏ノ御殿ガニル空ヲニ述イト云

晴開萬井樹愁看五陵煙井ハ町ワリノ一折節天氣モ晴レテ長安ノ町ワリ萬家ノウラクニアル樹ニテハツキリトニハ

檻外低秦嶺此ノ句テ第二句ヲウチテ云檻外ニシテハ秦嶺ニ

早知清淨理常願奉金仙此ノ句テ第二句ヲウチテ云檻外ニシテハ秦嶺ニ

送劉評事充朔方判官賦得征馬嘶文ハ前ノ者ハ夜ガエテモスルカ死テモ

征馬向邊州蕭蕭嘶未休征馬今朔方ニ向テテアルニ物アワレニ蕭々ト嘶テヤスス

思深常帶別聲斷為兼秋人モ馬モ別レ惜ム情カ深クシテテ夫レ人モ馬モ別レ惜ム情カ深クシテテ夫レ

岐路風將遠關山月共愁関山ノ月ヲミテ其元ノ哀レニ思ハルヲ思フイ

贈君從此去何日大刀頭今此ノ征馬嘶ヲ詩ニ作り送ルテアルニ其元ハコレヨリ去テイツヨリ歸ルテアルニアラ

五律

高適

フ○古樂府何當大刀頭環也  
云語テ、劍ヲ柄ニアル環ナリ

送鄭侍御謫閩中

前送

請去君無恨閩中我舊過  
今度謫居セラルニツイテイカカリ氣ノ毒ニ思ハルテアラフガ我モ舊閩中ヲ通テミタガ余リ替タイモナ

大都秋雁少只是夜猿多  
イト慰テ実ハ悲イ  
フヲ取り揃テ云  
雁ハ少ク只アルモノハ猿ハカリヂヤ

東路雲山合南天瘴癘和  
東路ノ長キニ雲カ一面ニ合シ曇テアル処ヲ通テユカル  
之難キニ思ハレヤツカ仕合ニハ秋ノ一ニ南方ノ暑氣モ

退老瘴癘惡氣自當逢雨露行矣慎風波  
退キ瘴癘ノ惡氣ニアテ  
ラハル氣ツカイモナリ  
自當逢雨露行矣慎風波  
追付君シカエサルテアラフ  
程ニ苦勞ニシヤルナ當代ハ

使清夷軍入居庸  
御用ノ使ニシテ居庸塞上云関所ノ  
アル処ニ行キカリテ作ルナリ

匹馬行將夕征途去轉難  
伴ノモモナク匹馬ヲリ毎日々合戦ノ  
道中ヲシテ行ク程難所ニキカリ

地別紙訝客衣單  
邊塞ノ地ノ格別サムイト云  
ノウスイニ寒イハ合点ノイカヌト云カナクテアル

聲苦山空木葉乾  
溪水ナドモ寒ラシテ石ニアタリニキツカテ若シニ九音カシテ物悲シク  
カタワラノ空山トドヲミレ木末モ皆黃落レ乾テモノヌク

莫言關塞極雨雪尚漫漫  
関塞ノ道ノ艱難コレギリニ極ルト云ニイヅ行クサキ  
ヲミレバ雪カフリツモリ漫漫トハテシモナク中々大

自薊北歸  
薊北ヨリ敗軍  
レテ帰ルナリ

驅馬薊門北北風邊馬哀  
敗軍ノニゲ足ノクニ馬ヲ追立テ薊門ノ  
北ヨリ帰ル敗軍ニ馬モカレニ北ノ積リテ

遠山口豁達胡天開  
山路ノ入りロニ入テミレバ蒼茫トハテモ三ニ又ニヨリ是レハナラヌト  
思テトリイソイテ馬ヲ追立テ出タバ豁達トラシヒライタ処

五將已深入前軍止半廻  
サテ此度ノ軍ノ負ニ成タト云  
先手ノ大將カ案内モシラヌ

誰憐不得意長劍獨歸來  
コノヤウニ本望ヲトゲズノスニコト  
大服差ヲサシテ帰ルト云ハ無念ナ

醉後贈張九旭  
張旭ハ草書ノ名人テ酒ノミノ風流モノチヤ座鋪テ共々酒  
ヲシテ咄ヲスルヤウニ此詩ヲ作タモノチヤ訓解ノ註ヨクナイ

世上漫相識此翁殊不然  
世上ノモガサニテ交リモ深クナイニ漫ニ相識ト云カ此翁  
ヒトリ不然カワリモノデ中々常ト通りノモノ見レルテ

興來書自聖醉後語尤顛  
ナンノアヂヲヤラフトモ思ハズフト興ニイルト  
草書ナドヲカクガ自然ニテキルサテ酔テク

ハナイヲレバカリ  
ヨク知テイル

五律

出テ能ク見レバハリ胡ノ  
地チヤト敬馬クヤウスヲ云

處ハ深入リラシテ  
討死ラシタ故チヤ

フト思ハレテ誰モ憐ミ  
ナクサメテクル者ハアルイ

白髮老間事青雲在目前  
白髮ノ年ヲ云フ  
目ノ前ニ在テモ其ヤウナリ六目モラヌ○青雲立身ノ一  
トナズニ酒ヲシタリ字ヲカイタリシテイテ立身スルハ  
目ノ前ニ在テモ其ヤウナリ六目モラヌ○青雲立身ノ一  
フダン德利ニ酒ヲ入テ床ノ上ニ置ルガイクタヒカ  
酒ニ酔テ子ムラルゾト吐ノヤウニ問イカケル

登兗州城樓

杜甫

東郡趨庭日南樓縱目初  
趨庭ハ論語ノ字○杜子美カ兗州東郡ノ親ノイラル  
處ニ趨庭シテ親ヲ敬イ南樓ニ登テ目ヲ縱ニシノゾム

浮雲連海岱平野入青徐  
東ノ方海岱ニ浮雲ガツキツラナリ遠クミダバ  
一面ノ平地ガ青州徐州ノ方ハ入りコシテアル

嶂秦碑在荒城魯殿餘  
鄒嶂山ノ方ヲミレハ孤嶂ノハナレ岩ナトノ傍ニ秦ノ始皇ノタ  
テラレタ石碑トカミ漢ノ共王ノ靈光殿ノ石スエナドカ殘

從來多古意臨眺獨躊躇  
コレヲラミルニツケテモ素ヨリ此方ハ人トチガイ  
ヒトリ古意ガ多イユチヨツト臨眺スルヤウテ

モ久シク躊躇レタチ  
ヤスラフテイル

房兵曹胡馬

胡馬大宛名鋒稜瘦骨成  
此ノ馬ハ西域ノ大宛國カラ來タ處ノ名高イ馬テアル素  
ヨリ名馬ノ一骨トクニ骨トクニ高クカド立テ肉スクニ骨トク

竹批雙耳峻風入四蹄輕  
耳トドモスツカリト竹ヲソイダマ  
ウニツ立テ足ノ輕キハ風ノ  
アグル如ク所向無空濶真堪託死生  
ラ向ニ足カリノナイ處ヲモ直ニトビソイテニ  
足トリガイ

春宿左省

花隱掖垣暮啾啾棲鳥過  
禁裏ニトイシテイテ暮合垣ノワリ花モ咲キ乱レ  
テ小暗ク子ダラニ歸ル鳥モ啾々ト小聲ニナキツテ過

星臨萬戶動月傍九霄多  
サテ日モクレテアレハ屋カ千門萬戸ニゾシテキラノ動キ  
月ハ天子ノゴザナサレル九霄ニソフテイクエモイクエモ

不寢聽金鑰因  
不ノ寢聽ニ金鑰ヲ因  
月影ガサスニヨリ多ト云○多ノ字甚タ面白イナニモナイ処ナレハ月カゲモ  
一面ニテラセ居禁裏ノ一立ナラシテアル御殿アト月ガサスニ多ト云

風想玉珂  
夜モスカラ子ズニ表御門ノカキノナル音ヲキイテイルカキカナルト直ニ參内スル處  
道ハ吾カイル處ヨリ遠イユ風ノ音ガ官人ノ馬ニ兼テクルヤウニ思ハレ氣ヲ

明朝有封事數問夜如何  
明朝人ノ出ヌサキニ外ハ知ラセズ天子ハ諫書  
ヲ上ルガアルニ度々下役人任ニモウ何ニ時

テアルゾト回フ侍  
カ子ルヤウスヲ云

秦州雜詩

雜詩上云 沢山アル中カラ 一首ヲヌキ出シタモノナリ

鳳林戈味息 魚海路常難 世ノ乱レヲナゲイテ 秦州ニアル 鳳林 閑アタリモサワ

モナラヌク 候火雲峰峻 懸軍幕井乾 毎夜々々アイツノ 火カ山々ニ 高クミル懸

ライチヤ 陣ヤノ中ノ 井戸ナドモ 乾テイコフ水ニイワクスル 風連西極動 月過北庭寒 風

レテ西ノソラハツレノ方ニアル星ナドノキラク動カカミ 月カ北狄ノ方ニテサレコソデ 故老思飛將 故老ノ

心ボソク物サビシクミル 〇風動月寒ト云テ 塞外ノ乱ヲコメテ云フ 何時議築壇 大將ガキテアラフナラハ此ノヤウニ 胡ガサワグマイモノヲト思テアルナニトゾ都ニ

ライテ壇ヲ築テヨイ大將ヲエラフト云ノ 送遠 此詩ハ三日モアトカラ 作テヤツタト見ヘル

帶甲滿天地 胡為君遠行 今世界中ニヨロイ武者ガミチテアルガフレタ 時分ニドフレテ遠キニナルゾトヲレシデイフ 親朋

盡一哭鞍馬去 孤城 トメテモトミラズ鞍馬ニナリ孤城ヲ去ラ 草木歲月晚 關

河霜雪清 草木モ黃落シ歳モスエニ成タフユヘサキ行カレテモイカフ難タナフテアラフ 〇清ノ字 寒イ気味合ニナル春キナドハ下手ニツカフトツカイゾコナフ 別

離已昨日因見古人情 アウヤク一兩日イセン別レタケレ其元ノヲヨイシフ思フニツイテ 古人カ別レテ悲シクダハイカサケ尤ナフデアルト思フ

題玄武禪師屋壁

何年顧虎頭 滿壁畫滄洲 晉顧愷之字虎頭 壁ニ山水ガエガイテアル而モ山 境ノ滄洲ヲ常ノモノ繪トハミヘ又顧愷之ガ書タデゴ

赤日石林氣 青天江海流 クドリガレテアルガ書 ニクイ日ノ気ヲ能ク

錫飛常近鶴 杯渡不驚鷗 以テ得

廬山路真隨 惠遠遊 此ザレキノ跡ヲシレハマカクモナイ廬山ノ如クニ思ハレ惠遠法師 上ノ隨イ廬山ノ峯ニワケクボリ遊フモ同シトテアル

玉臺觀

滕王元嬰安ノ 臺ナリ

浩劫因王造 平臺訪古遊 浩劫ハ道書ノ文字テ世界ノ始ノ一ニナル〇サテ此玉臺ハツ

綵雲蕭史駐 文字魯恭留 上云ハ帝ノ所居ナレ 滕王上帝ヲ祀ルユニ玉臺ト云古 梁孝王ノ墓ニモヲラス盛ニテ有テ五公今古遊ヲ訪 綵雲蕭史駐 文字魯恭留

マナトシレハ 綵雲ノ中ニ蕭史弄玉ヲホリモノニテアリ 滕王ノ具筆ノ額ナドモ留テアル魯ノ靈光殿ノ額

ヲ共王ノカレタユヘカリ用ユ〇列仙傳ニ蕭史上云モ能ク蕭ヲ吹ク秦ノ穆公弄玉ヲ以テ妻トス弄玉ヲテ

五律



鳳鳴ヲ作ラレ公鳳來テ其屋止ル  
公鳳基ヲ作ル居テ了數年仙ナリ  
宮闕通羣帝乾坤到十洲  
ニカヤクナ道觀ニ中ノ本傳ニ天子ヲ立テ

レヨリ段々四方ノ神ヲ祭テアルニツイテ宮闕ニ天帝ヲ立テレヨリ樓下ツタニ群帝ノ人傳有  
社ガアリ乾坤ノ間二十州ノ仙境ガアルトキイタガ玉其至ニキテニ直ニ三十州ニ至タマハル

笙鶴時過北山頭  
列仙傳周靈王ノ太子晉笙ヲ好ム後仙ト成リ白鶴ニ乘スト云ヲ引テ  
○人ノ咄ヲキケハ仙人カ鶴ヲ吹テ北山ノ頭ヲ過ト云カイイ丹ニ

滕王元嬰モ仙人ニ成テイルレテ  
有カテ目六見ヘマ

### 觀李固請司馬題山水圖

方丈渾連水天台總映雲  
海上ノ仙境方丈ハ水ヲクルリト取リマワレテ書テアリ陸地ノ仙境天台ハ雲ヲアレテ書テアル○天台賦海

則有方丈蓬萊登陸則有西明天台人間長見畫老去恨空聞  
天台方丈ノ道ヲ修セテ方丈ノ詩バカリテキイルノレモ若クニキテミヤウカ老去テ今ハ行クモナラヌ

范蠡舟偏小王喬鶴不羣  
方丈ノ水中ニ小舟カ一艘カイテス范蠡ハイカサニ昔シ范蠡ガ功ナリ名トゲテ退ク天ノ道ナリト云テ去リ五湖ニ舟ヲウカト云ガソノ范蠡ガ舟デアラフ偏ノ字デアエノラキカセル又天台ノカタワラニ鶴カ一匹格別ニモカイテアルカ是レハ靈王ノ太子王喬ガ鶴

此生隨萬物何處出塵氣  
サテコノヤウニ王喬カ仙鶴ヤ范蠡カ舟デアラフイモノデモナイガ何ノ云テモ此ノ世界ハ萬物ニ隨テ塵氣ヲ出ヌ中々仙境ニ至ルハナラヌ繪テハカリニテイルヨリ外ハナイ

禹廟空山裏秋風落日斜  
禹ハ天下中ヲカケマワリ水ヲオサメラレレユ方々ニ廟ガアルゴレハ三巴アタリト見ヘル

庭垂橘柚古屋畫龍蛇  
龍蛇橘柚禹貢ノ文字デアアル廟ノアレハテタ荒庭ニ橘柚テカ  
庭ニ垂ル橘柚ノ屋ニ畫カテ龍蛇ノ形ヲ畫カテテカ

雲氣生虛壁江聲走白沙  
廟ノカタワキ壁ノスキカラ雲カチラク立ノボル下ノ谷川ヲソノイテミレバ水カハヤクテ白沙カ流ル

早知乘四載疏鑿控三巴  
禹ノ四載ニ乘テ山河ノ泥ニハ輔山ニハ標書傳ニミユ  
ニクイ処ヲ早ク知テ向ニミユル三巴ハ水カ立テ沼ノヤウニ成テイタラ岩石ヲホリサグリテ溜テイタ水ヲカキ出サレタレバ次第ニ水カ治タ禹ノ大功デアアル

### 旅夜書懷

子美カ南方ニウロタヘテイル時分  
舟ニノリ夜モスカラノ景ヲ作ル  
細州微風岸危檣獨夜舟  
此ノ川岸ニ舟ヲツナヒテ岸バ夕通リラミレハ微風カ草ヲ吹セケルカヤウナ風景ヲ舟ノ中ニ只ヒトリツクリト見

星隨平野澗月湧大江流  
舟ノ中カラ平野ノ方ヲ望ムハメニ星カキフクトシテ

名豈文章著官因老病休  
吾カ身ヲツクノ思テニルニ名上云モノ公文

飄飄何所似天地一  
浪人ニテイル官人ニ成テタルキ身ナレモ老病ニ官ヲヤメテイル

五律

沙鷗

コヤウニラダシヨイト舟ニ乗テイル上云モノハ何ニタトタモノテアラフゾ向ノ沙ハラニイル鷗ノヤウナ身ノ上テアル

船下夔州郭宿雨濕不得上岸別王十二判官

夔州ノ外郭ヲクリ下レ宿シテイルゾリシ雨カフリ判官友王判官カ外ヘモユカズ残念ニ恵テ留別ニ作ル

依沙宿舸船石瀨月娟娟

上云フ水カ沙石ノ上ヲ流ル、ヲ瀨上云ノ沙ヲカチニシテ大船ヲツナグテ上リ、舟ノ中カラミハ岸ギウノ石ナド出テアル水ノサセニ月影カ娟ト清ラカニサレテ面自カリシ

亂江鳴夜雨懸

大風カワイテ燈ヲケレシウニナリ江水カ鳴テ、雨カ夕タニウニフリカリ、岸上ルヲモナラヌ

長鐘雲外濕勝

城下ノ方テ時ノ鐘ヲツク音カスルズグレテ景色ノヨク寺ナレ行テイルノモテ又残念ニヤ

柔艣輕鷗外舍憐覺

サテ夜アケ方ニ見レバ小舟ガ輕鷗上ツニ成テ自由ニワルアヤウニアルカサチス王判官ニ逢テコヤウモノヲ何ヲ云テモ大船ニ自由ニナラヌ凄然ト哀レヲ含ミイカサチ小舟上云モノハ自由ナモノナヤ

昔聞洞庭水今上岳陽樓

洞庭ノ風景ノヲ咄シニキイアイタガ、今岳陽樓ニ登テ直ニ見ヲロス

吳楚東南

此小舟ハカリヲタノレシニミテイル上ハアサミシイフキヤ

戎馬關山北憑軒涕泗流

今關山ノ北アタリト胡寇ガ中故郷ヘカエルヲモメツタニハナラヌ軒ニヨツテ故郷コイレウ思ハレテ頻リニナミダカ流ルル上ノ五句王粲登樓賦ノ句ヲツケテ云

頻リニナミダカ流ル

次北固山下

王灣

客路青山外行舟綠水前

舟ヨリミハ青山ノホトリノ川通リニ客路ノ往來ガヒキツイテアル手前ハ始終舟ニナリ、固山ノホトリニキテ

潮平兩岸澗風正一帆懸

潮ガ一ハイニミキ、兩岸モグワラリ、ウチヒライテミル風モ追イ風ユハ帆モミロクニカ

海日生殘夜江春入舊年

今此ノ固山ヨリ東ノ方ヲミハ、夜モミダセツスギテアラフト

鄉書何處達歸雁洛陽邊

江南、齊タフヲミルニツケテモ故郷ノヲ思イ出シテ文ヲヤロフト思フチモ、便リモナイニ、歸雁洛陽ノ方ヘ飛ニアツラテヤリタイト云テ、實ハ便リノニクキヲ云

江南旅情

楚山不可極歸路但蕭條

楚山極ムヘカラスバテシモ限リモナク遠イ処ヲヒトリ、吳ノ方ヘカエルニ道スガテ蕭條トシテモノサヒシイ

祖詠

五律

海色晴看雨江聲夜聽潮 海ノヲモテヲミビ近クハ暗タイカラ遙遠クハ雨ノ降テイガミル〇一説ニ海色ハ晴タイカラヨクキヲツケテ遠ク

ヲミビ雨ノフルヤクニ思ハル〇登ノ間ハソラモトイカ夜ニテ 留南斗近書寄北風遙 ルト潮ガニチテ物サビク静ニナル水ノ音ダキコヘル 為報空潭橘無媒寄洛橋 腰ニサレテイル劍ハ南斗ノ星ノ近クニ逗留レテ都ヘ帰

蘇氏別業

別業居幽處到來生隱心 サレテ蘇氏ノ下ヤレキハ都ヲハナレテ物ノ静カナクヤ

ハキテモクツカナラミテ 南山當戶牖澧水映園林 常ニ城下ニイルユニ隱者ノヲモキヲシラシメダガテコノ

前テ面 竹覆經冬雪庭昏未夕陰 ヤレキニワリニ竹ガウエテアル冬ニキエ殘タ雪ガ竹

テアルニ登モ 寥寥人境外間坐聽春禽 カヤウノモノ静カナクユヘ人間ノ外ナレバ

コルノミテ俗塵ヲ ハナレタフキヤ

望秦川

李頎

秦川朝望迥日出正東峰 秦川ノヒロトシタ処ニキテ遙ニ望ハ限リナク

近山河淨逶迤城闕重 遠近ノ山モ川モアサ日ニウツロイサソリトニ都ノ方ヲ望ムハ遠

秋聲萬戶竹寒色五陵松 家トニ竹ノウエテアル風ガアタリテ鳴ル音ガキニ五

客有歸與歎淒其霜露濃 急ニ故郷ヘ歸リタクナリ淒其トシテ霜モ露モ

宿龍興寺

綦毋潛

香刹夜忘歸松清古殿扉 香刹寺ヲ今此ノ龍興寺ニキテミレハ風景ヨイニシ

燈明方丈室珠繫比丘衣 方丈ノヲクノノ方ニ常燈ガヨルヒトナク明ラ

白日傳心淨青蓮喻法微 空ラニ白日ノカウツテアルヲミレハ老僧多ク傳心

天花落不盡處處鳥嘶飛 庭ノ花ノチウツテクルヲ鳥ガフケニテ

胡笳曲

王昌齡

城南虜已合一夜幾重圍 城ノワリヲエビス夜一夜

自有金鉞引能 イクエトモナクトカヨミテ

令出塞飛

晋劉琨胡騎ニカニテ難義十時軍中ニヨク流ヲクモカ有テ樓上ニ結ヲ  
アル出塞ノ曲ヲ遠ク 聽臨關月苦清入海風微只サハアワレナ曲ヲ関月ニクニテキ  
クニ悲シニ夕ヘリス。笛ハ三關  
月ト云カアルユモ云。声ガ渾ノボリ海風胡ノイル方マデ  
細クスカレテキユルデアル金笳ハ子ヲ金デユニテ入ル  
胡笳ヲ三度フイテ曉方ニ至テ高樓ヨリミレハ悲ニ  
夕ニスレテ淚ヲナカシテ一人帰リ二人帰リ皆帰タ

同王徵君洞庭有懷

張謂

王八氏徵君天子

八月洞庭秋瀟湘水北流

八月ヨロ洞庭ヘキテ秋ノ風景洞庭ノ  
南ニテ瀟湘ノ北ニ流ルカ見ル

還家萬里夢為客五更愁

故郷ヲイシフ思フニ毎夜々々故郷ノ家ニ還タト云夢ヲ  
ミレ五更ノ口夢ガサメテミレハヤリ旅客トナリテ他

不用開書帙偏宜上酒樓

カヤウニカナシイヲリニハ書物ナドガミラレル  
モノデハナイ酒バカリノニテ愁ヲハラスガ

故人京洛滿何日復同遊

吾親イ友カ都中ニミチテイルイッレノ日カ都ニカ  
ヘリ共々アンスデアラフナツカレイフデアル

破山寺後禪院

常建

清晨入古寺初日照高林

ヒヨリモイユ朝トク起テ山寺ノ真ノ院ニワケ入テ  
ミレアサ日ガニト出テ高林ヲテラニ物アリタル

ヤクスエモイワレズ 面身景色チヤ 曲徑通幽處禪房花木深

道スカラノ景ヲ云コノ一句妙句チヤ  
禪院ヘユク道ガ曲リク子ツテアル

ソレヲ段々ワケノボリテミレハ思モヨク  
又花木ノ茂夕夕ニ禪房カ建テアル

山光悅鳥性潭影空人心

山々モアサ日カアタ  
夕カニサスヨリ鳥

モコ、ロクナイテイル潭影  
ニ對シテバ分別モナクナリ

萬籟此俱寂惟聞鐘磬音

イカサニコフレテイクラハ  
悟フレソクナモノチヤ風

ヤ木ノ葉ノ音モナクヒツソリト物ノ音モセ又時ニ  
鐘ノ音ノ殊勝ニキユルデアル

渡揚子江

揚子江ハ海ニ近イ川ハガ  
コノ方ノ七八里ホトモアル

丁仙芝

桂楫中流望空波兩畔明

楚辭ヲ引テ桂楫ト云ハ舟ニ乗タリニナルノ今コノ揚子  
江ヲリ出シテ方々ヲミバヨリフレ波モナク兩岸モツキリ

林開揚子驛山出潤州城

北ノ方揚子江ノ驛ノ海道ガ林々イタカラミヘ江  
南ニ潤州城カ山ヲウチユレテ見ル兩畔ノ句ヲ

海盡邊音靜江寒朔吹生

靜ハ浪ノ音ノナイヲ揚子江ハ海ニ近イユ盡上云  
邊地ノハテ近モサワギモノク靜リノ秋ノ夕アツニ

更聞楓葉下浙瀝度秋聲

川バタ通リニ楓ナドカヲチテアルノ浙  
瀝ハ風ノ木ノ葉ニアタリテバラクトナ

ルノ秋ノ末ノサビ  
シイヤウスデアル

聞笛

張巡ハ玄宗ノ忠臣テ睢陽ヲ守リ安祿山方ノ者  
ニ思テ籠城ヲ難ク討死スル少シニエニ作名詩也

張巡

岩巖試一臨虜騎附城陰岩巖上高イヤクニ登テ敵ノヤウスヲミド不辨風

塵色安知天地心ハナクハレヌナゼナレバ天ノ思召ノ通リナレハ人ハワルイハツナルニヨリ

門開邊月近戰苦陳雲深門ヲヒライテミレバ邊塞ノ方カラ月ガサレコシテモノヌゴイヒタモノ

旦夕更樓上遙聞橫笛音アサモバンモ樓上ニ番人ヲノボセテ敵ノヤウスヲウカバワセルニ更ト云樓上ヨリ

岳陽晚景張均

晚景寒鴉集秋風放雁歸日モクニ及フニ鴉ノモゾク子グニ集ル時分カラ秋ニ雁ナモ歸リキテ水光浮日

出霞彩映江飛上ノ句ヲウケテ洞庭ヲ見ラセハ夕日ガヨコスチカイニサレテ水ノ面ヲガメシニキララ上ニハ霞彩ガ赤ク映シテ有タモノソロクワキユクテアルトハ

洲白蘆花吐園紅柿葉稀洲ノマツ白ナ沙地ニ若カヒトキワ白フ咲テアルトハ花ノ十分ニ咲タラユ園ノ柿ナモ紅葉レ落テ葉モ

長沙卑濕地九月未成衣長沙暑氣ノツヨク九月ニシテモウスカタラシク九月成衣ト云

穆陵關北逢人歸漁陽劉長卿

穆陵關北逢人歸漁陽劉長卿

逢君穆陵路匹馬向桑乾君上ハ則題ノ人デ今コノ穆陵ニライテタマ

楚國蒼山古幽州白日寒別ル

處處蓬蒿徧歸人掩淚看只蓬蒿ノハニアルヲ三チカフミテ通ラ

題松汀驛張祐

山色遠含空蒼茫澤國東松汀驛ハ山中ニアル馬ツギニハ山ヲクノ方ヲミルニ遠ク空ヲ含シテサキノテモニハ又土地ノマウスライハ

海明先見日江白迥聞風見テハ先ニ日ヲ見テ海ノマウスヲ

鳥道高原去人煙小徑通鳥道ハ高原ニ去リ人煙ハ小徑ニ通

那知舊遺逸不在五那知舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中デモ五湖ノ中ハ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ノクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中デモ五湖ノ中ハ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ノクニモ

晴レヤカニ日ノ出ルサハ一番デアル江水モツツ白フミルガ

野原ヨリ山路ノ方ヲミレバステ道ガツイテアルガイカフ難所ソフナ

傍小路ノ真深クツイテアル方ヲミレバ隱者スミイノ家が見ル

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中デモ五湖ノ中ハ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ノクニモ

穆陵關ハ楚國ニツイタ地名デ

夕マ其元ニ出逢テアルニモウ匹馬ニノリ北ノ方系乾ニ

向テ歸ル上ハトガ遠ニ遠イ魚陽ニカレ心細テアラフ

ル処ノ楚山ノモノ古リタヤウス物哀レニアル幽州

聖果寺

聖果寺ノ下ノ錢唐上云云  
甚々繁昌ナ船ツキテアル

釋處默

路自中峰上盤回出薜蘿

サテ此ノ聖果寺ニ登ルニ中峰マデイクスシモ道カワ  
カレテイレ中峯カラハ一筋道ヲアチラコチラハカ

生ハテイル中ヲ通リヌケテ

到江吳地盡隔岸越山多

寺ニ至テミレハ風景ノヨイ処デア  
ル江水ニ到テコレガ吳國ノハテト

越ノ国ノ山々トモガニワタル

古木叢青靄遙天浸白波

古木ノコソモリト茂  
テアルヤウスガナニト

下ツミテリ白波ノ立ツヤウスガ残ル処モナク見ル

下方城郭近鐘磬雜笙歌

トハ錢唐ノ城郭デ繁昌ナ処ユヘウチハヤシラスル  
ガ寺ノ鐘ノ音ニ雜リ聞近フキユルデアアル

唐詩國字辨卷之三終

唐詩國字辨卷之四

五言排律

五言排律ハサマクノ説アレバ排律ノ義ニルガヨイ譬ハ大名ノ供ニワリノ如クセイノ平ヲニ  
召ワタ男ヲエラシテ左右ニワカツガ排アル其如クニ隨分堅イ美イ文字ヲトリソロ  
コテ對ヲトラ子ハナラヌ四句ノテ轉シテユク上ノ四句テ  
サシキノフヲ云ヘ下ノ四句テハ亭主ノフヲ云フナリ

送劉校書從軍

劉氏ナリ書記ヲシテ  
從軍テユクヲ送ルナリ

楊炯

天將下三宮星門列五戎坐謀資廟略飛檄佇文雄

對句ヲ以テ云  
出ス天將軍ト

云星ノ下ニテ隨書天文志天將軍十二星在焉北主武兵中央大星天之大將也左星為左將軍右星為右將軍將  
軍星即旄頭星也コトテ大將ノ一ニナル三宮ハ明堂辟雍靈臺ノ三殿ナリ星門ハ軍門ナリ上ノ天將ノ對ニ  
尤五戎ハ五兵弓矢斧矛戈戟ナリ先出立ノヤウスヲ云大將ヲ禁裡ハ參内シテ暇申シテ營舎ニ歸リ人數  
ヲ口用意ヲスル坐謀陣屋ニ坐シテ大將ノ謀ヲタスクルナリ廟畧ハ天子ニ大事ガテキルト大臣ガヨリ合テ宗  
廟ヲイテ謀ヲ定メラル爰ハ大將ノ謀ノ一ニテ檄文ハ軍中テ急ニ入ル時ハ檄ヲハセテ人ヲ集ルコト  
馬ノ上テカクヤウナリガアル勤者ノフヲ云其元ハ征伐ニ出ラシテモ軍場ヘハ出スニ大將ノ側ニ召レテ居テガ  
ヲシラシテ大將ノカケヒキヲタスケラルイカサマスケラキテアルト檄文ヲカクニ云テモ  
文章ノスケル者テナクハナラヌ其元ノヤウナ文雄ヲ用イテ書記ノアイサツコレマデナリ

鳥號明月弓秋陰生蜀道殺氣繞湟中

裝ノサカチヲ云立テ花陰出ル  
トヲ以テ研タテタ及ノ玉ヲルヤウナ劍

ヲ帶シ鳥號ノ明月ノ如クナル弓ヲ持テカク以下二句行タ先キノ景ヲ云時節ガ初秋ノ一ニ蜀道アタリモワロ  
ンロ秋陰カ生シテ寒イ時分テアル殺氣トイハ秋ハ殺伐ノ氣ナレバ敵ニ討勝フ処ノ殺氣ガ湟中ニ繞テ此方  
非律

抄

軍勝ニテト 風雨何羊別 琴樽此日同 離亭不可望 溝水自西東  
今コノ風雨ノ砌リニ其元ニ別レルガイソ迄ト云限リモナイコト也今日琴樽ヲ同シテ賑シイコトヲ離別ノ后風雨  
ノヲリニ思ヒ出ステアラフ離亭ヨリ溝水カミユレ望メレヌナセナレハ吾カ此ノ離別ヲ悲シム目テ三ル心  
ナイ水ノ西東スルニテカナ  
シテ見ラヌトナリ

靈隱寺

靈隱寺ハ杭州ナリ晋ノ咸初西僧慧理靈隱天竺兩山ノ間ニ登テ嘆  
曰此中天竺國靈鷲山ノ小嶺ナリ知ラス何ヲ以テ飛來ルト云テ庵ヲ結  
名テ靈隱トイヒ其峯ヲ飛來トイフ山ニ靈鷲塔アリト云々此ノ詩ハ  
駱賓王カ坊主ニ成テイテ宋ノ門カ跡カラ來テ作タトモ云説アリ

鷲嶺鬱岌龍宮鎖寂寥

樓觀滄海日門對浙江潮

落花香雲外飄

登塔遠矚木取泉遙

霜薄花更發冰輕葉互凋

異披對滌煩囂

駱賓王  
山ノヤウスタ云出テ鷲嶺鬱然ト岌岌ト高イ処ニ寺  
カ立テアル龍宮トハ寺ノナリ門ヲトサシテヒソソリト人  
セ又 樓ガ門ト向イ合テアルニ對スト  
落天香雲外飄 夜モスカラ月モホカラカニ月中ヨリ桂子ガ落テ其香ガ雲ノホトリトテモ  
ヒルカ庭ニ木ノ実ナドノ落ラニテ云昔靈隱寺ニ桂子カ落タ云實夏カレ 捫蘿  
登塔遠矚木取泉遙 山ノ高ク遠イ処ニ塔ガ建テアルニ蘿ニトリツイテ登リ木ヲクボマ  
テカケヒナドテ遙ニ遠クノ山ヲクク方カラ泉ヲトルヤウスカアル  
霜薄花更發冰輕葉互凋 霜ガウスイニ花ガカワルハ氷モモ凋ムニテアル 夙齡尚遐  
シナイニ草木ノ葉モ凋ムニテアル 夙齡尚遐  
異披對滌煩囂 我レ若イ時分ヨリカヤウナ趣異ノ世ヲハナレタ処ヲ面白ク思テイタガ合テアル  
ヘキテム子ヲヒライテ披對心ノ煩囂少ホニウツラサツハリト滌シ洗シ流シ

夕陽成夕直ニ阿羅漢 待入天台路看余渡石橋  
天台山路ヲ見付テ石橋ヲ渡テオメニカケヤウ 靈隱寺  
ノヨイニツイテ天台山路ニテユククカツイタトナリ  
夕陽成夕直ニ阿羅漢 果ラエタカト思ハル  
待入天台路看余渡石橋 老僧ト對シテ云ダコノヤウ  
ナクンデハナイ追付仙術ヲエテ

宿溫城望軍營

虜地寒膠折邊城夜柝聞 兵符關帝闕天策動將軍

塞靜胡笳徹沙明楚練分 風旗翻翼影霜劍轉龍文

白羽搖如月青山斷若雲烟跡疑

卷幔塵滅似銷氣

應雪漢恥持此報明君

投筆懷班業臨我想顧勳還

班業臨我想顧勳還

應雪漢恥持此報明君

投筆懷班業臨我想顧勳還

班業臨我想顧勳還

應雪漢恥持此報明君

投筆懷班業臨我想顧勳還

勳功ニモヲトラス。顧崇文功ヲ思ヒヤツテ云。漢ノ取ト云。高祖ノ内奴ニ冊レテ和鞋トテ親類ニテラレタ。云我レ今コノ  
陣中ノ治タヲミルニ。班超顧崇ガ如ク。モヒスヲ平シ。其カヲ以テ明君ノ御恩ヲ報シタイモノデアル

在廣聞崔馬二御史並登相臺

崔氏馬氏二人正二御史。官ヨリ相  
臺宰相ノ役処ニツタル尚書ニ風

テイル。南方廣州ニイテ  
聞テ作テ送ルナリ

蘇味道

振鷺纒飛日遷鶯遠聽聞明光共待漏清覽各披雲振鷺ノ如ク  
行列ヲトメ

二人ツレテ參内セラレ間モク鶯ノ喬木ニツヤウニ立身セラレタヤウスヲ遙ニ遠クキ。及ンダ今尚書郎  
ニツラレタユハ朝ヲ漏刻ヲ待テ明光殿ヘボリ。天子ノ詔ヲカクフナレ。直ニ天子ノ清覽ニカカリ。各二人ハ

ニ披雲白ヨラソム如ク天子ノ  
玉顏ヲ自由ニ拜ルテアラフ 喜得廊廟舉嗟為臺閣分故林懷柏悅新

握阻蘭薰サテ其元夕チハカヤフニケツコウナ官ニララル。二後云廊廟ヲモテ宰相大臣ニモナラ  
ル。臺閣ト云門下省ヲ響。臺トシ中書省ヲ鳳閣トシ尚書省ヲ文昌。其臺閣分テアルハ。ナトキノドクニツ  
リ。二役所ガチカクテアルゲナト。テモノノ二ツ役所イラレタナラ。ヨカラフニ。臺閣分テアルハ。ナトキノドクニツ  
ル。臺閣ト云門下省ヲ響。臺トシ中書省ヲ鳳閣トシ尚書省ヲ文昌。其臺閣分テアルハ。ナトキノドクニツ  
ツテ名トスル。テアル文選ニ松茂而柏悅ト有テ。御史ノ役処ニ柏ガウエテアル。其元故林ノ間カ。郎官ニキ出サ  
レタ。外聞モヨイト云テヨコバル。デアラフ。今カラ新撰ニ蘭ヲモキツクテ。郎官ニナラド。二近寄テ心ヤスク  
ス。一毛ル。漢尚書郎懷香握蘭。趨走丹墀。  
故林ト云ヨリ新撰トウケテ。蘭薰ト云尚書ノ一ナリ

南斗外遙望列星文神羊ハ獬豸ナリ。御史ノ冠ナリ。瑞雉ト云。漢ノ蕭芝カ尚書郎ヲ除  
ラレタ時ニ野雉群ヲナシテ車ヲ送テ岐路ニ至タト云故云ナリ。御  
對ニナル

南斗外遙望列星文神羊ハ獬豸ナリ。御史ノ冠ナリ。瑞雉ト云。漢ノ蕭芝カ尚書郎ヲ除  
ラレタ時ニ野雉群ヲナシテ車ヲ送テ岐路ニ至タト云故云ナリ。御  
對ニナル

南斗外遙望列星文神羊ハ獬豸ナリ。御史ノ冠ナリ。瑞雉ト云。漢ノ蕭芝カ尚書郎ヲ除  
ラレタ時ニ野雉群ヲナシテ車ヲ送テ岐路ニ至タト云故云ナリ。御  
對ニナル

南斗外遙望列星文神羊ハ獬豸ナリ。御史ノ冠ナリ。瑞雉ト云。漢ノ蕭芝カ尚書郎ヲ除  
ラレタ時ニ野雉群ヲナシテ車ヲ送テ岐路ニ至タト云故云ナリ。御  
對ニナル

奉和幸韋嗣立山莊應制 李嶠

南洛師臣契東巖王佐居幽情遺綬冕宸眷矚樵漁嗣立中宗ノ  
御ヒツウノ

隱者ナリ。○コノ嗣立洛陽東巖ニヒキコニテイラル。常ノモトハチカフニ天子モ師匠ノ如ク思ヒ召ス。然レ東巖ニ  
引込テイナカラ天子ノ補佐モ同前フナレハ王佐ノ居ト云モチヤ。契ハ上ニカナラフ云。嗣立隱心幽情カ深イ人ユヘニ  
官人ノ綬冕ヲ遺シ樵漁ノ如ク  
ナル隱者ヲ御タツ子ナサル、

制下峒山蹕恩回灞水與松門駐旌蓋薛

幄引簪裾峒ハ峒峒山ナリ昔黃帝ノ廣成子ニ道ヲ問ヒタカアルニ。コノモチコングチヤ天子ヨリ御  
トモハリノ人數多シトモ。セイト御制ガ下リ。嗣立ヲ格別ニ思召スニ。輿ヲクサレ長安ノ東灞  
水ノボトリ。御幸ナサルノ山莊。ヤウスヲ云隱者ノノ。二門チカニ松ガウエテアルカ天子ノキヌガサヤ旌ナト立テ  
アルニ駐ト云座敷キワノ藤ナドラスニテ直ニ幄ヨリハシテ大勢ノ官人タチヲ與ノ方ヘ引テユク

石磴平黃陸烟樓半紫虛雲霞仙路近琴酒俗塵疎黃陸日ノ  
通ル道云

子ノ御通り道ノフニル今コノ山莊ノ石磴ヲ御通りナサルハ黃陸モ同前チヤ隱者ノ雲霞ノウチ御ナリナサ  
レタ。コノ天子ノ御座処モ同シテアル。實ニ仙路ニ近ク琴酒ノ俗ヲナレタ。靜カナリチヤ以下ヤシキ

喬木千齒外懸泉百丈餘崖深經鍊藥穴古舊藏書先祖  
ヨリ

非律

非律

非律

非律

非律



夕シクノ処ニイラルニ年ハタル大木居テウテ立テアル庭ノカリ流水ナドモ百丈ホドアリテ高イ処ヨリ  
落ル箇ヲ岩ガケナトニ成テアル処ヲノソイテニハイカサマ韋氏ノ先祖ノウチニ丹葉ナドヲ子ラレタ処ト  
ル又古イ石ノカケタトガアル此レモ定テ先祖ノウチ道書 樹宿搏風鳥池 潛縦壑魚  
テモ取テ置タ処ソウナ以下ニ有韋氏カ器量ニ比シテイフ

寧知天子貴尚憶武侯廬 大木カ生ハ茂テアルニ大鳥ナドカスニソフニアル池ナトモ大魚  
カヒクツテイルヤウニ見ヘル結句韋嗣立ガ御恩ヲ深クカ

フルヲ云天子ノ貴イ身デヘリクダリ 蜀ノ先帝ノ諸葛武侯ヲ御訪メナサレタ如クワザク御幸ナル上云  
ハ大抵フテハナイ韋嗣立モアリガタク思ハレイト云テアル

白帝城懷古 漢光武時公孫弘カ蜀ノ成都ニ都ニテ 陳子昂

日落滄江勉停橈問土風城臨巴子國臺沒漢王宮 夕方白帝城  
ノ川キニ舟

ヲカケ橈ヲ停テコレハ何ト云テイカヤウノ有タ処ト風土ヲトハハ土風ヲベテ白帝城カラ直ニ見ララスカ  
周ノ時巴子國アル又タワラ古劉玄徳ノ呉ヨリ敗軍ニテ帰ラレタ魚腹ヲ改テ永安宮ト名ツケラレタ

カレモ没ニテ 荒服仍周甸深山尚禹功巖懸青壁斷地險碧流通 跡方手ナリ

見ワタス処ヲ云ノ巖夷ヲ荒服ト云王制チ卑内ヲ甸服ト云今荒服ノ如ク成テアル処カハリ周ノ都ニヨリ  
テ甸服アル深山ヒラケテ今往來ノナルト云ハコレ禹ノ大功チヤコレテカ上ノ甸ヲウケテ云深山ヲ望メハ岩カ

サシカツテ青岩カ壁ノ如クツリ立地險ニ 古木生雲際歸帆出霧中川途去無

限客思坐何窮 西方山モ高イニ古木ナトニ雲カカリ雲アリタニ木カ生アルヤウニニ川中ニキ  
リカ下テアル処ヲ舟ニ乗テカハルヨリ水カ早イニ霧下テニククノ中ヲトテ云

岷山懷古  
アアドナレニ衆テユク客思モサマク  
生スモ思ヒトメルモナイ

秣馬臨荒甸登高覽舊都猶悲墮淚碣尚想臥龍圖 岷山ハ聞及ニ  
夕処ニハ夜中

カラシタクシテ朝トク岷山ニ登リ古繁昌ナリテ有ツラト都ノアトヲミテ昔晋ノ羊祜カ襄陽ヲ鎮テ岷  
山ニ遊ブヲタクシテ民ヲ思フ惠澤ノ深イ人ニ羊祜ガ死ヌト岷山ニ碑ヲ立テコレヲミルモノ涙ヲカス

後ニ社預ガ墮淚ノ碑トナシケタ碑ハ平字ニ碣トイタモノヂヤ碑ト同シヤ今テヲ岷山ニ登テ墮淚ノ  
碑ヲヨシテミレハヤハリ古ヘニカワラヌ相接シ孔明カ隱レイタ隆中山ヲ見ゾミツイテ孔明ガ八陣ヲ石ヲ以テ

圖シテニタト 城邑遙分楚山川半入吳丘陵徒自出賢聖幾凋枯

サテ麓ノ城邑ヲミレハ地勢ガ楚國ノ方ニカツテアリ山川ハ吳國ヘ入コシテ唯山カニキクト出テアルガ  
ニル襄陽ノ賢者ノ多イ処テ有タト云カ其賢者ノ塚モミヘヌ凋枯ハ死ニテシウタト云義テアル

野樹蒼烟斷津樓晚氣孤誰知萬里客懷古正踟躕 野ニ樹木  
ナドカニ分ガ

蒼烟斷テシラハゲテアルハワタシ場ナドカニルガ昔サソ家モタサシ有タテアラフカ今ハ只一ツナレノ樓  
カハルニナヤ吾萬里遠キヨリキテ古ヘヲ知テイルダケテ懷古踟躕シテイルト云ヲ誰レモ知ルマイ

贈蘓味道 杜審言

北地寒應苦南城戍不歸邊聲亂羌笛朔氣捲戎衣 今其元北地  
一行テイル

ルニサツ寒フテナシギナラフ都へ帰ルモナラズツトイラルト云ハ大支ナラフアル北地ニ對シテ都ノ一ノ南城ト云起句ノ苦ノ字ヲウケテ此ノ寒イニツイテ邊塞ノ胡兵カドコテモカレコテモ當ラ

戰欲盡漢卒尚重圍

雨雪モヒタモノ降テ關山アタリモ曇リワタリテ暗ク風霜ノ強イニ州木ナドモマバラニアルコレマデ第一句ヲウケテ云ヒ以下ハ

此方カラ行テイル兵兵胡ヲ打田ニテヨソミヲニセマユ

雲淨妖星落秋高塞馬肥據鞍

雄劔動搖筆羽書飛

ソラモレ悪星モ落タレハ追付軍モ治ルテアラフコト馬モ肥テ達者ニナル時分ニカケマワリニモヨク大刀ヲ帶テ動キモヨカラフ其元ハ

文章ノ達者ニ軍中

輿駕還京邑明遊滿帝畿方期來獻凱歌舞共

春暉

大將ノ怒人數ヲロエテ京ニカエラルニハ朋友友都ニミチテ待テイル今カラ定ツテイル來春ニ首尾ヨク歸テ凱陣ノ歌ヲ獻シテ天子ヨリ御酒宴ヲ下サレハ共々歌舞シテタシムテアラフ

酬蘇員外味玄夏晚寓直省中見贈 沈佺期

同役ノ郎官カ六月ノ末天子ノトイ番

並命登仙閣通宵直禮闈大官供宿

膳侍史護朝衣

員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合ノ門ナルニ禮闈ト云今吾レモソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番テ員外郎ノツトメ処崇禮門ノソキアル禮闈ニ寓直シテツテゴサルソレニ天子ノ大官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニ女官ガ二人シテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

卷幔天河入開窻月露微小池殘暑退高樹蚤涼歸

ナドヲタキコメ守護ノイル

役処ノ景ヲ云幔ヲマクト直ニ天河カサシコムヤウニニハ窓ヲヒラクトウス月夜ニハ露ノ多ク気色ナトガホカニニハル夏晩ノ一ニ暑氣モ退キ涼シクナリマダ秋ニナラヌウチカラ冷カニ秋ニナリカツタヤウス

冠劍無時釋軒車待漏飛明朝題漢柱三署有光輝

公用ニシケイ夕処ニ壯衣

東ヲトクモナク夜アケク漏ヲ待テ直ニ參内セラルハ水トケイナリ漢ノ田鳳ガ郎官ヲツトメシトキ容儀端正ナリ靈帝ノ目ニトリ題柱曰堂々張京兆郎トホラレタガアルハ明朝其元參内セラレ番量スタレタニハ格別ニ天子ノ御目ニトマリ柱ニ題セラルハナラハ同役ノ吾ラニモイコウ外分ノヨイコトヤ尚書省門下省中書省ヲ三署ト云ナリ

同韋舍人早朝 之夜アケノ一ヲ云

間闔連雲起巖廊拂霧開玉珂龍影度珠履雁行來

夜カアケクハ

ノ表御門ノ雲ニ連テ高ク起テアルガニハ廊下マワリノ戸ヒラナドモ曉方霧ヲ拂テソロクヒラク出巖ハ只高イト云コニツイタモノヲヤソレヨリ官人凡カ玉珂カガカリ多童ノ影ヤタスグレタ馬ニ乘テク

長樂宵鐘盡明光曉奏催一經傳舊德五字擢

親ノ旧徳ヲツタエテ漢ノ韋賢ニモトラヌオノスグレタ人デアアルハ漢ノ韋賢ヲ承相ニ少子玄成復以明經歴位宰相鄒魯諺曰遺子黃金滿魯船不如教子一經

英材 成テキテコレハ吾モ韋舍人ト同シヤウニツトメテイルコト云以下二句テ字ヲホル其元ハ

會ガ五守ナラシタレハ明文ニ成テ帝ノ御キゲン入タカアル。儼若神仙去紛從霄漢

其元ノ英オデ文章ヲ書レタナラハ定メテ御キケン入テアラフ。儼若神仙去紛從霄漢

同十春奉休曆分禁喜趨陪目通リヲ往來スル衣裳ツキカ儼ニリツナリ天子ノ御

奉和幸長安故城未央宮應制 宋之問

十二月二十日ノ御幸ナリ漢ノ都ノ跡未央宮ノ有タルハ漢王未息戰蕭相乃營宮壯麗

長安ヨリハ少北ヘヨツテアル御幸ノ作ヲ和スルナリ。漢王未息戰蕭相乃營宮壯麗

一朝盡威靈千載空漢高祖ノ戰ヲマズ自身征伐ニ出ラレタアトテ蕭何カ未央宮ヲ作

中今德ノ明ラカナ天子ノ行幸有テ昔ノ跡ヲゴラシナサレサテモサシナト懐思シ召ソレニ羣臣ヘモ

御酒宴ヲ下サレテ天子ノ行幸ニ寒モウスタ暖ニ思ハル。綵仗ト云天子ノ御先拂ニテ道具

繼大風今朝天子貴不假叔孫通廻斜貝淮南子故事テ天子モ樂シ思召御酒

以テヨビカシ日ヲ三舍反ハ魯陽公カ故事アル。天子ノ御制作ヲホメテ昔漢高帝沛宮ニ御幸有テ酒醉ニシテ大風起兮雲飛揚ト云テスケル。天子ノ御制作歌詞モ大風ノ歌ニ相繼テラトラスケル。朝儀ヲ起シタト云カ今天子ニライテ元ヨリ貴イニ叔孫通カウチモノヲカルニ及ハ又高祖ヨリニサツタナリ。漢ノ初群臣飲酒シテ功アラソク醉テ安リニ呼ヒ劔ヲ拔テ柱ヲ擊ツ高帝厭之叔孫通起朝儀諸侯王以下震肅ス帝曰吾今乃知為皇帝之貴也ト云ハレタガアル。

奉和晦日幸昆明池應制 世説ニモアル通り正月晦日ノ行幸ナリ

春豫靈池會滄波帳殿開舟凌石鯨度槎拂斗牛廻春ノ行幸

云靈池トハホメタ言テアル。春昆明池ニ御幸ナカルニツイテ池ノ滄波ニ臨テ假リ御殿カ押シ開テ立テアル。武帝ノ時ニ池ニ石鯨ヲシラヘタカアル御坐舟ヲ押シ込テ通ル。同シ池中ニ牽牛織女ヲ石ヲ以テコシラヘタカアル其アタリヲ梓ヲサシテ乗テワルノ槎ノ字斗牛ノ字ニ縁カアルニ假テ楫ノ字ニカアル以下ノ二句正月晦日上云フキカセル。節晦莫全落春遲柳暗

催象溟看浴景燒却辨沈灰黃州ハトケイノヤウチルテ堯ノ時ニ生シタ高帝代ヲホメ

ルヲ云コシハ池ニ日影ノウツルヲ見テ浴景ト云テアル池ノ深イハ三丈ニ燒却灰ヲ武帝ノ時。鑄飲周

文樂汾歌漢武才不愁明月盡自有夜珠來今日ノ天子ノ御制作漢

武帝ノ汾河ヲ渡テ秋

風ノ辞ヲ作ラレタニモ劣ラヌ今日ノ音楽八周ノ文王ノ樂ニモトラスの今日ハ珍ラシイ御遊興ヲ珠ニ  
夜ニ入ルニテ還御ナラヌ今宵ハ晦日ノ月ガナクレ氏ノモ若勞ニナラヌ大方魚ガ明月ノ珠ヲ舎テ  
来ルテアツクノ昆明池ノ魚ガ武帝ニ  
珠ヲ獻シタリガアル

和姚給事寓直之作御史ヨリ給事  
成タト見ユル

清論滿朝陽高才拜夕郎還從避馬路來接珥貂行其元ハ大  
勢ノ中テモス

グレタモノト朝廷ハイノ評判ニ高オヲ以テエラヒ出サレ即官ニ仰付ラレタの日暮入對書瑣門ニ拜スル  
夕郎ト云其元ハ人ニ馬ヲサケラルル御史ノ役ヨリ來テ御近処ニキノ貂ヲサレサム給事ノナニハレタの  
後漢ノ桓典ガ故事ナリ絶句ニアリノ珥  
貂トイタチノ尾ノヤウチモノヲ冠問并シテ

茂蘭署得以芳御近処ニキノ天子ノ御ツヘ近付テ格別ニ御寵愛ヲウケラレトノ御史ノ時ニハ白  
簡ニ邪惡ノ者ヲ書付テ直ニ天子ニ御目ニカケルギツイ霜ノ如クナル威勢ヲ廻テ其  
元ノ本役所柏基ニモ鳥ヲウツシテ其元ノ役替ヲセラレタニ跡ヲ敏言

更長曉河低武庫流火度文昌寓直ノヤウスラ云禁裏ニヨモスカラモ静ニシテイラ  
ル時ニ鐘ヲツキ出スト早ク通りヌケテキニ西ヌノ

重乘秋藻翰揚暗投空欲報下調不成章寓直ノヤウスモ其元ノ番ラシ  
テイラルニニ人モカクハツ思

ウツ生間イタ遠ク刻ヲツゲルモ長ク思ハレ曉方ツラヲミハ禁裏ノ西南ノ方ニアル武庫  
ノ方ハ天河カ低レ時分カラ七月ノ二大火心星モ西南ニアル文昌宮ノ方ニワタリ

元ノ本役所柏基ニモ鳥ヲウツシテ其元ノ役替ヲセラレタニ跡ヲ敏言

ヒノ乗秋ハ文章モラゲレテヨク出來テアラフ翰ハ文章ノノナガラモ鳥ノ高ク飛上ルマウナト云意ヲ會テ  
アルと思ヒモヨラス名詩ヲミルノモナラヌ此方ニ暗ニ投シテクレタニ出來ヌナガラモ和ラシタラ思ヘ何ヲ  
云テモ下調ノ一ニ章句ヲナサヌガ  
殘念ナト謙退シテ云ナリ

早發始興江口至虛氏村作

候曉踰閩嶂乘春望越臺宿雲鵬際落殘月蚌中開宋之問カ  
南方ニ左

遷セラレ夕時分ニ南方始興縣ノ江口ヨリ發足シテ虛氏村ト云處ニ來テ作ル候曉夜ノ明ルヲ見合セ  
待テ閩山ヲ越ヘテ越ノ方ヘユク春ニ乘シテ越手亭跡ナトヲ見。鵬際トハ莊子ニ北溟有魚其名爲  
鯀化而爲鳥其名爲鵬之背不知其幾千里也怒而飛其翼若垂天之雲トアルニ雲ト鵬トツリ  
アイニ成テ鵬際トハ實ニ天際ノ一ニナル宵ノ内カラ宿雲ガミヘタカ曉方ニニレハ天際ニ落テ見ヘヌト云  
ナリ。蚌ハ水中ニアルモノデ蚌ノ貝ノ中カラ玉ガ出ルト云ナリ

桂香多露裊石響細泉回山路ノ体ヲ云夜ノアケルニ隨テ桂芬ガナドノ青々トシケリテ  
アハカミル枕柳ハ南國ニ澤山アル木テ葉ノ大分ツイテアル

抱葉玄猿嘯銜花翡翠來南中雖可悅北思日悠哉山木葉ノカ  
ケテ猿ノウツ

フク声ガキコハ中國ニシラシイ翡翠鳥ガ花ヲ含テトビマワルカマウナ面白イギヲ雖  
可悅面白イハナセナレハ都ヲ思フ北思ガ日々ハカニ成テツイツ帰ルト云ナリモ知レヌ

髮眞髮俄成

髮眞髮俄成

素丹心已作灰何當首歸路行翦故園菜  
ソノ心カクロ影モ素クナリ大功ヲ立テ立身シヤツト思フタ丹心モ灰トナリニモカマクニタヌ心ハ火ナリ火ノ色ハ赤ニヨツテ丹ト置タモゴデ火ヨリ灰トツリ合テアル何當首歸路都ニ歸テアラナラハ故園ノ草ノハエ茂テアル処ヲ刈リ掃テ引込ム氣ニ成テ古詩ニ方同勝戰者去テ前北山菜トアリ

同餞揚將軍兼原州都督御史中丞  
同ト云本集ニツイテ撰シタモノニ共通リ

蘇頌

右地接龜沙中朝任虎牙然明方改俗去病不爲家  
右ト云西面スルトモ西ハ右ニ當ル其元ノユカル右地西域ノエニス口ハ龜沙ニツマナレハ大切ノ処ニ朝撰ニ於テ其元ヲ虎牙將軍ノ重ト官ニ仰有ラレテツカサル虎牙漢將軍ノ号テ龜沙ト對ニル其元ノ胡ノ地ニカレテ漢ノ張然明カ如ク夷ノ風俗ヲ改メテセラル漢武帝霍去病カ爲ニ策ヲ治トス去病辭メ曰匈奴未滅何ッ家ヲ以テスルヲセシト去ナレ

風搖漢鼓邊月思胡笳  
ソレニ天子ヨリモギツト壇ヲ設ケテ大將ノ禮ヲトメ盛ナラテアルコト度大勢ノ人數ヲ引ツレ塞ニ出ラハ誰カミテモ華ヤカナラカシ又月夜ニ胡笳ヲキカルテ有ト今オトガ思ヒヤル

旗合無邀正冠危有觸邪當  
旗合ト云ハ人數ノヨクワラタフニナル此ノ方ノ正ニキ夷カ向ヒ近付ハナルイ殊ニ御史ヲカチテユカルニニオソロシイ冠ヲカフ

看勞旋日及此御溝花  
旗合ト云ハ人數ノヨクワラタフニナル此ノ方ノ正ニキ夷カ向ヒ近付ハナルイ殊ニ御史ヲカチテユカルニニオソロシイ冠ヲカフ

秦和聖製途經華嶽  
天子ノ行幸ナサルニツイテ經華嶽ト云カ天子ノ題テ大華嶽都西ニ當テ天下ノ五嶽ノ中ノ一ナリ

張說

重嶺應緹騎薄雲迎  
先ツ此ノ華嶽都西ニ在テ皇京鎮護ニナル山テ頂上ニ三峰ルユ天子ノ御車ノ五ノ重ト云モノカコタマヒイテ山ニ應シ緹騎赤イ裝束シタ御先手カウス雲ヲウケ上ルユ迎トイフ

白日懸高掌寒空映削  
白日懸高掌ノ掌ノアルアタリニ懸テ三ノ華山記ニ華山四面峻如削成上有五崖比壑破巖而連

成軒遊會神處漢辛望仙情  
白景ガ高ク掌ノアルアタリニ懸テ三ノ華山記ニ華山四面峻如削成上有五崖比壑破巖而連

舊廟青林古新碑綠字生羣臣願封岱廻駕  
自下遠望如常○寒空ト云ハワラノ晴レ切タフテ削成峯ニ映シハツキリトミル昔コノ山テ黄帝軒轅氏ノ神仙ニ會セラレタ処テ漢武帝ノヲ山ニ行幸シテ高臺ヲタテ神仙ヲノゾマレタ情モ今日天子ノ思召モ同シテアルト昔

勅鴻名  
青林ノ中ニ山ヲ祭テアル舊廟ハモノ古リテ三此ノゴロ建ラレタ石碑ニモナラカニ吾ガテコレヨリスグニ天子ニモ駕ヲ廻ラシ山ニ御幸ナサレ封禪ノ御儀式ガ有テ天子ノ鴻名ヲ勅我

我マデモ名ラシルンテカエリタイモノト天子ヲオスマ申ス心ニ云ナリ

秦和聖製早度蒲關四字天子ノ題テ蒲關ハ汾水ノ関也張九齡

魏武中流處軒皇問道廻長堤春樹發高掌曙雲開昔魏武侯吳起下

西河二舟ヲ泛テ美哉山河ノ固是魏國ノ寶也ト云レタ処テ天子モ都ニ御歸リナサレ義ヲレ古黃帝軒轅氏ノ廣成ニ道ヲ問ハレシ同事ナルト聖人ニ比シ云汾水ノ堤ニテアル並木氏モ春ヲニテ花ガ

ヒラキ以下ノ句テ題ノ早ノ字ガキニル華山ノ高掌ノアル方ヲ遙ニ見望メハ夜ノアケルニ隨テ雲モヒラキ龍負王舟度人占仙氣來河

津會日月天仗役風雷天子ノコニ水中ニイル竜モ王舟ヲ負テ度リコノ処ノ冷モ天子御歸リナサレテ

日天子ノ御供ヲ風雷ヲ御先拂ヒラスルトニル文選ノ相如ノ賦ノ意アル天子ノ旗モサマアルカ皆模

樣ニ日月風雷カ画テアル共ト云々モデアル會日月ト正月晦日ノトキカセタモノテ晦朔ノ間二月カ會スル二月ガ

ナクナルデアル東顧重關盡西馳萬國陪還聞股肱郡元首咏康

哉東方關処ヲ通り尽シ西ノ方ノ國々ノ諸侯タチモ天子ノ御歸リノコニ皆御迎ニ出ルイカサマ繁華

首天子ノ四海康哉安寧ニ治タマウスヲ詩ニ御作りナサレタヲ見テ股肱ノ者モ皆康哉ヲ咏シ我モ亦天子ノ和韻ヲ任リマス云トナリ書經ニ元首明哉股肱良哉庶事康哉トアリ

未央鐘漏晚仙宇靄沈沈武衛千廬合嚴扃萬戶深クレヤノヤウスカラ云々

和許給事直夜簡諸公簡諸公ヲ題ニ作タ詩テ九齡王諸公内ニ和スルナリ簡手紙ノヤウニシテカハスナリ

庭接玉樓陰其元ノ詔テイラル左掖ハ直ニ天子ノ御近処有南窓ヲヒラクト月影カツムリノ

侍臣心此中カラ其元ノカワリ番ニ出ラルト云フバキイテイタガシカト知シナンダニ中ノ侍臣ヤウト

他日聞更直中宵屬所欽聲華大國寶夙夜

竊拈者情發為知音オ人ノユニ興ニ乘ノ高閣ニ登リ詩ヲ作テコサレタガ今夜禁裏ニ寓直シテイル中ニモ其元ニ先達テ飛フ者ハアルマイ誰

逸興乘高閣雄飛在禁林寧思

テモ其元ニツクモハナイ雄飛ト云ハ男鳥ノ女鳥ニ先立テ飛フ意テアル吾レ元ヨリ詩ヲ作ル

氣モナカツタカ其元ノスケラ詩ヲ見テ思ハスニ和フル情ノ發スルハ其元ノ詩ヲヨロモノカア

ルカ何トドフ思ヤルグ寧思ヤトカハツテミナハレヌノ竊拈ト云ハ此ノ方ノ小謠ヲヨク

シタフ者ノ迹処ニ居テキクトキニ手前ニ心覺ヘアルモノハ面白イ処ユクト思ハスニラスニ手拍子

ヲウツヤウチガ竊拈デアルノ知音ハ鍾子期伯雅カ故事テ琴ノ音ヲキシル音樂ノ上ニツ

イタナリ

酬趙二侍御史西軍贈兩省舊寮之作西軍ノ大將ヲツテイテ舊

非律

テ未央宮ニ於テ入相鐘モナリ日モクレテ禁裏ノ御殿モコシモリトオクラタ沈々トオクフカク見ル

武衛ノ夜モスカラハリ番ヲスル役テ役所カクルト取リマツテアルニ合ス上云屬ハ萬戶ニキツト番ヲ

シテイテ非常ノ者ナドカマツタニノキニナラヌヤウニイルヲ云フ左掖知天近南窓見月臨樹搖金堂露

リカツテニルニハ揺ト云左掖ノ處ハ禁裏ノ玉樓ノ後アル

寮トイハモトノ相役テ九齡モ同役テ  
有タトミルブレニ詩ヲ贈タモノデア  
石室先鳴者金門待制同操刀常願

割持芥竟稱雄  
石室天子ノ秘書ヲ藏メテヲカル  
藏テ文字者ノ集ル処テアル  
先鳴ハ左傳ニモアル通り  
雞ノ蹠合ニ勝タ方ガ先キニ鳴ハシメル  
ノサテ石

室テ大勢集テイル中テモ人ニ先立テ  
鳴出シタハツナタヤ金馬門ニ天子ノ詔ヲ待テ同ク及第  
ヲシタモノモツナタノ器量ノスケレタ  
ヲヨク知テイルノ操刀割上云ハ  
黃帝ノ言ヲ述テ民ヲ治ル

治テニナルヨリオノスケレタ人  
ユノ刀ヲ操テ何ツツカレ  
イ治メニタイノガアラハ  
應敵兵初起

縁邊虜欲空使車經隴月  
征旆繞河風  
應敵ト云ハコノ方カラ  
アタカチニ出ス  
隨分敵カサワイ  
ニク方カ

軍ヲレカケルヲ待テトツク  
トヤクスヲ見トケテ此方ノ人  
數ヲ起シ敵ニ應シテフセク  
スイツテモ此ノ方ノ勝テ  
ルノ縁邊トイハ縁ハ衣裳ナ  
トテイハグルリノヘリノ  
ニナル邊塞ノ北カラ西ヲオ  
ニミテ夷兵カ

皆々其元ニ追ハレテ逃テ  
シマフデアラク  
御用テ往來ス  
コノム  
忽枉兼金訊非徒秣馬功

氣清蒲海曲聲滿柏臺中  
コトニ際イナイ中カラ詩ト云  
心モコツテアルケツコ  
ナラトシラシテク  
レラレテカクシケテク  
トハコス  
ニシキ  
処カラ

華省欣君震遠戎  
明時獨匪報常欲退微躬  
其元ヤウナスケレタノモ  
アル  
依テ吾カ身ヲカ

予三六何功モユテス  
歷々トツ役処ニイテ華省  
ヲケカシテイルハ  
此カシイノチマコナ  
タカ遠戎ニ感ラ  
フルワルハウ  
ラヤシイノテアル  
御當代ハ明德ヲ御上  
ニニナ  
ソツ功ヲ立テ  
御恩ガ報  
ニケラ  
フナラ

ハナゲヤリハナサ  
レマイソレモ得ナ  
ラヌツイテハ  
吾カノ少シノ微躬ヲ退キ引込  
マフト存スル

奉和聖製送尚書燕國公說赴朔方軍  
大臣燕國公張說朔方軍赴

カニツイテ天子ヨリ御直ニ送別ノ詩ヲ  
被下シテ和シヤイト詔アリテ和スルナリ  
宗臣事有征廟算在休兵天與三台

座人當萬里城  
カマツナ大將ノ征伐ニ出ラリ  
六天子ヲ始メ百官カ宗廟ニ於テ御儀式ノ上テ  
仰付ラルニ依テ廟算ニ去算ハ  
カカリコトナリ宗臣ハノ大臣ト云  
意ノ鎮リニク

朔南方偃革河右輶揚旌  
寵賜從仙禁光華  
イ朔方ニノ大臣ノ征伐ヲ事トセラル  
ハ一通リノ軍ヲ治ルヤシ  
ナ大將トハチカフテ休兵  
ヲフモトニテ行カレ  
大臣トイハ天ニ於テハ三台ノ人事ノ上テハ三公ニ當テ  
甚々重イノテ其人トイハハ  
人ニ萬里ノ城ニアタル  
ホトノ人ニ夷兵カメツタニ  
テキタフ  
ハ及モナイ  
トヤ

出帝京  
カマツナ入ニ朔南ニユカレテ直ニシツ  
ベリ兵革ヲフ  
ヘフシ治ルデア  
ラフ河右ノアタリニ輶旌  
ヲ揚ラレタ  
ラカハモ  
シツルデア  
ラフノレニ天子ヨリモ格別色  
タク賜ヲ下サレ其  
上ニ

山川勤遠略原隰軫皇情  
為奏薰琴倡仍題  
御製作ヲ下サレ花ヤカ  
ナ躰テ都ヲ出テユカレ  
山川勤遠略原隰軫皇情  
為奏薰琴倡仍題

珣劍名  
山河ノ遠イ処ニテ謀ヲ  
ダグラシ勤ル心デユカル  
世界ノハテ野原沃ノラク  
マデモ天子ノ公ナ  
ル皇情ヲメグラシテ今其元  
ヲツカサルノ軫ハ車ノヨ  
コ木ヲシテ車ヲヤルモ  
ナリ張説

音頭ヲ取テウタハレテアル  
此送別ノ詩ヲサレテ云  
〇偈ハヲドヲトルノナリ  
仍ヲ其上ニモ天子ヨリケ  
カニナル又琴ヲ茶ヲシメ  
ヨセルモノヲ云シメタル  
ト云意ナリ〇ソレニ今其元  
ノタメニ南風ノ詩ヲ

下サル肅宗ノセラレタ  
コナリ  
聞風六郡勇計日五戎  
平山南歸應疾留

非律

疾功復成

關風トハ先クヲ云ガキニル処ニ六郡武士兵其元ノ家風ヲキイテヨロコビイサン  
○仲山甫八周ノ宣王ノ大臣ニ張説ニ比シ云上ノ句ヲウケテ五戎ガ忽ニ  
平ラクノニ定メテ早ク歸ルルテ有フ張良ガ如ク骨モラズ大功ヲ立テ 歌鐘旋可望枕

席豈難行四牡何時入吾君聽復聲

三見ルデアラフ会邊塞ヲヨク治メラタナラハタニ上ヲユクヤウニ心易クナルデアラフ凱陣ノ  
リハ四牡ノ車ニ乘リ何レ時カ早フ歸ラレテ吾ガ君ノ其元ノ復聲ヲキイテ悦ハヤラルヤウニ  
シタイモノデアアル漢ノ哀帝鄭崇カ  
復聲ヲル尚書ノ故事テ親イ義ナリ

奉和聖製暮春送朝集使歸郡應制

ヲ持テ上テスグニ正月ノ御儀式ニ逢テ歸ル郡主ガ間ニ直ニ來ルモアル  
郡主ヲ以テ古ノ諸侯ニ比シ作ル天子ノ御製作ガアルニ付テシテ和スル也 王維

萬國仰宗周衣冠拜冕旒玉乘迎大客金節送諸侯

云ヒカケル唐ノ都ノ周ト云ヒ出テ郡主ヲ諸侯ニ比ス○萬國ノ諸侯ガ皆々唐ノ御世ヲ貴ヒキツト  
衣冠束帶ヲシテ冕旒ノ御衣ヲメシテゴサル拜ニ來ルニヨツテ玉乘ヲ以テ大客ヲ御迎ヘナサレ  
歸ラルニ金ノ節旒ヲ下サレ道中筋モ  
ハテ歸ルルニ有フ金節玉乘庄重事ナリ 祖席傾三省褰帷向九州揚花飛

上路槐色蔭通溝

今カエフルニツイテハハナケサキノ祖席ニ三省傾イテ皆官人々々  
ハ馳走スル太守ノ車ハ褰帷九州ハ方々ノ國々ノ時節カラ春ノ

ト云ヒ揚花トモ飛散テ都ノ海道モニギヤカニアル  
御溝ノマワリニル槐樹トモ茂テ水ニ蔭ガウカフ

來預鈞天樂歸分漢主憂宸

章類河漢垂象滿中州 都來テハ正月ノ御儀式鈞天ノ樂ニアカリ國ニ歸テ天子ノ  
イサシテ天子ハ只詩ヲ一首作テ皆ニ下サレ天子ノ宸章ノ御製作ハ天ノ河漢ノ如クニシテ其垂象ノヒ  
カリガ九州ニ滿キワタワテ殘ル処モナイ大ナル義ト手前ノ詩ノ和作ニ天子ヲホメテ云

送李太守赴上洛

李氏カ上洛郡ノ太守ニ  
成テ行クヲ送ルナリ

高山包楚鄧積翠藹沈沈驛路飛泉灑關門落照深

タリハ古ノ漢ノ時ハ楚鄧ノ間コトニ春ノトニ山ガ青々トノ藹トオグラク沈々トオクフカイト何ホド  
ツバイテアルトヤラシシ又山路ヲ登テユカルニ遙ニ高イ処カラ飛泉ナトカソギ落○落照ノヲリハ關門  
ニイラルナラハサツサビシイトテ 野花開古戍行客響空林板屋春多雨山

城畫欲陰

其元ノユカレ役所ハ山ヲクニアルニ其アタリニ荒レハテタ番手屋敷ナトニ野花ノ  
オニ名クシレ又花ナトカ咲テアルデアラフ行客ノ足音ガ人カケモナイ空林ニヒイ  
テモノサビシイ海道テオク山ノ家ナドモ板屋根ニノアルニ春雨カフリ 丹泉通號略白羽

抵荆岑若見西山爽應知黃綺心

荆山ノ方ニタレテアル西山ハ即高山テ高山ノ爽トシタ景色ヲミラレタナラハ古ノ高山ニ隱レタイタ皓  
心ノ高イヲモシラルニアラフ奉行ナハ山ヲミル際ノアルヲヨイトスルニカク云テヤルナリ

非律



送秘書晁監還日本

晁監ハ阿陪仲磨ガテ玄宗ノ時秘書監ヲシテ  
イテ日本ヘカエルヲ送ルナリ

積水不可極安知滄海東九州何處遠萬里若乘空積水ハ海ナ  
リ海ト云モ

ノハドモテモツイテハテモナイユ不可極ト云滄海ノ東ニナガアルト云フモシレ又古ハ驛行カ天  
地ノ間ニ唐ノヤウナ國カ九フアルト云々其元ノ歸ラル日本モ九州ノ内デアラフ方何程遠イ

ヤラシレヌユメツタニ只 向國惟看日歸帆但信風鰲身映天黑魚眼射

波紅波紅キケハ朝日ノ出ルヲ目アテニシテ行ト云カ歸ルト云テモイフクフモナラズトモナラズ  
風シタイニシテ風ヲタノミニユクト云モノデアアル海中ニ鰲魚ノ舟ヲ吞ニツフナ大魚ナドガ

時々ウカテ天ニ映シテマ黒ニニ魚眼ノ光リガ波ヲ射テ紅ニ見 鄉國扶桑外主人

孤島中別離方異域音信若為通其元ノ國ハ日ノ出ルニ近イト云フニヨツテ  
扶桑ノ木ノ近処デアラフコナタノ主人

孤島ノ中デノ天子ニ其元中国カラ歸リ犬キナフバカリミタ目テハザウキウツニアラフ異域  
ニ別レテイルフ音信ヲ通スルト云フモナルマイト思ハ別レテナゴリ惜フ存スル

送儲邕之武昌

李白江夏ニアル時ヲリク江ニ臨テ  
月ヲ別ルニツイテ思出ノ作ル

黃鶴西樓月長江萬里情春風三十度空憶武昌城今其元ノユ  
カルニツイテ

吾モ共ニ行テ武昌ノ黃鶴樓ノ月ヲ見タイト思ヒ出シ長江ニ臨シテノ情サソ面白カラフユキタイ  
ト思フノニテ春ノクルタヒヒト三十年ヲカタ空ク思フバカリテ武昌ヘ行カズニイル

送爾難為別銜杯惜未傾湖連張樂地山逐泛舟行今其元ガユ  
カル隨テ楚

ユカレヌハ爾ヲ送ガコトノ外別ヒニクウ思フ今ヲ酒ヲ飲テシマフト直ニユカルニ依テ少モ座ヲ長フ多フ  
思テ孟ヲカタフケテノニカヌル扱道スガラ昔黃帝ノ咸池ノ樂ヲ洞庭ノ野ニ張ラレタ此レ名所デアルガ

通ラレトナラサ面自アラフ山ヲミナカラ通ニ逐ト云 諾謂楚人重詩傳謝眺清

滄浪吾有曲寄入權歌聲李布ハ楚國ノモノニ故事ヲ出シテ昔ヨリ楚國ハ人ノタノ  
モシイ処ト云殊ニ謝眺ト云名高イ詩人モイタ処ニ今ニ其詩

權歌ニテモシテクレラレイ

陪張丞相自松滋江東泊渚宮

孟浩然

張說丞相ノ相伴多松滋江ヨリ 放溜下松滋登舟命楫師寧忌經濟日

不憚沍寒時溜ニ放水溜ハ水ノ川上ヨリ流レキテヨドデフトト流ル川デアアル舟ヲ放テ溜ニ  
隨テ松滋江ヲ乘リ出スワモリテ舟ニ登リ楫師ニコレヨリ渚宮ヘ舟ヲヤ

リマセイト命ツケルニ句倒句デアアル沍寒ノサムイラリニ不憚渚宮ニ下ラルハナダサニタダテハ  
ナイ天下ヲ治ル処ノ經濟ノ政ヲ心ニカケテ忘レズイラルニデアアルト云カ張說ハナイサツナリ

經濟ハ政事ノ世話ヲヤイ 洗憤豈獨古濯纓良在茲政成人自理機息

鳥無疑古ハ陸通仙人女冠ヲ水ニアラフタト云カ獨リ古ナラシヤ今其元モ仙人ニヲトラス人デアアル纓  
ヲ濯フト云ヤウナ潔白ナ義モ屈原バカリテハナイ良ニ在茲ソコモトデアアル以下張說ガ注

ノ方ノヨイヲ云政事ヲナスニモ事カ小細ニナクコセツカヌヘ人カ自然ニ理シ治ル列子ニアル海上ノ人機ヲ  
クリヤニテアル間ハ鳥ガウタカハスニフニナツテ遊ニテ去ラナシト云カ今張説モ無心無為ニシテ治ラル  
ルニ依テ入ノ心モ  
然ニナツク 雲物凝孤嶼江山辨四維晚來風稍緊冬至日行遲

舟中ヨリニル処ノ景ヲ述テ向ハナレ鳥ナトヲミレハ寒イ時分ニ雲ガ一処ニカタマワテアルニ依テ凝ト云江山モ  
四方ノ隅々マテハワキリトミル冬ノ夕ニ晚方ハ風カイヨクキビク吹テ寒ク冬至ヨリ後ハ日モ少シ長フナ  
ルニ依テ入ノ心モ  
ユルヤカニナル 獵響驚雲夢漁歌激楚辭渚宮何處是川暝欲安

之 楚ノ全地ヲ過ルニ雲夢沢ノ方ヲミレハ百姓ガ獵ヲスル音ガサワギ立テ雲夢ヲ驚カシテキコヘ  
川バタ通りニスナドリスルモノモ凡ガ奥州ノナマリフシノヤウチ歌ヲ鼻ニカケテスハバリニ高クウタフ  
楚辭ト云ハ書物ノ名アハナイコトハ奥州ナマリナド云ホドノナリ激ハニカニ高クハリアゲテ歌フ意  
テアル吾ガ行ク渚宮モトヲト云フモ知ラズ其地コノ地ヲナガメテイルウチニハヤ川モクラク成テ是ハ  
ドコヘユクゾト思  
フヤウデアアル

送柴司戸充劉卿判官之嶺外 高適

柴ハ氏ア司戸ノ官ノモガ嶺南ノ判官ニテリ  
オサニ成テイル者ノ下投テラレテ行ラ送也 嶺外資雄鎮朝端寵節旄月卿臨幕  
府星使出詞曹 其元ノユカル嶺外ハ殘ラス雄鎮ヲチキミテラモツテイル所雄ハ重イト  
朝廷ニモ格別ニ節旄ヲ電シタマフテ文官ノ九卿ノ劉卿ガ  
武官ニ成テ嶺南ノ役所幕府ニ臨ミ大將ニ成テ向ハル 海對羊城濶山連象郡高

風霜驅瘴癘忠信涉波濤 嶺南ノ景ヲ云海ハ五羊城ニ對シテタワラリト押開イ  
ノ霜ノ如クソツトスル瘴癘ヲ以テ南方ノ熱氣ヲモカリ出ルル  
アラフ唯トスニ忠信ヲ思ヒシテ波濤ヲモ何所思ハズニユカル 別恨隨流水交情脫

寶刀有才無不通行矣莫徒勞 今其元カ流水ニ隨テ行カルニツイテ吾ガ別  
吾カ大爭ノ寶刀ヲヌイテアル其元ノヤウナオノアル人ハドコヘ行テモ適ハヌト云フモナク皆人カモチヤ  
スモノ折角息火テトモノジムダ骨ヲ折ラズニ功ヲ立テ歸ラレトナリ

陪賈侍御泛靈雲池 賈氏カ北方邊塞ノオサヘヲノイル上ニユル靈雲  
池ヨリ川ヘノリ出シテ船遊山スルナリ

白露先時降清川思不窮江湖仍塞上舟楫在軍中 七月初ノツカ  
露モクタラヌハツチヤニ邊塞ノ一ニ時候ニ先立テ降り乘リ出シタ処ノ川ノ面ノ景色面白フテ

思ヒキワニラヌイカサニ南方ノ江湖ノ舟遊山ニ出タヤウニ思ハルカ能ク氣ヲ付テニハヤハリ邊塞  
テ舟モコノカノ 舞換臨津樹歌饒向勉風夕陽連積水邊色滿秋空  
軍中ニアル

妓女ノヲトリコヲノセテ舞モ歌モ川バタ通りノ木ヲアテテ此ノ木コリアノ木ニテナニヤドリナニフシ  
ト云ヤウニツレヨリサキハ段々換ヘルテアル歌モクシ方カケテサシク風ト同シヤウニウタフイカサマ面白  
イコトデアアル夕日カゲガ川ノ面ニ横スレカイニ 乘興宜投轄邀歡莫避驄誰憐持弱

水ニワラナリ秋色カ空ニニテ面白イ 乘興宜投轄邀歡莫避驄誰憐持弱  
羽猶故伴鷓鴣鴻 二カヤウニメツラレイ興ニ乘ソ黍タノニイツテモイルカヨイ平生ノ御史ノ  
二愁レルナレ今日ハオオス打クツロイテニルリトナクサマウト存スル

吾が此ノスミヤウナ羽カイデ大鳥トアウト思テイイルヲ誰レモシホラレイ心トアワレンデ  
クレルモノハアルマイ

行次昭陵 唐太宗ノ陵ノアル処ニ行キカサリ太宗ノ  
功ヲエラシメタヤウスヲ問フ心ニ作ルナリ 杜甫

舊俗疲庸主 群雄問 獸夫讖 歸龍鳳 質威定 虎狼都 隋ノ末ノ舊俗  
庸主ニ云ヒカウツテナセコノヤウニ世ヲ乱シタト責メ問ツメテ取テノケルヤウニシタ  
獨夫獨帝  
ヲサレテ云入ニ見ハナサレテヒトリハナレノ男ト云一ノ太宗ノ四歳ノ時ニ師者ガニテ  
龍鳳ヲスガタカアル  
ニヨツテ天下ヲトル人ト未來記ヲ云タカ果ノ其通りニ成テキテ十八歳ノ年ニ切テ出テ天下ヲト  
ラレタ乱

足日月 繼高衢 其主太宗ノラトナシ義ハ手前ハ天子ニナラズニ高宗ニ即位ヲサセテテ前ハ  
諸侯ニ成テイラレタ天屬ハ天然ノ御之キト云意兒ノ太子建成ハ惡人ヲ有タ  
ニ堯ノ舜ニツタヤウ位ハ自然ニ太宗ノ手ニ入テキタ其世界ノ神妙ヲ治ラレタ処ノ功ト云モノハ夏  
オト又人テアル殊ニ臣下モ皆思ヒ合タリニ絶足ノ馬ノ足ノ早イナト云ヤウニ何ノ苦モナク  
チツトノマニ  
天下ヲトラレタヨリメ日月ノ如ク  
天子ノ御位ヲ數代御ツキナサレタ 文物多師古 朝廷半老儒 直詞寧戮辱 賢

路不崎 區チ 文物ナニヤカヤモ皆古ハヲ師ト古ノ如クニシラレタ太宗ハ學文スキヲサレタニ  
モ學文ノ功者ナ儒者モ大勢集リキツイ諫メナドヲ云モノハ天子モイヤガルモノテ  
アルガ能ク諫言ヲキ入ル人テ諫ヲ云モノニ戮辱ヲクワヘルト云一モノク賢者ヲ道ノサカシ  
ヤシテクツト立身サセテヤル以下訓解ノ註非ナリ起句ニ立テ太宗ノ功ヲホメルナリ 往者

災猶降 蒼生喘未蘇 指揮安率土 盪滌撫洪鑪 往者ハ隋ノ末ノ  
云隋ノ末ハ天ヨリヒタ  
モ災カ降テ蒼生モカタイキニ成テイル処ヲ太宗ガカマシイテ率土安寧ニ  
治マシ民ヲ撫テ安セシラ天下ヲサカシト洗ヒヌク多ク之ヲ名洪鑪ハ天地造化 壯士悲陵邑 幽

人拜鼎 湖玉衣 晨自舉 鐵馬汗常趨 去ル程ニ今ノドノマウチ氣象ナ男ガ陵  
ニ來テモ太宗ノ功ニ感シテカサレニ  
ナゲカモノハナイノ幽人ハ手前ヲサス吾レ此ノ処ニ來テ太宗ノ陵ニ感シテイレハ御朝ノ中ニ太宗ノ御衣  
ヲ入タ唐ノ櫃ガアルガ時々ハ御衣ガヒトリ出テ箱ノ上ニ上ル云フ大功ヲ立タ入ノ意ハ死テモ消ヘヌト  
云カ諫ニラウモアルソウナ鉄馬ニ乘テ時々カケ  
ニワラルソウテ汗ヲナガシテイルト云フガ 松柏瞻虛殿 塵沙立 曠途寂寞 多開國

日流恨滿山 隅 此ノ方ノ目ニ只松柏ノ中ニ虛殿ノ建テアルヲノ見テ塵沙ノケカラハシイ曠途ニ  
立テタル境界ニ太宗ノ魂ノサワイテアルカハモ見ヘヌアル唯寂寞トモサガヒ  
シフテ太宗ノ國ヲヒラカレタ時分ノヤウチノハナイニ盛ニナリラ思ヒ出シテニハ頻リニモノカナレウナ  
ツテキテワラ中ノ隅ニテ滿チワタル流ハツキ又意ナリ

重經昭陵

草昧英雄起 謳歌曆數歸 風塵三尺劍 社稷一戎衣 草昧ハ天地  
ヲケサルヲ  
サレテ云ニ依テ隋ノ末ノ乱レ立タ世ノ中ヲ云ニナル此ノ乱レ立タ世ノ中ニ英雄太宗ノ起ラレテ天ノ曆數  
ノ歸スルト云一ハ先達テ謳歌ニララレタ隋ノ煬帝ノ生キテイラルウチニ楊枯李盛天之曆數有  
爾身ニ云ヤリ歌ガ出タク辨ヲ詠歌セシ一ヲ云ヒカケテ云漢ノ高祖  
ノ如ク三尺ノ劍ヲフリ推テタツタ度軍シテ天下ヲ治ラタ武王ノ如クナル 翼亮貞文德 丕承戴

作律

武威聖圖天廣大宗祀日光輝

翼亮ノ二字ヲ太宗親子ノ一ニナル唐ノ高祖ニ天下ヲトセラセテ太宗カ翼亮ヲ手傳シテ

文德ヲ負實ニカワラス保ツテイラレテシカラ天ヨリ大ニウケツカル即位セラレテヨリ弥アラキナ武威ヲ袋ニ入レテサテテ文ヲ以テシ禮ヲ以テテ治ラレタスケレタル外ノ計ハ天ノ如ク廣大ニシテ太宗祀モ日ノ如クニカヤイテ

陵寢盤空曲熊羆守翠微再窺松柏路還見五雲飛

王閬州筵秦酬十一舅惜別之作

閬州秦行座敷ナリ舅母ガノヲチニ姓ヲカヌテ

萬壑樹聲滿千崖秋氣高浮舟出郡郭別酒寄江濤

谷川ヲ乘リ出ス景色ヲ云秋ノ二谷川ノロニアル樹聲ノ鳴ル音ガミチワタリ舟ノ中ヨリ千崖ノハハノ方ヲ仰イテニハ秋色カワラ寒フスミボツテ高クノレヨリ舟ヲ國ハツレノ古マテ乘リ出直江濤

波ノ上ヲ酒モリノレドコニ良會不復久此生何太勞窮愁但有骨羣盜

尚如毛

カマツテ出會ト云モ明日バハカレ又今クマニ別レシムスナラヌドクテオレハ此ヤウニナキヲマルゾ至極愁ヲキタテ其身モ骨バカリニ成タヤウナリ乱ノ砌リナルハ盛ニ

哀號

トコユクト云テモアツナイ吾舅情分手使君寒贈袍沙頭暮黃鶴失侶亦

春歸

吟ノ草堂三年メテ歸ルニ春歸ト云

苔徑臨江竹茅簷覆地花別來頻甲子歸到忽春華

江ノ方ヘコニチガイテアル春ノコトニ吾ガイル茅ヲ軒ノ下ニ花ガ散テアル頻甲子ハ左傳ノ字ヲ用テ頻年ノ意ナリ頻リニ甲子ヲ歷テ今歸テハ三年メテ春ノコトニ花ガモ見テニ咲テアル

倚杖看孤石傾壺就淺沙遠鷗浮水靜輕燕受風斜

此ノ石モ替ラズ元ノ通りデアアルヨト気ツケテハ是レハ一盃ノマスハナルイト思テ沙地ニツイテノミカケル遠ク向ク水面ヲミル鷗ノカ水ニモ靜ニ浮テテリ燕ガ風ヲウケテ横スチカイニ飛テユク面白クデアアル

世路雖多梗吾生亦有涯此身醒復醉乘興即為家

ハ歸ルモノエラス立身スルモノエラス世路ガアソコニキツカテキテ思フ通りチハハツモナイノ梗ハ塞ノ義テ書カノ年ト云モノハ限リクアルモ今テ百デハ生キテ隨分酒ヲ醒テハノミクノ興ニ乘シ即家郷ト思ヒテイルデアアル

江陵望幸

モト代宗ノ吐蕃ニイナラレルライヤ思召テハ江陵ニ都ヲウツソウレイウヲトアルニ依テナルホト行幸ナサレテヨト云

蜀天文北照泰

上元年中江陵ヲ南都ト稱シタノサテ此ノ江陵ハ尤リツハテ繁昌ナリ也

雄都尤壯麗望幸歛威神地利西通

今天子ノ御幸ナサレヤウトアルニ格別ニ威神ノクライガアツテキタウニ思

ナレソウニ鳴クガ我レモ其元ニ別ルガアツ通リヂヤ

抄

ハルノカサマノ外自由ノヨイ処テ地理タイハハ 風煙含越鳥舟楫控吳人未枉周王

駕終期漢武巡 風景ハ越ノ方ヘヨククテアリ船路ハ吳國ノ方ヘカケ何ヲトリヨセヤウモ自由ナ

サルト云フヲ期シテ待テイル 甲兵分聖旨居守付宗臣早發雲臺仗恩

波起涸鱗 居ノギハハノ大臣ニ御アツケナサレ早ク御供ミワリヲ發シテ天子ノ御恩波ヲ以テ

水ニカツテイル処ノ民ヲウルホサセカント天子ノ御幸ヲ待ツナリ雲臺仗ハ光武ノ二十八將ノ一ヲ云

秦觀嚴鄭公廳事岷山沱江圖 廳事ト云ハ此ノ方ノ書院サ

江ノ圖ガ 沱水臨中座岷山赴北堂白波吹粉壁青嶂挿雕梁

梁ノキワニテトクマウ 直訝杉松冷兼疑菱荇香雪雲虛點綴沙州得

微茫 杉松ノヤウスヲヨク書キ取タニニ冷トスルヤウニアル是ハ合点ノユカヌト思フホドノテアルハ

川ハ々通リノ草ナドモ遠イ処ヲヨク書取タ得トハヨクカキマセタト云意ナリ 嶺雁隨毫末川

霓飲練光霏紅洲蕊亂拂黛石蘿長 嶺雁ヲ雁ノワタルヤウスヲ一トフダカキニ

雁カ大キク見ヘ段々ウスクナルニ隨テ小クミル川ノ上ニニジナドガツイトカイテアルガ地縮ラニダヤウニ

カツタヤウスガ見ヘ 暗谷非關雨丹楓不為霜秋城玄圃外景物洞庭

傍 谷ノイナドガクララ見ヘルガ雨ノ降テ暗イデハナイガ画ノト云暗イヤウニカキナシタ処ガ雨ノフルヤウニ思

ミルニ句テ山水ノノヲクソツテ云フ 繪事功殊絶幽襟興激昂從來謝太傅

丘壑道難忘 襟ノ興ガ出テクルハ激昂ハ画ヲミテイルウチニ出テクルヤウニミルト結句

嚴武ヘノアイサツニ元ヨリ晋ノ謝安ガ如ク丘壑スキノ人ニカ子テ坐敷ニワリテ山水ヲエカイテ

冬日洛城北謁玄元皇帝廟廟有吳道士畫五聖圖

唐ノ世テ老子ヲ先祖アシライニシテ廟ヲタテ祭テアル其中ニ吳道士ト 配極玄都闕馮高

禁籟長守祧嚴具禮掌節鎮非常 配シテ北極ヲ以テ天子ニ比シタモノテアルハ

玄都ハ仙人ノイル処ナリ即廟ヲミテ常ニ入ノミルノナラヌヤウニ門ガ鎖シテアルハシカモ廟ガ高イ処ニアルガ

トリウシテ牆ガ長クシテアルハ祧ト云ハ位牌ノヤウナモノテ守祧ト云ハソレヲアガカル神主ノヤウナモノテ前ニキツ

非律

トモリヲソナヘテタクの掌節ハキ大將ノテ大勢ノ武ヲ  
ツレテ非常ノモノ入リコトマヤウニ急度番ヲシテイル 碧瓦初寒外金莖一氣旁山

河扶繡戶日月近雕梁 屋根ノ瓦ナドモ青々トシ初寒外ト云ハ冬至ノ一ニサムトシテ  
九金莖ナドカツト高フ人間ノ氣ムシラヌ又天ノ一ニ元氣ノカタラテ

仙李盤根大猗蘭奕葉光世家遺舊史道德付今王 庭ニ李樹アリ  
大ト根バリモ大ニ老子ノ徳モスエバリニ盛ニテハ蘭ナドノウエテアルガ見テニ枝葉カサカテアリノ後漢

畫手看先輩吳生遠擅場森羅移地軸妙絶動官牆 吾  
先輩ニモスケレタ画カキ匠カ沢山アルガ呉道士カ画ニツククハナイノ擅場ト云ハ相撲トリテイハ大關ナド云

翠柏深留景紅梨迫得霜風箏吹玉 翠柏深留景ノ玉ノ冠ヲメテ御座ナサレガインツモ發明ニヘテ旗  
画ノフヲミテ是ヨリ見ル冬ノ景ノ云

五聖聯龍衣千官列雁行冤旒俱秀發 五聖聯龍衣ノ御衣ヲメテ列ツラ子テ画テアリ天子ノワキニツモ官人

柱露井凍銀床 柏樹ナドカ茂テ日ノ影ヲトメテオグラフニ銀ナドカ霜ヲウケテ紅葉シテ  
アルノ廟ノウリニ風鐸ナドカガツテアルガ柱ニツキアツテアリノ屋根ノチイ

身退泉周室經傳拱漢皇谷神如不死養拙更何 郷ノ老ナド周室ヲ世ハイヤシイ書物藏ノ番ヲシテイラレタガ世ノ衰ヲ見カギリテ引込レタソレヨリ周

聖善閣送裴迪入京 聖善閣ハ道觀トスル 裴迪ハ都行ニ別ル也 李頎

雪華滿高閣苔色上勾欄藥艸空堦靜梧桐返照寒 朝夕雪ガ高閣  
ノウニ消殘デア

疾携手暫同歡墜葉和金磬饑鳥鳴露盤 上ナド詩人バカリ集テ詩ヲ作  
カヤウチモノ靜カテ境地イヅレモ

向西看舊託含香署雲霄何足難 今伊水テ其元ニ別ルニツイテ其元ハ灞  
水ヲワタリテ東方ヲミテ別レヲオレニ

伊流惜東別灞水 灞水ノ流ル所ニ別ルニツイテ其元ハ灞  
水ヲワタリテ東方ヲミテ別レヲオレニ

清吟可愈 清吟ノ可ク愈スル

李頎 李頎ノ詩人

聖善閣送裴迪入京 聖善閣ハ道觀トスル 裴迪ハ都行ニ別ル也 李頎

雪華滿高閣苔色上勾欄藥艸空堦靜梧桐返照寒 朝夕雪ガ高閣  
ノウニ消殘デア

疾携手暫同歡墜葉和金磬饑鳥鳴露盤 上ナド詩人バカリ集テ詩ヲ作  
カヤウチモノ靜カテ境地イヅレモ

向西看舊託含香署雲霄何足難 今伊水テ其元ニ別ルニツイテ其元ハ灞  
水ヲワタリテ東方ヲミテ別レヲオレニ

伊流惜東別灞水 灞水ノ流ル所ニ別ルニツイテ其元ハ灞  
水ヲワタリテ東方ヲミテ別レヲオレニ

清吟可愈 清吟ノ可ク愈スル

李頎 李頎ノ詩人

聖善閣送裴迪入京 聖善閣ハ道觀トスル 裴迪ハ都行ニ別ル也 李頎

雪華滿高閣苔色上勾欄藥艸空堦靜梧桐返照寒 朝夕雪ガ高閣  
ノウニ消殘デア

疾携手暫同歡墜葉和金磬饑鳥鳴露盤 上ナド詩人バカリ集テ詩ヲ作  
カヤウチモノ靜カテ境地イヅレモ

向西看舊託含香署雲霄何足難 今伊水テ其元ニ別ルニツイテ其元ハ灞  
水ヲワタリテ東方ヲミテ別レヲオレニ

伊流惜東別灞水 灞水ノ流ル所ニ別ルニツイテ其元ハ灞  
水ヲワタリテ東方ヲミテ別レヲオレニ

清吟可愈 清吟ノ可ク愈スル

我レハ西へ向テ灞水ノ方ヲコヒシフ思テ望ミ看ルデアラフ。今都ニカレテハ其元ハト郎官ノコトニモ  
ナク立身セラル。デアラフ。訖ハヨセアツケル意ニ便リニナルデアラフ。ト云フナリ

早秋與諸子登魏州西亭觀眺 岑參

亭高出鳥外客到與雲齊樹點千家小天圍萬嶺低  
此ノ西亭ハ山上建  
テ有テ高ク飛鳥

ノ上へ出テアル。今コト処ニ上テミレハ雲中ニイルヤウニアリ。亭ヨリ見オロセハ樹木ノ  
間ニ千家ガヒトムラクボツチリト點ヲウツタウニ三四方ガタレ下リ山ガヒクウニル 殘虹挂陝北

急雨過關西酒榼綠青壁瓜田傾綠溪  
遠ク陝北ノ方ヲミレハ初秋ノ一ニ虹  
カキエコツテアリ 關西ノ方タリヲミ

テイルウチニ冬チニ小雨ガ降テ通ル亭ノ左青壁ノキリ岸テ其友亭ガヨリカッテアルヤウニニユル  
榼ト云吸筒ノヤウチモカヲ酒ヲ出シテノナリ。亭ノ右ノ方ハ谷川ガ流レテ通ル其カタワラニ瓜田ガ

作テアル 微官何足道愛客且相携唯有鄉園處依依望不迷  
常ハ  
ガニル

ヲナゲ、臣今日ハ其ヤウチノコトナイ愛客ノツキ合ニ世間ムキノコトハウチニ思テ云フニタラズ面白ケレハ  
唯高イ処ニ上ルト故郷ノ方ガ依々トシテドフテモ望不迷ハツキリトミテキノドクデアアル

清明宴司勳劉郎中別業 祖詠

田家復近臣行樂不違親霽日園林好清明烟火新  
劉氏ハ田舎ス  
ノヤウニシテモ靜

ニシテイラル。ケレハカモ亦天子ノ近臣アル。隱テ不違親ト云ハ郭有道ガ語ナリ。隱者スニイノヤウニシ  
イラルガ行樂ヲ親シイモ不違風流ナシデアアル三月ニソラモ晴レ切テ園林ナドモ面白ク清明ノ日ハ火

ヲ切リカハルニ以テ文常會友惟德自成隣池照窓陰晚杯香藥味春  
論  
語

ニモアル通リ劉氏ハヲトナレイ人デ朋友ノツキ合ニ文章ヲ以テシテ德モスレタ人ニ聚テイル者モ皆同シモノス  
キナ人ガカリギマノクレ方風流ニ池ノハタノ某草田ノキワデ酒モリラスルニ某草ノ香イガ杯中ノウチ入

テク 欄前花覆地竹外鳥窺入何必桃源裏深居作隱淪  
欄前ニハ  
花ガキ

モナク地ヲ覆テ咲テアリ竹藪ノ外ノ方ニ鳥ガ人音ノセヌ時ハナキ人音ノスル時ハナカヌニ云規フト云。何ソ  
桃源ノウチノ深クカクイデモス此ノヤウチ処ニイバヤリ桃源ノヲモキニ少カラヌデアアル

奉使巡檢兩京路種果樹事畢入秦因詠歌 鄭審

聖德周天壤韶華滿帝畿九重承渙汗千里樹芳菲  
御當代天子ノス  
クレタル外聖德

夕処カアルニ植ヘセイト仰付ラレテ奉行ニ成テウユルナリ秦トイハ長安  
ノ都ニ歸テ作ルデアアル某樹ハ道通リノ為テヤウニ梨栗ナドヲ種ナリ也

天地三行ハルニ春モトドカニテリワタリ中華ニミチクテ吾ガ九重ノ禁裏ニ於テ天子ヨリ兩京ノ路ノ菓樹  
ウエセイト繪言ヲカムリ。王言如汗ト云フ意テ渙汗ト云フ易ノ渙又詩デアアルソレヨリシテ千里道ハタ通

リニ花サキ實ノル芳 陝塞餘陰薄關河舊色微發生和氣動封植衆心歸  
非ヲ植タテ見タレハ

陝西ノ方タリモ餘寒ガウスク成タヤウナリ關河ノ方タリモ並木ヲ植テミタレハ元トナサヒイ早色ハナクナリ  
今春ノイナレハ陽氣ガ發動シテ諸木モ根ツク時分テ勿論民ノ為ニサレノコトニ衆心ガ歸シ悦ヒ立テウユル

ニヨク根ガクデアアル。封植ハ 春露條應弱秋霜果定肥影移行子益香撲  
木ノ根本ハエヲヨセルナリ

使臣衣

春露ヲカフツテ條毛弱クワカヤイテアラフケレ秋ニ成テ本ノ実ノリガヨイテアラフ都海  
道ノ一ニ歴々ノ公子ガキ又登ラサレテ通ラルニ色々ノ木ヲウエツケテアル路ヲ段々ニ影  
カウツテ通ル又御用テ通ル使臣ノ衣裳  
大ニ花々各ガバツトウチツケルヤウニ香テタル  
入徑迷馳道分行接禁闈何當扈仙

躡攀折奉恩輝

吾コノ並未ヲウエタ御入テシハ天子ノ御成リ道ヲナイカト迷フヤウニア  
ル旨ク思テハ御通リノ路ノ方ハ行ヲ分テ禁裏方ヘヒキツイテアル馳道ニハ  
並未カウエテアル攀折ト云ハ高イ枝ニ及ヒツクテ今ウエ立タ木ヨリ攀折ト云ハイツカ早ク天子ノ御車ノ御  
供ヲレテ吾ガコノウエ立タ木ヲ御覽ニ入レタイモテアル

行營酬呂侍御

劉長卿

行營トハ行クサキニ俄ニ由來タ陣屋ナリ此營ハ專キツトシタ大臣カ大将ニ  
成テイテ固々タラ年貢ヲ取テ兵糧ニスル呂侍御ハ其下役テ詩ヲコレタニ酬ナリ  
不敢淮南臥來趨

漢將營受辭瞻左鉞扶疾拜前旌

劉長卿淮南陽太守ニ成テイルハ兵糧ヲ出セ  
キテハ制シバ子ナラズ淮南陽ニテノナルニ汲黯臥閣故事ヲ出レテ少々氣色ガ凡イト云テモ吾ガニ臥テイル  
一モテラヌ毎日大將ノ陣屋キテ御キケヲ伺イ大將ノ下示ヲ受テ出ル府ノ大將ノ左ノ鉞ノ立テアル下カラニメケ  
氣色ガウルウテモカハズ免手  
備ヲニルト直ニ備カニナラヌ

井稅鶉衣樂壺漿鶴髮迎水歸餘斷岸烽至掩

孤城  
年貢ヲトルモ呂侍御ノセワノヤキヤカヨニスツレテ著テイル貧乏ナモノモ苦ニ思ハズ二年貢ヲ出ス  
ノクケテヤルオヤ兵糧ハ年當ヲコレテ迎ニ由ル孟子云單食壺漿以迎王師鶉衣芻子ノ文字ナリ  
以下二句淮南治ニクイコフ云洪水後ニテ役ニ立ヌキ岸  
夕夕殘テリヒタモサワギカ起テ吾イル孤城ヲ多テサメタル  
晚日當千騎秋風合五兵孔

璋才素健早勉檄書成

然レ任合ナリハ人ニテノ騎ニモアタルヤウナ共元ノ來ラルニ  
目クレモノサヒヒイ時分モノナニ思ハヌ此ノエヒスノサワク時分ナレ  
大將ノ兵ヲ各シテイルソレラカニシル殊ニ其元ノ古ノ陳琳ニ劣ラヌ才智ニコノサスキノ時分ナレハイツカ早  
ク軍中於テ檄文ヲカイテ手カララニラレルヤウニト書記ヲカキテイルニ文武ニホメテ云ナリ

送鄭說之歙州謁薛侍郎

鄭說ハ諸生トシテ薛侍郎ハ侍御ノ官  
上テ歙州ノ太守ニ成テイルニ云ラ送ナリ  
漂泊來千里謳歌滿百城漢家尊太守魯國重諸生  
ハオノスル人

入亂山行

歙州ハ孔子ノ公サツタ処ニ風俗モヨカク分ハテイル治ニクイ此ノコキタハ薛侍郎清淑ニ  
治ラレタ上云ノ水至清ト云語ガアルニ清潔ニ治タリニナルノ船路モアルガ川中ハ石カニコキト出  
ハツテ舟モユキツカ山トイハイクツモ  
三テククニイラ難義テアラフ

下有康成

滄洲世ヲハナレタ隱者ノ趣ヲエテ今其元上処ニキタラ思ハレ白首ニ成テイルニ行クモナ  
又唯クニイタニイルガリチヤ去リナカラ薛侍郎ノ門下ニイラル模様ヲミルハ漢ノ馬融  
カ弟子ニ鄭玄カアリシ如ク主從ニスレタオテアル  
上云カ挨拶チヤ鄭玄カ故事ヲツカフ

老得滄洲趣春傷白首情嘗聞馬南郡門

滄洲世ヲハナレタ隱者ノ趣ヲエテ今其元上処ニキタラ思ハレ白首ニ成テイルニ行クモナ  
又唯クニイタニイルガリチヤ去リナカラ薛侍郎ノ門下ニイラル模様ヲミルハ漢ノ馬融  
カ弟子ニ鄭玄カアリシ如ク主從ニスレタオテアル  
上云カ挨拶チヤ鄭玄カ故事ヲツカフ



唐詩國字辨卷之四終

唐詩國字辨卷之五

七言律

七言律ハ一句ヲ下スガムツカシイ先ツツリ合格調カオモテ五言律ノヤウニ  
故事ヲタクサシ用イテモワルイ一向ニ故事ガナケハ見トモナラナラヌ

古意

古意ハ樂府題ナリ樂府ニ盧家少婦トリテ又盧  
家ノ字テ莫愁ト云モノガアルト云ニシテモヨイ

沈佺期

盧家少婦鬱金堂海燕雙棲玳瑁梁

起句ノ分ハ離レモノニ成テニ夕通リニ見ユ  
ト通リハ盧家少婦ガカサリタテテ

座敷ノ内ニ夫婦ナカヨウ海燕ノナニ棲テイルヤウニシテイルトウラテ夫トテ征伐ニヤツテ今ニ歸ラヌト云  
モニル又ラレガ此盧家ニ婦入シテキテ海燕並ニ棲テイル如ク夫婦中ヨウイタモノヲフツト夫カ征伐ニ出テ  
今ニ歸ラヌト云義ニモ  
ニル兩方凡ニ可ナリ 九月寒砧催木葉十年征戍憶遼陽

白狼河北音書斷丹鳳城南秋夜長

白狼河ノアタリハ遠イト云狀文ノ便リモ  
斷ハ我ハ丹鳳城南ニ只ヒトリ夫ノノミ

誰為含愁獨不見更教明月照流黃

誰カ含愁ト云ハ  
此ヲリカラ誰  
イヨク秋夜長イテアル  
カ何モノゾイテ

フルフ笛ノ曲モ多イニ夫トヲ慕フ獨不見ノ曲ヲ吹ク更月マテ聞ノトバリニサシコニ入心ホツイノ流  
黄ハ添色ノ名テ此方ノ玉虫色ナド云ヤウナモノテ女中ノ聞ノトバリヲ流黄色ニスル題ノ古意ハ  
怨ムキカ作テアルニ獨不見ト題シテアルノ訓解ニ木葉ノ出処カ出シテアル甚タワルイ遼陽ト對ヲ  
ハシタカ結句初唐ノ格テ面白イ木葉ヲムリニ地名ニシタカハ詩ニ不案内チ義ヂヤ

龍池篇

龍池篇ト云商雅ニ玄宗ノ親王テ隆慶坊ト云ニ御座有々時坊ノ南ノ大地カサケテ大キナ池カ出来タヲ中宗ノト者ニ占ハセテ御覽シタス

此処ヨリ後ニ天子ニナル人カ出ヤウト云々  
案ノ如ク玄宗ノ出テ天子ニ成タラシ出  
龍池躍龍龍已飛龍德先天天不違

易ノ乾ノ卦ノ言ヲ以テ先ツ隆慶坊カカタハラノ池ヨリ龍カ飛テ出テ已ニ天子ニ成タ易ノ乾ノ卦ノ言ニ飛龍  
在天ト云其龍ノ德先天安ラハレタケレ天ノ御存シナサレタユニ天ニ違ハズ天子ニナラセラレタスク此句

ヲウ  
池開天漢分黃道龍向天門入紫微  
開タ外ヨリ出タ龍カ天門ニ向テ紫

微宮ニ入り天子ニ  
邸第樓臺多氣色君王鳧雁有光輝  
ノミテ隆慶坊ノ邸第

多イカ能ク成リ天子ニ時々行幸ナサレ君王ノ御覽  
オナリナサレタル  
樓臺ニモ格別ニモツ

為報寰中百川水來朝此地莫  
東歸  
ルヲ官人ノ都ニ來朝スルニ喻ヘテ云

侍宴安樂公主新宅應制

安樂公主ハ中宗ノ御娘子テ此度新宅ニ御別業カ出来タニツイテ天子ノ御幸

ナサレテ御酒宴  
ニ預テ作ルナリ  
皇家貴主好神仙別業初開雲漢邊  
皇家ハ天子ノ家第ト云  
ホトノ此姬宮ハアチナ

物スキヲナサレテ人間ヲ離レタ神仙スキヲナサル  
ソレニ御下屋鋪モ天ノ河ノ邊ニ御建ナサレタ  
山出盡如鳴鳳嶺池成不讓飲龍  
サテ此ノ赤子ノ築山ナトモ昔ノ鳴鳳山ヲウシ池ト云ハ

川  
黒龍カ出テ水ヲ飲タ溜水モ不讓廣大ナラデアル  
粧樓翠幌教春住舞閣金鋪

借日懸

公主ノ化粧ヲナサル、粧樓ナトモ見ナ愧トバリナドヲカケタテ、不斷常佳春トミツ  
テ有ルヤウニ思ハル、ト云九女中ノ顔色春ヲ留シテイツシメモ若クテ居ルト云ニナル舞

壽樂鈞天

今我天子ノ御供ヲシテ此地ニ來タ故ニ公主ノ天子ハ盃ヲ上ラレテ目出度壽ヲ獻マラ  
レ常ナラヌ音樂ヲ聞テ樂ト云モノハ有難イコトテアル鈞天樂ハ天上ノ樂テアル

紅樓院應制

紅樓院ハ此ノ方ノ紫宸殿テ護摩ヲ燒祈禱ヲスルヤウニ彼  
方テモ内道場カ立テ有テ天子ノ歸依僧ガ聚リテ祈禱ヲ

紅樓疑見白毫光寺遍宸居福盛唐

此禁  
スルソコヘ天子ノ行幸ナサレテ詩ヲ  
作りシイト有テ作タタテアル

裡白毫ガ有ツウモナイモノト疑イ見レハヤハリ紅樓院ノ御佛ノ白毫テアル此寺ハ天子ノ御座所  
宸居ノ近クニ有ルル何故ナレハ唐ノ御代ノ福ヲ祈禱スルヲアル○法華經佛放眉間白毫相光ヲ

支道愛山情漫切曇摩泛海路空長

昔ト支道カ切ト急ニ清浄ナ地ヲ才覺シタ  
ト云五曼漫リニメツタナフト云モノ然レ

八禁裡ノ内ニ紅樓院ノヤウナ清浄ナ地カアルナレハ山ヲ愛シ引コムニハ及ヒサウモナイ者テアル達  
摩ノハルク遠イ処ヨリ海ヲ渡テ來ラレテ程ナク山へ引コムニレタハ曼タ路ヲ歩メレタト云モノ

經聲夜息聞天語鑪氣晨飄接御香

直ニ天子ノ御殿へ近イ  
ニ依テ經ノ聲ガ止ムト

天子ノ御咄ノ音ナドカ聞(佛前ノ  
香ノ烟ト天子ノ御香ノ烟ト)ツニ接ス  
誰謂此中難可到自憐深院得徊翔

ノ者ハミナ此中ニ大体ノコトニ至ラヌト云カ今吾レ深院ニ徘徊スルコトヲ得ルト云モノハ我身ナガラモ  
任合セナ義ト自ラ憐レムノデアルトナリ

二律

再入道場紀事應制

前ノ詩ニモ云通り禁裏ノ内道場時  
時官僧ガ聚テ法華八講ナトノ右処ノ

一ヲ紀スルノデアル再ト云ハ南方ニ度トサレテ後ニ追ヤラレタ者ガ  
中宗ノ御即位ニヨツテ召カレサレ御近所ニ成タモノト見エル

南方歸去再生天

内殿今年異昔年

此度御恩ヲ以テ南方ヨリ召返サレ再ヒ御前近クニ召仕ハルト云  
モノハ天ニ生タ如ク有難イ義ヲイカサシ御代ノ易ク故方内殿モ

御前代ノ時ヨリ物コ見關乾坤新定位看題日月更高懸

上ノ句ヲウケテ  
現在乾坤ヲ開

關ナサレ天子ノ新タニ御即位ヲナサレタ  
行隨香輦登仙路坐近爐煙講法

筵 吾レ御近所役ノ一故ニ天子ノ仙遊ナサル折ニハ不斷香輦ニ隨ヒ御  
供ヲ申シ今此道場ニ來リ坐シテハ官僧タチノ法華八講ナトヲ聞ク

自喜深恩陪

侍從兩朝長在聖人前

カマウチ深恩ヲ蒙リ不斷陪侍從御先代ヨリ今當代  
兩朝ノ聖人天子ノ御前ニ振舞ト云ハ有難イ義ノ目ヲ喜フ

遙同社員外審言過嶺

杜審言ト云南方ニ左遷セラレ審言ガ  
過嶺ト云題テ詩ヲ作タテアルノ遙ト云ハ

遠イニ追思テ志ヲ

天長地潤嶺頭分去國離家見白雲  
其元ト同ク南方左  
遷セラレニ依テ定メ

テ一ツ処ニ居ルテ有フト思タニ今此嶺頭ニ至テ見レハ思ノ外アテガ違フテキテ土地モ廣ク嶺モ  
幾ツ所ナク別レテ皆チリクニ別レ行ク國ヲ去リ家ヲ出テ嶺ニ登テ故郷ヲ望メハ故郷ハ見ヘス  
レテタビ白 洛浦風光何所似崇山瘴癘不堪聞

洛陽ノ風景ハ一ツモ似タ  
ガオイ只氣ノ毒ナクハ南方

へ左遷セララルト多ハ瘴癘ニアテラレテ生テ都へ  
歸ルモノハスクナイ我ヲモ死スルデ有フト思ヘキクタタ

南浮漲海人何處北望衡陽雁

幾

ヨトニ其元ハ南方漲海ノアテレモノイ処ニ行テイルト云居処モシレヌクライテアル南方ノ  
内テモ北ノ方吾ガイル処ノ回雁峯ノアタリマテ雁モ少クキタイレヨリ南ハ一向雁ガ飛ヌ

上云ハ故郷へ便  
ノナラヌ義ヲ云

兩地江山萬餘里何時重謁聖明君

今其元ト江山萬餘里ノ隔  
テイルガイツン罪ヲ御

免ナサレテ天子ノ御目見ヲ  
スルデ有フゾ心細イコトアル

興慶池侍宴應制

韋元旦

滄池潸沈帝城邊殊勝昆明鑿漢年

起句ノ四字文選ノ字ヲ用テ滄池ト  
云ハ只海ノ如ク廣イ一滄沈ハ水青

夾岸旌旗疏輦道中流簫

此池ハ自然ニデキタモノ武帝ノホレタ昆明池ヨリ

鼓振樓船

天子ノ行幸ノ一岸ギワテ御幸路ガツイテ道ノ兩カワニ旌旗ヲ立テス格別  
ニ道ヲワケテツケテアルヨリ天子ノ御座船ヲ中流ニ浮ヘテウチヤシタテテ樓船

ヲ振イ動カス  
ヤウニアリ

雲峯四起迎宸幄水樹千重入御筵

風景ヲ船ノ中ヨリ山  
山モ高ク起テコレニテ

下サレト云ニテニテイル樓船ノ戸バリア開クト山ガ直ニ來ルヨリ迎上云  
水ギワ通り幾重庄ナクウエテアル樹木居方御目通ハ來ルヤウニミテ風景イ

宴樂已深魚藻

咏承恩更欲奏甘泉

去ル程ニ今日ノ御酒宴ニ長シテ深シテ御樂ニナサルヤウスハ詩經ノ  
魚藻ノ詩ノ如クテアルニシテ詩ヲツクリマセイト仰ヲウケタユ

及バズナカラ揚雄ガミ子ヲシテ甘泉ヲ奏シヤウソトノ甘泉ハコノ詩ヲサレテ云合テ諷意ガモツテイ  
ル揚雄ガ甘泉ノ賦ニ天子ノ御酒宴ヲ盛ニ云イ立テ実ハ諷スルメテアル

侍宴安樂公主新宅應制

蘇頌

駸駸羽騎歷城池帝女樓臺向晚披天子ノ御成リニ先ハライノ羽騎ガ馬ノマ  
メテ城池ノテ來ヒツテ公主モ樓臺ヲ披

露灑旌旗雲外出風廻巖岫雨中移武帝ノ一。駸々馬ノイキツテ過ルヲ云ナリ  
露灑旌旗雲外ハ高フヒガリ  
當軒半落天河水遠

徑全低月樹枝座敷ノ當軒マムヲノ滝ノ水ノ落ルヲ見立テ天河ト云實ハ織女ノ居処トシ  
義チヤ岸ノワリノ徑ノワキヘウエテアル樹木ノ枝ヲタテアルヤウスヲ月

宮殿ノ桂ニ見立テ誠宮殿ノ桂ニ見立テ誠  
ニ天女ノスミカト思ハル

簫鼓宸遊陪宴日和鳴雙鳳喜來儀宸遊ナサレテ賑ハシフ打ヤレモアリ我々デモ御酒宴ニアツカリ公主御夫婦モ雙鳳ノ和鳴スル如ク  
中ヨク威儀ヲトノテ天子ヲ御馳走ナサルハ喜ハレイトヤ。來儀ト云ハ鳳凰ノ羽ツクロイヒテ聖  
人ノ世ニ出タリニナリ今公主御夫婦威儀ヲトノヘテ  
出テイサセラルトニモナリ泰ノ弄玉ガ故吏ニモナル

奉和春日幸望春宮應制

東望望春春可憐更逢晴日柳含烟會扈從ヒテ灑水ノ西ノ岸ニアル望春宮  
ニ來リ四方ノ氣色モウラカニ別ニテ東

方山色望春木々稍艾イラシク方山色ヲ望メ木々ノ稍艾イラシク  
柳春氣ニ舞リ含烟トホシイ氣色テアル

宮中下見南山盡城上平臨北斗懸高イヲ云此ノ宮ヨリ見下セハ南山ノハツレカラハツレモガミ  
城上カラ平ニ北斗ノ高フ懸テアルヲ見ヲ見ヤウニ見  
細草偏承回輦處飛花故落

舞觴前上ニ廣大ナリヲ云テコトハ小イヲ云ワカ草ナドモ鳳輦ノ來ル  
カニ承ル氣色ニミヘ花モ舞ニツレテワサト盃ノ中ヘトヒコムテアル

宸遊對此歡無極極ニ鳥ノ歌聲雜管絃  
コトハ天子ノ行幸アリテ景色ニ對シ御儀雜ヨク面白キ極リナレ春  
イユニ鳥ノ心ヨクナクユエ管絃トガヒトツニ成テヒトホ面白イ

奉和初春幸太平公主南莊應制

主第山門起灞川宸遊風景入初年山門ハ山莊ト同シテテ公主ノ南莊ノ山屋  
敷ヲ云都ノ南灞水ノ近クノ山ニ立テテ

鳳皇樓下交天仗鳥鵲橋頭敞御筵鳳皇樓ト云キ公主ノ樓ニツラシフ天子ノ行幸イユニ天仗ヲ交ヘ立テ  
アル御筵ヲサレキヨリニハ鳥鵲橋ト云キ橋カ高ク敞ニリツハ見ユル  
往往花間逢綵石時

時竹裏見紅泉庭ノ花木ノ間トテテ燭テニハ見下ナ石ガアチコチニアル綵石ハ五色ノ石テ織女ノ  
支機石ヲモチヲシテ云竹裏ニ泉ナドカキレニ湧テアルヤウス紅ハウツクレイ意

今朝扈蹕平陽館不羨乘槎雲漢邊女中ノ居処ニ此ノ  
ヤウニカサツテ云  
今朝扈蹕平陽館不羨乘槎雲漢邊  
ハ來ラレヌカ天子ノ御

供ヲシテ何ノ苦モナク天河ニキタヤウニ思ハル昔槎ニ乘シテ雲漢ニユクヤツナクハ羨シクモナイ○平陽公主  
ハ武帝ノ女テ是モ灞水ノ近所ニ屋敷ガ有タヘカリ用テ太平公主ハ天子ノヲバナリ

今日天子ノ行幸ナサレ御遊興アハサレ

風景モ春イユ何ヤガ春イテ面白イナル

鳳皇樓ト云キ公主ノ樓ニツラシフ天子ノ行幸イユニ天仗ヲ交ヘ立テ

アル御筵ヲサレキヨリニハ鳥鵲橋ト云キ橋カ高ク敞ニリツハ見ユル

往往花間逢綵石時

庭ノ花木ノ間トテテ燭テニハ見下ナ石ガアチコチニアル綵石ハ五色ノ石テ織女ノ

支機石ヲモチヲシテ云竹裏ニ泉ナドカキレニ湧テアルヤウス紅ハウツクレイ意

女中ノ居処ニ此ノヤウニカサツテ云今朝扈蹕平陽館不羨乘槎雲漢邊ハ來ラレヌカ天子ノ御

供ヲシテ何ノ苦モナク天河ニキタヤウニ思ハル昔槎ニ乘シテ雲漢ニユクヤツナクハ羨シクモナイ○平陽公主ハ武帝ノ女テ是モ灞水ノ近所ニ屋敷ガ有タヘカリ用テ太平公主ハ天子ノヲバナリ

幽州新歲作

去年荆南暖處去年荆南暖處幽州幽州張說張說

去歲荆南梅似雪今年薊北雪如梅去年荆州暖處梅梅張說張說

州至極寒州至極寒處處梅梅今年薊北雪如梅今年薊北雪如梅張說張說

來來幽州幽州新歲作新歲作張說張說

鎮戍歌連日動京城燎火微明開我邊塞張說張說

正月正月京城京城燎火燎火微明開微明開張說張說

遙遙西向長安日願上南山壽一杯南山壽一杯張說張說

滄湖山寺

南方滄湖山南方滄湖山阿多利阿多利役人役人三歲三歲

空山寂歷道心生虛谷迢迢野鳥聲今此寺張說張說

禪室從來雲外賞香臺豈是世中情禪室從來張說張說

雲間東嶺千重出雲間東嶺張說張說

樹裏南湖一片明

此寺此寺東方東方方雲方雲間間山山方方幾重幾重林林中中三三

若使巢

由同此意不將蘿薜易簪纓高張說張說

遙同蔡起居偃松篇蔡氏起居張說張說

清都衆木總榮芬傳道孤松最出羣清都衆木張說張說

名接天庭多景色氣連宮闕借氛名接天庭張說張說

不不惜惜流流膏膏助助仙仙鼎鼎願願將將植植榦榦捧捧明明君君

的停華露偃蓋重重拂瑞雲此松張說張說

幾重幾重林林中中三三幾重幾重林林中中三三

天子天子御御奉奉公公申申所所存存上上云云實實六六流流膏膏助助仙仙鼎鼎願願將將植植榦榦捧捧明明君君

所存所存入入上上起起居居此此云云

所存所存入入上上起起居居此此云云

所存所存入入上上起起居居此此云云

所存所存入入上上起起居居此此云云

所存所存入入上上起起居居此此云云

所存所存入入上上起起居居此此云云

奉和春日出苑矚目應令

此詩訓解ノ註ヨクナク此太子死出  
テ矚目ナサレタ御作ヲ和シマセイタル令

二應シテ和スルアル矚目共アタリニ目ヲヨセテ見ル今太子皇后ノ御言ヲ令  
ト云敷トハ諸侯王ノ御言ハノニナル賈曾太子ツキノ者ナク御用テ外出テイテ  
銅龍曉關問安

廻金輅春遊博望開サテ太子カ早朝ニ銅龍門ヲ通テ出御ハマカト問安御言ヲ令  
ラハ其ツイテニ金輅ニメレテ御遊ナサレ博望苑ト云ハ漢

武帝ノ苑ノ名チヤ故ニカリ用テ云以下ノ渭水晴光搖草樹終南佳氣入樓臺  
二句ハ此御意テ其時ハカフ有フト思ヤク云

渭水ノ晴レヤカナ晴光カ御苑ノ草木ニウツラフテ直ニ渭水カ庭ノ中ニアルユニ思ハレ終南山ノ目出  
タイ氣カ樓臺ニ入りコシテクルヤウニル題ノ矚目ト云ハミチヤ以下ノ二句御供ニ出タ者ヲホメテ云

已從高山老託乘還徵鄴下御苑ノ御遊興ニ御出ナサレニモ御モリニナレ諸ノヤクナ  
老人ヲ名ツラレ太子ハ學文スキニソエノリノ車ナトモ

臣在東南獨留滯忻逢睿藻日邊來書物ヲソセテ何レモスケレオ人ヲツラレ  
詩文ヲ作ラル故事ニツレニ世説ニアリ

遠國ニ留滯シテ御供ヲセハ殘念ト云ヒナカラ  
太子ノスグレタ御作ノ來ルニ逢ニ喜ハシイナヤ

奉和初春幸太平公主南莊應制 李邕

傳聞銀漢支機石復見金輿出紫微公主ヲ織女ニ比シテ云ニツイテ古ノ海邊人  
ガ天河ニ至テ織女ニ支機石ヲモラフタト云カ

今公主ノ庭ノ石ヲニハシハ支機石ト云モラフカト庭ノ埃沙ヲテ其上ノ  
天子ノ御成リノ時紫微宮ヲ出テ此處ノ行幸ナルト云珍之イト風景ニヨクテ云

織女橋邊烏鵲起

仙人樓上鳳皇飛織女橋ト云キ橋ノ下ニハ烏鵲カ飛ビ立ヤウニシテ居リ  
仙人樓トモ云キ樓ニハ鳳皇ガトゾヤウニ見ユル 流風入

座飄歌扇瀑水當階濺舞衣滯リナク風ガフヨクト座敷へ吹キ入テ顔ニテテ歌テ  
ニイル團扇ヲ飄シテイヨク風流テアル泉水ニ注コム

澆水階階モトテ流レ舞イ子ノ衣裳  
今日還同犯牛斗乘槎共泛海潮歸

今日ハ古ノイカ冬ニ乘テ織女ノイル天河ニ至テ海ノリ出シテ歸タ者ガ有タト云カ今日吾ガコニキタソレトキヤウト  
同シテアルノ犯ト云換授テ來ルニキキタラ云牛斗モ織女ト云キ等ヲレ言ガ拙クナルコト牛斗ト置タモキヤ

和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立

春日贈韋侍御及諸公 遜邀

自洛使入京中路先赴長安逢立自洛使スルト云ヨリ張氏カ題ナリ洛陽ヨリ御用テ出テ中路カラ外者ヨリ先キニ西ノ方  
長安ノ都へ來テ立春ニ逢ヒ韋侍御及ヒ諸公ニ送ル作ヲ和シテアル題ニ氣ヲ付テニバシヌ 忽覩雲

間數雁廻更逢山上一花開中路ニシテ先ツ長安ニ赴クト云カラシテ云出スヲ云  
ニ雁ノ歸ルニ云ナシテ數雁ト云ハ大勢ヲ立テ來ル

艸林下輕風待落梅河邊ノ春ノ暖ナ淑氣ガ芳艸ニ早フ生ヘ出ヨカシト迎ヘテイルヲ云フ  
迎ヒ吾ガユク先々ニ芳艸カエテアルニ迎ヒ云林下ニ冬カラ咲テ

秋憲府中高唱入春鄉吹多直散ノト云ヨリシテ待テイル 秋憲府中高唱入春鄉署裏和歌來

吹多直散ノト云ヨリシテ待テイル

吹多直散ノト云ヨリシテ待テイル

吹多直散ノト云ヨリシテ待テイル

吹多直散ノト云ヨリシテ待テイル

吹多直散ノト云ヨリシテ待テイル

以下訓解ノ註ヨクナイ御史ノ役所ヲ秋憲ト云ツイテ題ノ韋侍御ト云カ是レギヤ禮部ノ別給ヲ春卿ト云ツイテ題ノ諸公中ニ禮部郎ノ官ノ者ガアルト云ル韋侍御ノ處ニ其元ノ詩ノスグレタル處ノ高唱カ入り其元ガヨイニ春卿署裏ノ歴々々々チガ和作ヲセラレタヤウススグレタフテアル 共言東閣招賢地自有西征作賦才  
レニ東閣丞相方ノ歴々々ノ云フ評判ニ其元ノハ潘安仁ガオニモ劣ラヌト云テホラレ此レ又題ノ自洛入京ト云フ西征ト云テキカセタモノチヤハツカナイフテアル

黃鶴樓

此レ評判ノナル詩ノ歌行ニ近イナルホド風調ノ高イ詩ギヤ

崔顥

昔人已乘白雲去此地空餘黃鶴樓 昔コノ處ハ仙人カ来リ遊テ黃雀ニ乘シテ去タ今コノ地ニ空ク殘テアルハ黃雀樓カリテ仙人ハ再ヒ来ラヌ 黃鶴一去不復返白雲千載空悠悠 仙人ノ乘々崔顥モ再ヒ来ラヌ其時ヨリ易ラヌモ

ハ白雲ノ千載ヲ歷テ晴川歷歷漢陽樹芳州萋萋鸚鵡洲 昔黃祖ノ禰衡ヲ殺シタ鸚鵡洲ノ方ヲ三ノ芳州ニ萋萋トハエテ鸚鵡ノ賦ヲ書タ禰衡ハ見ヘヌ 日暮鄉關何處

是烟波江上使人愁 樓ニ上テ暮方ニ成タヌ故郷ガ戀シフナリ思出シタ々々望テミレ何ノ處カト云昔人ハ去リ黃雀ハ來ラズ禰衡ハ居ラヌ故郷ヲ望メ烟波ノ三方目ヲルニ烟波江上ガ我ヲ愁サセルト云カ使ノ字デアル

行經華陰

秦咸陽ト云カアルヨリ岵峩ト高イ太華山ガ都ノ方ハ嶺ニカツテアルヤウニ三ニテ太華ノ嶺ノ三岵岵ガ何レモ古ク天上ニマデモトキウウナルノ人ノ細工削リ立タト云テ出來ル武帝祠前雲欲散仙人

岵峩太華俯咸京天外三峰削不成

秦咸陽ト云カアルヨリ岵峩ト高イ太華山ガ都ノ方ハ嶺ニカツテアルヤウニ三ニテ太華ノ嶺ノ三岵岵ガ何レモ古ク天上ニマデモトキウウナルノ人ノ細工削リ立タト云テ出來ル武帝祠前雲欲散仙人

掌上雨初晴 向ヲミレハ漢武帝ノ仙人ヲ祭ラタ祠ニ雲ヲ掩イカッテアルモ河上北枕秦關險

驛路西連漢時平 山川ハ北方ヲ推シ廻シテ秦關方ハ高フサカ余ソテ險シラニ枕ト云モ高イモノヲ乘ス氣味合チヤ○驛路ハ西方漢時ノ方ハツイテ直平ラニ三ニル時ト云ハ神ヲ

借問路傍名利客無如此處學長生 今我此處ニ來テ名利ヲ求ルモノ凡カ何カイソカシウニカケワリ靜カナナノ山ヲ見スニ通ルタワイモナイフチヤ吾ガ思

登金陵鳳皇臺

李白ガ黃雀樓ハ來テ作ラフト思フ時ニ先達テ崔顥カ來テ作タ詩ヲミルニ甚タヨクデキタヌレヨリ取テ返シテ此

鳳皇臺上來テ作タ其評判カ三家詩話ナトニモアル

李白

鳳皇臺上鳳皇遊鳳去臺空江自流 此金陵ノ鳳皇ヲ出テ遊ニタト云カ今ハ鳳皇カ飛去テ江水ノ空ク流ルヲ見ルニミテアル

吳宮花艸埋幽徑晉代衣冠成古丘 見下ス處古ハ吳王夫差ノ宮殿花艸ノヤウチモノモ幽徑ニ埋ニ塵ニ成テシラタ六朝晉ノ時ノ歴々々

三山半落青天外二水中分白鹭洲 志天府ノ西南ノ三山ガ半ハ雲ニ掩ハレテアリ半分ツラヨリフアリト下ツタヤウニ見ヘ向客

古丘上成テ跡方モイ 三山半落青天外二水中分白鹭洲 志天府ノ西南ノ三山ガ半ハ雲ニ掩ハレテアリ半分ツラヨリフアリト下ツタヤウニ見ヘ向客

深水兩山ノ間ヨリ流レテ健康ニ至テ流レテ分ク  
白鷺洲ヲトリミワシテ流ルヲ見望ム外ノ景テアル  
總為浮雲能蔽日長安不見使

人愁 都ヲ見望メ下思ハ浮雲ト云モ、ガ日ヲ蔽イクラミテ長安ヲ見セヌツイテ人ヲ色々ニ愁ヘ  
サセルト云テ實ハ高カ士ナドカヤウチ諛者ニタト(日ト云ハ天子玄宗ノイニナル諛者ト云モノハヨ

ク君ノ心ヲ蔽イクラクスルモノニ我カ如キモノモ此ノヤウニウロタテイルト云ハ悲イノチヤノ使去字ニツ  
イテハ元美分詩話ニハムツカシク論シテアルガ南郭先生ハトラヌ

早朝大明宮呈兩省僚友 賈至

銀燭朝天紫陌長禁城春色曉蒼蒼  
樹木茂盛ニシテリテ曉方イユ  
城邊モホドコロラテ蒼蒼ト見ユル  
千條弱柳垂青瑣百轉流鶯遶建章  
植テアル柳トモ幾ク助モ枝々長クタレアルノ轉ハ鳥ノサイツル声  
流鶯ト云ハ鶯ガイタクモ繞テ建章宮ノヨリヨリミラシクサイツル  
劍佩聲隨玉墀步衣冠

身惹御爐香 官人ノ帶テイル佩玉ノ声ガ皆ヨキ順ニ立並シテ御殿ノ前ノタキキト上ノ下ヲ足ヲロ  
ルヲ云天子ノ御爐ノ香ノ共沐恩波鳳池上朝朝添翰侍君王  
示ヒカ手前ノ裝束ト云ル  
ニ沐浴シテ中書ノ役ヲイメテイルヲ云毎朝々詔下書ラズル筆ヲソメテ君王ノ側イルト云モノハ使令ノト  
存ハ鳳皇池ト云ハ中書ノ役所ノヲニル池ト云ヨリ波ト云カクモチヤ

和賈至舍人早朝大明宮之作 王維

絳幘雞人報曉籌尚衣方進翠雲裘  
雞人ト云ツト曉方ツツ夜アケテヨルト天子ノ時ヲ告ルノコト也女官タチガ  
天子ノ裝束ヲメサセ翠雲裘ハ天子ノ裝束ノリツハナヤツスヲホメテ云ヨリ  
九天閭闔開宮殿  
トイハ禁裡ヲ  
日色纒臨仙掌動香烟欲傍袞龍浮  
朝麗須裁五色詔珮聲歸到鳳  
池頭  
和太常韋主簿五郎溫泉寓目

漢主離宮接露臺秦川一半夕陽開  
漢文帝露臺ヲ建ルヲモリテ有カ  
百金ノ費ヲ惜シテマシラレタ漢王ヨカ  
リテ當時ヲ譏スル今ノ溫泉宮ハ古ノ露臺等  
有タリマデ引統イテアリ秦川ハ幅ノ廣イ  
川テアルニマリ離宮ガ立並シテアルコト  
ニ半分ハ夕日ガサシテ半分ハ離宮ニ掩ハレテアル  
青山

盡是朱旗繞碧澗翻從玉殿來  
朱旗繞ルト云小谷ナトノ上ニモ王殿ガカケテ  
リニシテアルコト  
新豐樹裏行人度小苑城邊獵騎回  
新豐アタリハ元ヨリ繁  
昌ナクテアルニ此間ノ別

水が流レテ出ル

二律



レテ人通りガ多イ小苑コレモ離宮ヲ獵ナトスル者カ大勢住来スル  
聞説甘泉能獻賦懸知獨有子雲才  
ハ甘泉ノ賦ヲ作ラレタゲナ今時ハ諫書ナトヲサレ上ル人ハナイニ其元ハ揚子雲カオニモ少カラヌ人ナ  
ルト主簿ハアイサツナリ

大同殿生玉芝龍池上有慶雲百官共觀聖恩便

賜燕樂敢書即事  
靈芝ト慶雲トイヅレモメデタイモニ祝イニセイト官  
人ニ宴樂ヲ賜タニ恐多イナレ見ル外即事ヲ

記欲笑周文詩燕鎬還輕漢武樂橫汾  
古ハ周ノ武王天下ヲ取テ祝イニ鎬  
樂ヲ仰付ラレタラ大ナリ今ハ今日

ノ宴樂ヨリミレハヨカレイヤウニ思ハル漢ノ武帝ノ  
冷水ニ舟ヲ浮ヘテ樂ニレタモ是ニハヨリ付モデハナイ  
豈知玉殿生三秀詎有銅池出五

雲  
トウレテ此ノヤウニ笑フナト何トレテ周文ナトハ玉殿ニ目出度イ靈芝ノ生スルナド云フハ知リモセヌ  
筈ノイナヤ龍池上ニ五色ノ雲ノ多クビクナド云フハ昔ニモコエタテアルハ三秀ハハ芝草ナリ銅池

ハ銅池  
イナリ  
陌上堯尊傾北斗樓前舜樂動南薰  
堯ハ衢樽ト云フカアル龍池ハ行  
幸ノコトニ堯尊ハ酒ヲ入テ陌上

持テ北斗ノ如キ手ノツクイタ大外ヲ以テ打ケク民ニ御酒ヲ下サレ樓前ハ天子ノ御目通りニ  
於テモ民ノ治タラ悦ハシラ思召シテ舜ノ樂南風詩ノ如キ歌多ク南薰歌デサワキタツ  
共歡天

意同入意萬歲千秋奉聖君  
全テハ天子ノ御意ハドウシタモト云フヲ知ラナレバ此度  
テレレタナレバ上天子ガ聖德ナレハカヤウニ靈  
慶雲ナト云ヤウチ嘉瑞ヲアラワレ天子ノ聖德ナラ悦ビタラフハ天意モ人意モ同シテアル然レハ萬歲  
千秋ノ未迄モカヤウチ聖君ニ仕ルト云フハ歡ハシイナリ

奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望

之作應制  
蓬萊殿ヨリ興慶宮ニユク廊下道ニ留春閣ト  
座敷カアル雨中ノ春望ニ去迄カ天子ノ題テアル

渭水自縈秦塞曲黃山舊繞漢宮斜  
留春閣ヨリミレハ渭水ガニ立クノ通  
秦塞ヲマツテ流レ北ノ方ヲミレハ黃

山ガマツリ元ノ如ク武帝ノ離宮ヲ  
トリマツテヨコカニカツキヤリ  
鸞輿迫出千門柳閣道迴看上苑花  
今天

蓬萊宮ノ方ヨリ筵與ニ乘シテ禁裏ノ中ノ御成リ道ノ並木ノウツラテ  
アル間ヲ通テ閣道ヨリフリカユツテ上苑ノ花サカリヲ御覽ナサレ  
雲裏帝城雙鳳

闕雨中春樹萬人家  
雲間ハ高ノ御殿雙鳳闕ノオコツニアカニ  
西ノ人家ノ間ニシテエコニテアル樹木在カミヘル  
爲乘陽氣行

時令不是宸遊玩物華  
何モ知ラヌモノハ天子ガ正月何ニシニ通ラルハフト思フテラフガ  
陽氣ニ乘シ民ニタガヤシテ教ヘサツシタルタメアルニ通り冬物

華ヲモテアツシテササニナサルト云テハ  
ナイ時令ハ禮記月令ニアリ

救賜百官櫻桃  
三月晦日櫻桃ヲ廟ニ獻シテ  
スグニ百官ニワカチ下サレル

芙蓉闕下會千官紫禁朱櫻出上蘭  
今日桃ヲ下サルニアタツテ皆禁裡  
ニ千官ヲ御アツメナサレル其桃ハトコ

カラ出ルト云ニヤハリ禁裏ノ上苑花ノ御苑  
纔是寢園春薦後非關御苑鳥銜

カラ出ル紫ト云ヒ朱ト云テ向中ニ對ヲトル

殘三纒一ノチイ内ニシキ天子ノ御座處ヘサレ上ダツリ廟ヘ御薦メ 歸鞍競帶青絲

籠中使頻傾赤玉盤ソコテ皆テ官人座ガ馬ニ乗テ帰ルモ大切ニシテ三月イ糸ナドヲ以テカザリ立タ籠ヘテ持テ歸ル中使ノ近習衆ノ使役人モ赤玉

蕉漿寒サテ此ノ山李ヲタクサン喰ヘハ熱カ弊ルヲワイルト云ガソレヲ氣ズカイセズト飽テ喰タガヨイナゼナレハ御臺處ニ熱ヲサマス漿ノ沙糖水カ沢山ニアルニ依テソレヲモロフテノニダガ

飽食不須愁内熱大官還有ツクリノシボリル也

酌酒與裴迪裴迪ガ世間ノ者ノフタノモシイラ云出シクニハ

酌酒與君君自寬人情翻覆似波瀾ソナタカ余リ世間ヲイキドフアルガ五ニ

朱門先達笑彈冠白首ニナルニテ心易フ合フタ中デモチト貪之ニナルト逢テモ見ヌフリ

動春風寒春ノクニ州モ細雨ニ逢テ心ヨクソダツト草ヲ以テ小人座ノ雨露ノ恩ニ預テ立身ヲ

友カ立身ヲシテ歴々ニ成テイルニ立身ヲ取持テクルカト 艸色全經細雨濕花枝欲

思テ彈冠待テイルバ結句アホフモト云テ笑フヤウニスル 艸色全經細雨濕花枝欲

人情ノアテニラヌト云忽ヒツクリカリテ波瀾ノ如クミトタ中ニ易ル 白首相知猶按劍

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二此此二句比興テアル 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

二足ラカマワズニラクガヨイ加餐裴迪ヘ 世事浮雲何足問不如高臥且加餐

テ引込テイラレタヤウノモノギヤ此ノ藪若ノ  
 真向フ六一峯が高ク晴レ切テ境地モ面自  
 鳥モ食時ノ頃ヲキツケテサバトモロフテ喰  
 ラテ歩テミハ空林ニ木ノ葉ノ落ル音ノミキ  
 進水定侵香案  
 濕雨花應共石牀平  
 深洞長松何所有儼然天竺古先生  
 坐禪セラル坐禪石ノ上ニ雨  
 花ガフリツテ真平ラ成テス  
 ニガアルト思テソゾイテミタレハギツトシテ  
 立テコナル佛ヲ先生ト云フ酉陽雜俎ガ出所  
 テアル

奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望

之作應制 李澄

別館春還淑氣催三宮路轉鳳皇臺  
別館即手留春宮ヲサスアタカ淑  
 氣ガ催シテ日々ニ春ノカミウ成テク

山積翠來  
段々ニ雲モ晴レ寒氣モナク散レテク  
 雨モハレテ南山ノ青モミハキタリ 御柳遙隨天仗發林花不

待晚風開  
御幸道ノ並木ノ柳ガ行幸ニ隨テ段々ニホコロビ  
 林ノ花ナドモ晚風ヲ待テ朝カヒライテアリ 已知聖澤深無限更

喜年芳入睿才  
下ノ句ヲ云々メニ元ヨリ天子ノ御恩沢ノ草木ニテモ限リナクユキワツタト云  
 子ノ睿才ノ詩ノ御趣向ニ  
 入ト云ハヨロコビイコトデアル

送魏萬之京 李頎

朝聞遊子唱離歌昨夜微霜初度河  
二句訓解ノ注カ悪イ○遊子ト云ハ旅人  
 ノイニル今朝承レ共元カ離歌ヲ唱ヘ

鴻雁不堪愁裏聽雲山況是

客中過  
殊ニヒトリホツクユカルコトニ物サビシイ中ニ雁ノナクヲ聞ニ堪ヘラレハ  
 山路ハ常ニサヘヨウナイモノチヤニシテ客中ニ過ルコトユイユク悲カラフ 關城曙色

催寒近御苑砧聲向晚多  
都近フ成タナラハ秋モ未ニ成テ冬ニキ砧ノ音  
 ウツ声モ格別多ク寒モ多イテアラフ 莫是

長安行樂處空令歲月易蹉跎  
サテコナタニ云テヤルコトカアル長安ハ面白イ外テ常  
 ニ行樂バカリシタクナルホドニ其元モ行ホバカリニ

寄盧司勳員外

流澌臘月下河陽州色新年發建章  
流澌ト云ハ水ノ流ルコトヲ臘月ノ未イ  
 ニ水モトケテ河陽アタリヲ乘リテ

寄盧司勳員外

流澌臘月下河陽州色新年發建章

スニヨイ時分チヤ定メテ其元ノ都ニキツ  
カレタリハ草色モエ出テ新年デ有ラフ  
秦地ハ即長安ナリ立春日ニ太史カ立春日ヤト云フヲ傳ヘルナルカ其時分并ゾ面  
白カラ其元ハ郎官デ器量スケタ人ユヘニ天子ノ御目ニトナリ柱ニ題セラルテアラフ  
歸鴻

欲度千門雪侍女新添五夜香  
歸雁都ニ渡ルナトヲ禁裏ニキイテイヤルデ  
アラフ郎官ノ丁ニ女官タチ毎朝其元ヲ裝

束ニ香ヲタキ 早晚薦雄文似者故人今已賦長楊  
早晚ト云ハ早イカ遅イカラ  
ソエルデアラフ 楊雄カ文司馬相如ニ似タルヲ以テ成帝ノ時勸ラレタト云故事アリク

楊雄カ文ニヲトマ程ニ似セテ今其元ノ故人ヲレガ長楊ノ賦ヲ書テ置タニ依テ早イカ遅イカ取持テ立  
身ヲサセテクレラレ 楊雄カ文司馬相如ニ似タルヲ以テ成帝ノ時勸ラレタト云故事アリク

題璿公山池  
璿公ハ山居ノ僧テ庭ノ  
蓮池ナトヲ見テ作ル

遠公遁跡廬山岑閑士幽居祇樹林  
璿公山池廬山ノ惠遠法師ノ跡  
ト同シトナル開士ハ貴シテ云尊イ

璿公ノ奥深フ幽居シテ 片石孤雲窺色相清池皓月照禪心  
靜ナ廬ヲ  
祇樹林ノ内ニイラル

移ラ清ラカナ月モ物靜ニ出テ璿公ノ禪心ヲテラシ 指揮如意天花落坐臥閑  
タ石モ孤雲モ盡ク開キテ色相ヲ伺フヤウニニ清淨ナ池ニ

房春艸深 此ノ璿公ノ如意ナドヲ振廻サレタラハ奇特カ有テ天花ナトカフルテ有フ 此外俗  
物靜カナ閑房ニ坐臥シテ春艸ノ生ルニカハバクニ深シト云デアアル

塵都不染唯餘玄度得相尋  
サテ此外俗情ノケガラハシイモノニ染ラヌ只俗ナラバ  
惠遠トアソシタ許玄度ガヤウナ者ハカリ許ルシテ

寄セ  
ラル

寄慕母三  
慕母ハ二字氏ナリ三ノ絶句  
ニニタリ洛陽ノ縣ノ令ニ成テテカ

新加大邑綬仍黃近與單車向洛陽  
今新タ大邑ヲ加ラヒテ洛陽ノ縣令ニ  
成テ行カガ印綬ノ色ハヤリ元ト如

ク黃色デ位ハチカフ此間ニツ 顧盼一過丞相府風流三接令公香  
行トクハ

ラハワキトイハスニ中書令ノ役所丞相ノ府下ニ行テ顧盼シヤルデアラフコレヨリシテ元ヨリ 南川 粳稻  
風流トハ相ノクニ節々ニクデアラフ一度ト云ニ度ト云ニ數限ルヲテナイ令公香ハ荀彧ガ故事ナリ

花侵縣西嶺雲霞色滿堂  
其元ハ洛陽方ガ上ナ人ユヘ南川マタリノ稻ノ花ガソツテ  
縣ヲ侵シテ生レコムデアラフ潘安仁ガ故事ヲ用テ云西嶺

雲霞ノ堂ニ滿テ詠テイヤルデアラフ 共道進賢蒙上賞者君幾歲作臺郎  
役人ノヒマアルヲ好シトスルユコヲタシ

判ニ天子ノ賢者ヲスメタモノニ御褒美ヲ賜ハルト云ガ其元ノヤウナ賢者ハスムル人モ多カラフ  
ニ依テモナク郎官ナトニナルデアラフ

送李回

知君官屬大司農諒業驪山職事雄  
大司農ト云ハ漢以來九卿ノ役テ天下  
運上ヲ取立ル役チヤ屬ストイハ下役

ニ成タモノトスル金銀ヲ取扱フ役ニシゴナイガアル李回ハ潔白ニ勤ルヤウスヲ作ル其元司農ノ下役ト云  
公燕テ知テイル此度天子ノ驪山ニ行幸ナサルニツイテ先達テユキテ世話ヲイタシセイト詔リヲウケテユ

七律

七

カル、役ガトイヒ  
スグレタ義アル  
天子ノ私ツカイニナルニ依テ御納戸藏ニ納メル驪山ニ湯池カアル仙液トイハ  
湯池ノトミル今行幸ニツイテキテイルニ人ニルコナラヌ仙液ノ離宮ニ注クヲミル  
千巖曙雲旗

門上十月寒花輦路中  
離宮ヲツケテ山上ニカリ御殿カタテ、スグニ旌旗ヲタテテ  
ステ門カエシテアルニ旗門ト云十月時分ハ菊ナドカ盛り

不親聲名與文物自傷留滯去關東  
ニ咲テ天子ノ御輿ニメシテ御覽  
ナサルヲ御供シテミラルテアラフ  
ルニ他国ニツイテ都ノ聲名文物ノスグレタヲミルコナラヌ又關東ニ留滯シテ帰ルコトヲ得ルコトヲナラヌハ  
イカサマアサマノイコトデアアル

宿瑩公禪房聞梵

花宮仙梵遠微微月隱高城鐘漏稀  
梵トハ梵音ニフミラツケテウタフ声明テ  
アル古ハ日本ニモ傳テ有タト云〇フシテ

夜動霜林驚落葉曉聞天籟發清機  
夜ニ兼シテ動ケハ霜林ニ散スルニ其ノ  
聲ニ驚テ落葉カト思ハレ声ノ高フナ  
リテ天籟ニ和シテナルヲトツクリトキイテ

蕭條已入寒空靜颯沓仍隨秋雨飛  
イバイコヲ吾心モ清淨ニナルヤウニ覺ヘル  
音ヲヒクフニヒイテ唱ルトキハ蕭々トシテ寒空ニ入り靜ニキクニタエガタイ  
其声ハ秋雨ニ托シ颯沓トアルガ如ク寂々トシタヤウステアル  
始覺浮生無住著頓

令心地欲歸依  
コノ処ニ來テ梵ヲキイタニツイテハ夢ノサメタヤウニ成テ始テ浮世ニ住者トイ  
ト云コトヲ悟テミタハ俄ニ吾心ガ清淨ニ成テ佛道ニ歸依スルニ成タ

贈盧五舊居

物在人亡無見期間庭繫馬不勝悲  
物ハカワラスモトノ如クアリナガラ人  
ハ死去テイヌニ相會テ見ル期カナ

窓前綠竹生空地門外青山似舊時  
窓ノ前ニ植テアル竹ナトモ誰レ手入ヲスルト云コトモナイニ空地マデヒロカツテアル  
起句ヲツケテ門前ノ青山ハヤハリ昔ノ如クデアアルソレニツケテモ盧五ヲ思出シ  
悵望青天鳴

墜葉嶺岼枯柳宿寒鷓  
ツコラヲ見マワシテイレハ折節モノサヒシク木ノ葉ガ鳴テ落  
ルマウスイヨク哀レヲ催スツキモノナイ枯柳ノエタニ鳴

憶君淚落東流水歲歲花開知為誰  
ツテイルニテ  
悲ミヲ生シ  
ニテハイヨク思ヲソヘラレテ悲シイ心ナイ花ハ誰レモテアツゴモノナイニ年々イツモノ通りニ  
咲テ花ニモ心ヲイタマシムルデアアル  
盧五カコトヲ思テ淚カ  
落テ東流ノトミラヌヲ

望薊門

燕臺一去客心驚  
此詩ナドハ駱賓王ガ宿温城望軍營詩上同  
祖詠  
一ト度都カラ去リ來テミレハナニカノ

萬里寒光生積雪  
景色モ都トハチガイ叔ト思ヒ心ガ驚ク又燕臺ヨリワキ去ル心ニモミル  
コノ処ハオサエニキテイル營ノ中テ笙鼓ノ声ガ喧々トカヒスレク賑ニキコ

三邊曙色動危旌ノハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

沙場烽火侵胡月ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

海畔雲山擁薊城ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

功還欲請長纓ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

九日登仙臺呈劉明府ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

漢文皇帝有高臺ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

三晉雲山皆北向ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

河上仙翁去不回ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

且欲近尋彭澤宰ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

陶然共醉菊花杯ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

五日觀妓ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

西施謾道浣春紗ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

將萱草色紅裙妬ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

斜ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

誰道五絲能續命ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

杜侍御送貢物戲贈ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

張謂ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

威勢ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

イヲ落ハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒ

銅柱朱崖道路難伏波橫海舊登壇

南海ノ銅柱ノアルヤタリヨリ朱崖郡ナド云マテハ甚タ遠ク道ノナシギナ也

チヤ古ノ前漢ノ伏波將軍馬援カ横海將軍ト云ニ仰付ラレテ手柄ラニタ処チヤ

越人自貢珊瑚樹漢使何勞獬豸冠

越人が都ニ飯伏シテ珊瑚樹ナドヲアノ方カラ貢物ニ差上タト云然レハワザクトリニツカハサルニ及ヒソウモナイモノチヤ獬豸冠即神羊楚執法所服冠也

疲馬山中愁日晚

孤舟江上畏春寒

其元寶ヲ都ニ持テ上ラレハ道々百姓馬ニツケテ上ラレニクタヒレ山中ナトヲ通ラル時ハ日ノクレスウチニ宿ヲトリタイト思テ日ノ晩ルヲ愁(舟路モアルガマダ初春ノ丁ニ風ガアラクテ乘リニクカラフ)

由來此貨稱難得多恐君王不忍看

老子ノ守ヲ出シテ古ヨリ君子ハ得ガタキ寶ヲ不貴トアルニ依テ其元ガ珍ラシイ珊瑚樹ヲ持テ行カレテモウルウシタフ天子ノ見ルニビストテワキ(オシ)ケラシヤウモ知レヌト云テ實ハナブルノテアル

送李少府貶峽中王少府貶長沙

李少府ハ峽中西蜀ノ方流サレ王少府ハ南方ノ長沙ニ

流サレ一首ヲ二人ニ送ルナリ

高適

嗟君此別意何如駐馬銜杯問謫居

サテク笑止ナ義ハ其元此別トハ何ト心得ゴザル心ホフイノテアラフコナタ衆二人ハ

ト謫居ヲ問ナリ

巫峽啼猿數行淚衡陽歸雁幾封書

李氏ハ西方ノ方蜀ノ巫峽ヲ通ラル丁ニユハ

猿ノ物隣ニシテクヲ聽テ悲シウ思テ淚ヲ流サルテアラフ王氏ハ南方衡陽アタリユカルニユハ歸雁ヲミテモ都ノ方ニ狀文ヲコサレタカラフ都カラ文ノ來ヌヲモカナシマルテアラフ

青楓江

上秋天遠白帝城邊古木疎

長沙ノ青楓江アタリカラハ都ハ遙タノユニ心細ク蜀ノ白帝城ナドノ木葉ノニバラニ成夕秋ノ

風景ヲミラレタナラバ

聖代即今多雨露暫時分手莫躊躇

去リナカラ御上ニカスケレテ

御思ノ深イ時分チヤニ依テ別レト云テモ暫クノアイダテ追付召シ歸ヘサルデアアラフホドニ別レヲカナシテ躊躇シテササルナトイサメルテアル

夜別韋司士

高館張燈酒復清夜鐘殘月雁歸聲

コレハ手前ノ座敷デハナイツウナ先ツ結構ナサレキ燈ヲフケテ酒ヲモ隨

分吟味シテトリヨセ夜ノ時ノ鐘モセワシウフキ月モ西傾ク時節ニ雁ノナイテ通ル音ナドノキコル雁ト云ハ兄弟ノワラナルヤウスモコモツテアル

只言啼鳥堪

求侶無那春風欲送行

只啼鳥ノ友ヲ求ルニ堪タリト云マテ何任是非モチイハ追付春ニナルト其元ヲ送ラ子バナラ又侶ヲ求ルトウラハラチヤ

河曲裏沙爲岸白馬津邊柳向城

ユクサキヲ思ヒヤツテ黄河ノ曲リ曲テ沙岸通リハ路ガブククシテ通りニクイ白馬津ナ

トハ柳ガ城ニ向イヒツリトウエテアルヲヒトリミラレバカナシカラフ

莫怨他鄉暫離別知君到處有逢迎

ルニツイテハ暫ク別レルトモ必ズナゲキヤルナ其元ノヤウナオノスケレタ人ハ人ガモテハヤシテ逢迎スルモノデアルト存スル

和賈至舍人早朝大明宮之作

岑參

雞鳴紫陌曙光寒，鶯囀皇州春色闌。禁裡景ヲ云曉方ハ鳥ノナクシニ參内スルマタホシノリト夜ガアケヌユハ寒

ト云○夜ガアケテミタレバ鳥ガ都中ニ金闕曉鐘開，萬戶玉階仙仗擁千官。

朝儀ノ体ヲ云明ケテハフガナルト禁裡ノ千門萬戶ノ度ニ花迎劍佩星初落，柳拂旌

旗露未乾。カ階ノモトニテ花ガウエフダケテアルソコマテユキソクト星モ落テツロク獨有鳳皇

池上客，陽春一曲和皆難。賈至ノ換按ニヒトリ中書ト云ヌクシタモノガシラノ高イ陽春ノ曲ヲ作テコサレタカ和スルノ難クノ誰モマモナラヌ

和祠部王員外雪後早朝即事

長安雪後似春歸，積素凝華連曙輝。長安ノ雪後ノヤウスヲ云ヒ出シテ雪ノ降タケシキヲミレハマツ白ニ成テ春ノ

花サカリノ如クテアルマツ白ナ雪ノ光リ色借玉珂迷曉騎，光添銀燭晃朝衣。

雪ノ白イト馬ノカザリノ玉珂ノ白イカツニ成テ見ワケラヌユハ迷ト云西山落月臨天仗，北

闕晴雲捧禁闈。西山カマツ白フ落月ノ如ク天仗ニノヅミカ、ルヲ能クミレハ雪ノ白イノテア

ル禁裡ノ御殿カ高ク建テアル下ヲ雲ガトリマウシテアルヤウスヤ子ノウエハ聞道仙郎歌白雪，由來此曲和人稀。王員外

白雪ヲウタイ出サレタカスグレテヨイニツイテ  
中々和スル者ハナク此方ヲハ及ビモナイ丁チヤ

西掖省即事

西掖重雲開曙暉，北山疎雨點朝衣。實景ヲシテ我タイル役所ヨリ空ヲ

其間タヲ推シ開イテ朝日ノ光リガ三折節千門柳色連青瑣，三殿花香入紫

微。千門ノ柳モ盛ニシモエ出テ糸ヲ引テ青瑣ニタレニ殿ニ植テアル花ノ香カ平明端笏陪鶴列

天子ノ御座ノ間方ニホイユムニ殿ニ蓬萊紫宸令元ナリ薄暮垂鞭信馬歸。平明端笏ニ立並ニテ參内宦拙自

悲頭白盡不如巖下偃荆扉。畢竟勸カ下手ユニカヤウニ白首ニテテ役替モセズ

九日使君席奉餞，衛中丞赴長水。使君ト云ハ御史

節使橫行西出師，鳴弓擐甲羽林兒。衛中丞ハ節旄ヲ賜ッテ大將ニ成テユカハ

ク落付タ心デ今西域ノ方ハ軍ヲ出テ臺上霜威凌草木，軍中殺氣傍旌旗。一ユハ夷ノ地ヲ自由自在ニカケ廻リ能

氣象ナ若イモハカリ引ツレテユカル預知漢

ニ御史ヲ兼テユカルトユハ威勢モハゲシク霜威凌草木ト置タモノテ草木ヲナヒカス上ユホドノ預知漢



將宣威日正是胡塵欲滅時上二句ウケテ預イカテイル邊塞ユカレテ霜威ヲムラル日カ直ニ胡塵ヲ滅スルニ決定シテア

為報使君多泛菊更將絃管醉東籬コノウヘモ一ダ申スハ送別ノ一ニハ常ノ九月九日ヨリハ販ニウチハヤシラシテ

東籬菊ヲ三ナガフ酒テモノ三ナガフ酒テモ

首春渭西郊行呈藍田張二主簿

回風度雨渭城西細草新花踏作泥郊行ト云ハ城下ハツレヲ用モナイニテラクアルク

初低藍田界ニ在ル昔レ弄玉ガアソシタ山ナドモ雪カ消殘テアリ愁窺白髮羞微祿鄂縣ノ胡公陂ノカラヲ詠ムテイル中ニ春ノ日モ夕陽ニ傾キ

悔別青山憶舊溪ヲツラクト我カ身ノ一ニ氣ヲ付テイレバ何トナク愁ガ生レテクルハ何ユ

聞道輞川多勝事玉壺春酒正堪千ヤ故郷ノ青山ニ別レテ戀シテハ思ハ微祿ヲウケテイルユハ旧溪ニユクモナラヌ

暮春輞州東亭送李司馬歸扶風別廬

柳鞦鶯嬌花復殷紅亭綠酒送君還時節カラ暮春ノ一ユハ柳モイヨク糸

裏山其元カ此方ヘ到來セラレテモ旅ニイラルコトニ函答ノ月ヲミテ早フ故郷ヘ歸リタイト愁ヘ常々

淚痕斑其元ノ扶風ニ歸ラレテ故郷ヘ歸リタラ成テ郷關ヲ望ミ腸モタチキルマウチマ今其元

萬歲樓潤州ノ城上ノ西南ノ隅晋ノ刺史王恭ヲ建タ古迹ナリ

江上巍巍萬歲樓不知經歷幾千秋江水サンクシテアル萬歲樓ハ魏タト

年年喜見山長在日日悲看水獨流上ノ千秋ノ句ヲウチ

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲上ノ千秋ノ句ヲウチ

來テニルニ易ラスアル分ソレハチカテ水ノ流

上云モノハ去テ歸ラヌモノニ悲シク思ル

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

猿猱何曾離暮嶺鷓鴣空自泛寒洲

勤サテ名テイル吾多シ仕合ノワルイ 誰堪サテ名登望雲烟裏向晚茫茫發旅愁出タノカ此  
手ハ水鳥如クワロタハアルク 萬歳樓サテ名上テ風景ヲミテ喜ラモノハアルイ殊ニ  
クレ直ナルト茫々トウケモノク愁ガ生シテクル

題張氏隱居氏ハ家ノ

杜甫

春山無伴獨相求 伐木丁丁山更幽時節ガハ春テ張氏ガ山ゴモリシテイル  
潤道餘寒歷水雪 石門斜日到二依テ伴フ者モナク只独リユキテ求メ尋

林丘ニ谷アリ白ノアタラス外ハ餘寒テ水ノハツテアル処ヲ通テユクテヨリ張氏ノ門ロニ不貪夜識不貪テ夜ヲ識ル

金銀氣遠害朝看 麋鹿遊ラニ句世ヲハナレタ赴テ云山ヲクニ靜ニシテイルハ金銀ノ氣ヲ知

乘興杳然迷出處 對君疑是泛虛舟興ニ乘ン

宣政殿退朝晚出左掖舊史ニ宣政殿之後宣政宣政左右有中書

天門日射黃金榜 春殿晴曛赤羽旗起句訓解ノ註ヨクナイ○天

宮州菲菲承委珮 爐烟

細細駐遊絲宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ菲々ト心ヨフエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩玉カ

雲近蓬萊常五色 雪殘鳩鵲亦多時此時

侍臣緩步

紫宸殿退朝口號紫宸殿ノ御規式ニテ

戶外昭容紫袖垂 雙瞻御座引朝儀アサ紫宸殿ニ出御ノ趣ヲ云フ戶外ハ戸

香飄合殿春風轉 花

覆千官淑景移御妙ノ香ノニホニ春風ニルガツテ御殿中ニチテ香ハニ居ル処ノ官人々チ

畫漏稀聞高閣報 天顏有喜近臣知アケテ六ツヨリ以後カ畫漏テ夜漏ニ對

朝日が出ルト直ニ宣政殿ニカケテアル金字ノ額ニ日カシレカヤキ

細細駐遊絲宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ菲々ト心ヨフエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩玉カ

雲近蓬萊常五色 雪殘鳩鵲亦多時此時

侍臣緩步

紫宸殿退朝口號紫宸殿ノ御規式ニテ

戶外昭容紫袖垂 雙瞻御座引朝儀アサ紫宸殿ニ出御ノ趣ヲ云フ戶外ハ戸

香飄合殿春風轉 花

覆千官淑景移御妙ノ香ノニホニ春風ニルガツテ御殿中ニチテ香ハニ居ル処ノ官人々チ

畫漏稀聞高閣報 天顏有喜近臣知アケテ六ツヨリ以後カ畫漏テ夜漏ニ對

朝日が出ルト直ニ宣政殿ニカケテアル金字ノ額ニ日カシレカヤキ

多ハ表ノ高閣ヨリ告ケ知ラスルガヤウナヤウスヲ御覽シテ天子ノ御キゲンヨイ 宮中毎出

御顔ヲ拜スルト云ハ外ガマノ者ハナラヌ此方ノヤウナ近臣バカリ知ルナキヤ

歸東省會送夔龍集鳳池ニソレヨリ御規式スニ宮中ヨリ左省へ歸ルモ御頭ヲ役ノ尚書中書門下へ送り見舞ニユキテ今日ハ首尾ヨク

曲江對酒

御規式モスニ目出タイナド云テソウシテ手前ノ鳳池ノ中書省ニカヘルコノ時杜于美カ頭ヲ役中書令テアル夔龍ハ夔賢臣コノハ中書令ニ比スカヤウナ重イ衆ニ心易フスルト云ハ外ガマノ者ナラヌナキヤ

苑外江頭坐不歸水晶宮殿轉霏微世ノ不遇ヲ憤ルンデ曲江ノ芙蓉苑御築地ノ外ノ曲江ノホトリニ坐ノ參内ノ

桃花細逐揚花落黃鳥時兼白鳥飛ソヨリノ桃花ヤ揚花ナドノチリユクヤウス黃鳥白鳥ナ

縱飲久拚人共棄懶朝真與世相違吾ガ大酒ヲ飲ラ世間ノモノガ馬鹿ナキヤト云テワ

吏情更覺滄洲遠老大徒傷ラガソレモ覺悟ノ前ト打ステラカ拚ナヤコ頃ハ參内モ心ニソマズ仕ヘ任ナイ情由シテソトル者トハツキアハヌ

未拂衣仕官ニ滄洲ノ赴ガ遠クナルヤウニ思ハルノ滄洲ハ仙人ノイルル處テアルノ老イタサルニテ思ヒ切テ引込モセスニイルト云ハキタナイコトゾヤ只心ヲイタメテイルバカリデアアル拂衣トハ隱者

九日藍田崔氏莊

老去悲秋強自寬興來今日盡君歡秋ハワカイ時サモノカナシニ今テ老去テイヨイヨ面自フナク然レ在自フ心ヲ取直シテ慰

羞將短髮還吹帽笑倩旁人為テミレハ興モ來リ面白ク成テ今日其元ノ家テ歡ラ盡シテ樂ム以下二句以上二句ノ心ヲ云テ老ヲナゲク

正冠古ニ孟嘉ガ落帽ノ時ハ若イニ依テ風流ニ有タカ今吾ガ冠ヲ吹落サレテニタレバ直ニハダアタカ

水遠從千澗落玉山高並兩峰寒景ヲ述テ藍水ヨリ遠ク谷川ノ流ルヤラス面白

明年此會知誰健醉把茱萸仔細看今日コノマツ

望野野外へ出テ蜀ノ西ノ方ヲ吐蕃ガ攻ルソレユニ所ニ番手ヲ置テキツト守テイルヤ

西山白雪三城戍南浦清江萬里橋蜀ノ西ノ方ニ雪ノ降

海內風塵諸弟隔天涯涕淚一身遙海内世界中

惟將遲暮供多病未有涓埃カ比自乱レ立

夕時分ユ兄弟モチリクニ隔テアリ我ハソト遠ク

天涯ノソレニ身ヲ遠クサケテイ生煩ニ涙ヲ流レル

南浦ノ清江萬里橋ノアタリ

海内風塵諸弟隔天涯涕淚一身遙

惟將遲暮供多病未有涓埃

夕時分ユ兄弟モチリクニ隔テアリ我ハソト遠ク

天涯ノソレニ身ヲ遠クサケテイ生煩ニ涙ヲ流レル

南浦ノ清江萬里橋ノアタリ

答聖朝 ツクく吾が身ヲ思テニルニ年ヨリハテ何モ堪ナカヌ逢暮ヲ以テ多病ニフリアテガフ  
テイルヨリ外ハナイスル露ナリ程モ君へ御恩ヲ報スルハナラヌユヘ大古コノミテクナ  
ハテルデ 去リナカラ馬ニ乗テ郊外へ出テ  
跨馬出郊時極目不堪人事日蕭條 見ワタセハ遠クハ三城近クハ人  
事百姓氏ノ家ナトモ日々サビレテクルヲ  
ミテハカマハスハ置カタイドフモ堪忍ナラヌ

登樓

花近高樓傷客心萬方多難此登臨 高樓三間近ク花ノ咲テアルト云モノハ面  
白イ筈デアアルニ何ヲ云テモ今萬方多難  
錦江春色來天地玉壘浮雲變古今 江錦  
ニシテ兵乱ノ初ユ心ナラズ遠國へキテ  
ミルコト面白ク却テ心ヲ傷メル  
ノクアリヲシハ春色イッモ替ラズ來ルガ玉壘山ノ浮雲ヲ見  
大古今変能シテ大替リハテタト王室ノ乱ノコトヲ云フ  
北極朝廷終不改西山寇

盜莫相侵 北極ノ動ヲ以テ天子ノ御座ニ比シテ面ヲイヒトルノ天子ノ御座ト云モノハ改ルト云  
都ハウチ入ト云フハアルイ寇盜ハガナホド  
侵シタト云テ都ヲフルコトハナイ必ス侵ナ  
可憐後主還祠廟日暮聊爲梁甫吟 梁甫吟  
見ハ笑止ナク六朝ノ先主照烈皇帝ノ廟ニ親カラ請取タ大切ノ國ヲ滅シ天下ヲ人ニ奪ハレタ後主劉  
禪モツニ祭ラレテアルト云モノハイコフ外聞ノワルイコトヤンニツケテモ孔明ガコトヲ思ヒ出シ梁甫ノ吟  
ヲナスト云テ今コノ詩ヲ比ス実ハ後主ノヤウチ増モナイ人カ廟ニ祀ラレテアルヲ以テ當時ノ歷々ニラチモナイ  
人カ高位ニ成テイルニ比ス

秋興四首

南方夔州デ秋興ヲ八首作タ中四首又キ出シテアル杜子美ガ詩ハツ  
カントコガナイソビテケツヨイ情ヲハツキトウワヘアラハサスコラモ

玉露凋傷楓樹林巫山巫峽氣蕭森 時分カラ秋ノイユニ  
見ルヤウニ作ル 白露ノイロツイテ楓  
ノ葉モシホレテ三巫山ノ十二  
峯アリモサビカワテニル 巫峽ノ江水  
激シテ波カ高フワキアガリ巫山ノ自帝城ノ  
アタリモ雲ガヒツ付テアルヤウニニテクモリワガ

叢菊兩開他日淚孤舟一繫故園 自露ノイロツイテ楓  
心 去年モ此ノ処へ來テ替々処テ菊ヲニルト思テ菊花ヲ詠テ淚ヲ流シタカ今年モ去年ノ通リニ菊ノ  
花ヲミテ泣ク去年ノ処テ孤舟ヲカリテニツケイテイタカ今年モ孤舟ヲ一ツニツキトメテイ  
テ乘リ由シテ故郷へ歸ルト云フモ

寒衣處處催刀尺白帝城高急暮砧 會歲  
ノ未ノイユ方々デトリイツイテ綿入ノ仕度ヲスル白帝城ノ高イ処テハ暮相ガケニ別シテセワシク砧  
ヲウガシラキクニツケテモ機ノアワレヲヒキヲコ

二

千家山郭靜朝暉日日江樓坐翠微 樓ニ登テ曉方夔州ノ山城ノワリニ家々  
江ノ岸ツタイノ樹ノシゲツタ中ニ建テアルニ依テ翠微ト云フニ毎日  
來テツクリトシテミテイル以下ニ句此テ日々樓ヨリ江水ヲ見ル景ヲ云

信宿漁人還泛泛 樓カ

清秋燕子故飛飛 昨夜カラ居ル漁人カヤツガリマダ舟ニ乗テ浮ミアルト云テシ心ハ吾モア  
ノ漁舟ノ如ク旅中ニウロタヘテイル秋ニテハ燕ハ南國へ歸ルモノチヤガ秋

ノス清秋マデナラマダ燕ノ飛ト我カ  
身ノ故郷ヘカエラヌニ比シテ云フ  
匡衡抗疏功名薄劉向傳經心事違  
匡衡ハ元帝ノ時ニ上疏シテ功名モ高ク多クオレモ上疏スレバ功名サタモノイ劉向宣帝ノ時  
經書ヲ傳テ名ヲアラワシタ吾モ若イ時分カラ經術ヲ傳タケレバ名モアラワシタ若イ時ハ  
心カイコウキダ  
同學少年多不賤五陵衣馬自輕肥  
若イ時分ニ同シク學門ヲ  
テキタ  
立身シテ五陵アタリノ歷タノ富貴ナ者ニ  
成テイルニオレハ此ノヤウニウロタヘテイル

三 玄宗ノコトヲ思ヒ出シテ述ルバカリデ  
別シテ諷スルノデハナイ

蓬萊宮闕對南山承露金莖霄漢間  
蓬萊ノ宮殿ハニシ向ク終南山ニ對シテア  
リ金莖承露盤トハ天ヘモトキソウ

西望瑤池降王母東來紫氣滿函關  
玄宗ノ時分ニハ自  
由ナソウテ西ヘ

雲移雉尾開宮扇日繞龍鱗識  
御望ニナサレト直ニ西王母ガ下リ東ノ方紫氣ガ  
立テ老子ノ下ラセト云是レ實事ヲ云フ

聖顏天子龍顏ヲオホフ外ノ雲ヲ如クナル雉尾扇ヲ百官ノ朝儀ノ時ハワキヘ去レ依テ其時ハ天子ノ  
袞衣ノ御衣ヲメシテゴザル御姿ガ朝日ノ霧ヲ開イテ出ル如クキラクスレ聖顏ヲ拜シテ有タ

一臥滄江鷺歲晚幾回青瑣點朝班  
今ヲモヒテ滄江ニ卧シテイルニツイテ  
ガ  
我モ昔レハ度々朝參ノ郎官ノナニチヨツト  
加テイタラモ有タガコノヤウモヲモヒルモノカナ

四

昆明池水漢時功武帝旌旗在眼中  
都イヲ思ヒヤツテ昆明池ハ漢武ノ時ニ  
ヒニカセラレタ池テ武帝ノ此池テ船軍

織女機絲塵夜月石鯨鱗甲動秋風  
池中ニ  
女ナドモ誰レ見ル者モナク空クウチステアルテアラフ又石鯨トモ  
秋風ニ動テアルテアラフ乱後ノコトニ誰モ手サス者モアルマイ

波漂菰米沈雲黑露冷  
波漂ニ菰米ヲ沈ニテ底ヘ沈ニテシククニ黒雲ノヤウニナク  
蓮房墜粉紅  
昔ハ菰ナドモ人カ取タガ今ハ大方波ニタマヨラテ底ヘ沈ニテシククニ黒雲ノヤウニナク  
テアルテアラフ蓮ナドモ赤ク咲テアルノモ誰レトモモナク空ク散テシククニアラフ

關塞極天惟鳥道江湖滿地一漁翁  
我蜀ヘ來テ關塞ノ鳥道ヲ隔レ江湖  
ノ廣イ間ニ舟ニハカリ乗テ漁翁ノヤウ

關塞極天惟鳥道江湖滿地一漁翁  
我蜀ヘ來テ關塞ノ鳥道ヲ隔レ江湖  
ノ廣イ間ニ舟ニハカリ乗テ漁翁ノヤウ

吹笛  
夔州ニ居テ吹笛ヲ聞テ關山  
月折楊柳下ノ曲ヲ作ル

吹笛秋山風月清誰家巧作斷腸聲  
イツク是ナク吹笛ノ音ガキコルガ折節  
秋ノコト風月モサヘ寒ヲ清フアリ何者

風飄律呂相和切月傍關山幾處明  
起向ノ風ノ字  
カハ知ラヌガサリトト上手ニ入  
ヲ悲シシヤト吹テアル

胡騎中宵堪北走武陵一  
拍子ヲ聞近キコルコノ夜ハ月カトモカモ明カニアラフ

拍子ヲ聞近キコルコノ夜ハ月カトモカモ明カニアラフ

曲想南征 カヤウチ夜スガラ笛ヲキイテハドノヤウナ氣象ナ胡騎モ皆チリクニ成テ帰ルテ有ラ昔漢ノ馬援ガ南征シタ時三門人哀奇生ト云者カ吹ク笛ヲ馬援カキイテカナシテ

武溪深曲ト云ヲ作テ和シタト云フカ 故園楊柳今搖落何得愁中却盡生 秋

サグフヤウニ悲シカツタデアラフ 今ヲ折揚柳ノ曲ヲ吹クヲキケハ揚柳ガハエ出ルヤウニ

ノコニ故園ノ楊柳モ枯レテシマフ時分デアアル 今ヲ折揚柳ノ曲ヲ吹クヲキケハ揚柳ガハエ出ルヤウニ

思ハレテ頗リニ故郷ヲ思出シテ悲シク成テクル 此時夔州ニ居テ城樓ノ閣

閣夜 此時夔州ニ居テ城樓ノ閣

歲暮陰陽催短景 歲ノクレニ晝夜モ短フセハシフ移ル時分テ天涯ノ風雪トコモカモ晴レ渡

天涯風雪霽寒宵 今ニコラモサワギガ止ヌハ

野哭千家聞 番手ノ陣屋テ鼓角ノ声

五更鼓角聲悲壯 今ニ戰カ止ヌ方々テ討死ラシタ者カ多イニ依テ野ニ哭ス声

三峽星河影動搖 今ニ戰カ止ヌ方々テ討死ラシタ者カ多イニ依テ野ニ哭ス声

臥龍躍馬終黃土 今ニ戰カ止ヌ方々テ討死ラシタ者カ多イニ依テ野ニ哭ス声

人事音 今ニ戰カ止ヌ方々テ討死ラシタ者カ多イニ依テ野ニ哭ス声

書漫寂寥 カワリハテタヲミテツク思ニ忠臣ノ卧龍モ謀叛人ノ公孫述カ此ノ処ニ馬ヲ躍ラセテ白

帝上稱シタモ皆土ニ成テシマフタ其レニツケテモナキヤヤ人事故郷ノヲトゾレトドモ

漫ニドフナラフガカニズ ニ寂寥ト打スベク

返照 返照ト云題デア作タハナイ晚景ノ西ヨリサスニテ

楚王宮北正黃昏 コノ外昔楚ノ襄王ノ巫山ノ神女ヲ戀ヒ慕ハレタガ有タト云ニ依テ詠メテ

白帝城西過雨痕 コノ外昔楚ノ襄王ノ巫山ノ神女ヲ戀ヒ慕ハレタガ有タト云ニ依テ詠メテ

返照入江翻石壁 コノ外昔楚ノ襄王ノ巫山ノ神女ヲ戀ヒ慕ハレタガ有タト云ニ依テ詠メテ

歸雲擁樹 コノ外昔楚ノ襄王ノ巫山ノ神女ヲ戀ヒ慕ハレタガ有タト云ニ依テ詠メテ

失山村 直ニ夕日ガ江ニサシコシテ石壁ノ影カ江中ハサカサマニサシコシテ見元カト思ハ襄王ノ花

年病肺惟高枕 今ニ年寄テ病ハアリテトノ身テハナイニ依テ

絕塞愁時早閉門 只寐バカリイル此ノヤウナ絶塞ニ來テイルモ

不可久留豺虎亂南方 只寐バカリイル此ノヤウナ絶塞ニ來テイルモ

實有未招魂 カヤウチ豺狼虎ノヤウチ惡人カ大勢イテ乱ラ起ヌ外ニ留ルモノハナイニ歸ラフトハ思フケレ度々

登高 兵乱ガミイテ魂カ散タカラ招テカエラ子ハ歸ラレヌ

風急天高猿嘯哀 秋ノ未九月ノコニ風モハダシク空ヲモス

渚清沙白鳥飛迴 三ノホリ寒イニ猿モ物悲フ嘯キ殊

無邊落木蕭蕭下 向ヲミレハ山モ峯モ二面ニ木ノ葉ノチル音カモノ寒クキヌテ

不盡長江滾滾來 江水カ不尽ニ常佳ラタニ流ル哀々水ノ不絶負ナリ

萬里悲秋常作客 萬里悲秋常作客百年

百年 萬里悲秋常作客百年

七律

多病獨登臺

吾カ身ハ萬里ヲ隔テ來年モクハモ旅客ト成テイルニハ秋ノ艱難苦

恨繁霜鬢潦倒新停濁酒杯

カウニ艱難六カリ出逢ニ頭モ一白テリ老衰ニ酒ヲ止メ

闕下贈裴舍人

闕下ハ禁裏ノ御門下ナリ

錢起

二月黃鸝飛上林春城紫禁曉陰陰

二月ハ春盛リニ鶯ナドカ鳴飛テ上林モ陰々トクモリワタシテニル

樂鐘聲花外盡龍池柳色雨中深

長樂宮曲輪ナドモ花ガサカリニ咲テア其中ヨリ

陽和不散窮途恨

長樂宮曲輪ナドモ花ガサカリニ咲テア其中ヨリ

羞將白髮對華簪

我カ文章ヲ天子ノ御覽見テモ久シイヲチカ今ニ御トリアゲモノク歳自ルニ

和王員外晴雪早朝

紫微晴雪帶恩光繞仗偏隨鴛鴦行

禁裡大庭ナド昨夜降夕雪ガ今御規

長信月留寧避曉宜春花

式ルル処テニルユ天子ノ御恩ヲウケテ雪

滿不飛香

西ノ方長信宮ノ上ハ降アル雪ガ月ノ如クツクヤリ曉ノ目ニテ面白ク

凝清禁已覺輕寒讓太陽

禁裡ノ立並ニテアル御殿ヘフリシテアル気色ハ独カクツ

題柱盛名兼絕唱風流誰繼漢田郎

元ヨリ其元

自鞏洛舟行入黃河即事寄府縣寮友

鞏洛ヨリ舟テ

夾水蒼山路向東東南山豁大河通

鞏洛ノ西ノ方ハ山テ谷アインヤウナセニイ処ニ東

寒樹依微遠天外夕陽明滅亂流中

北ヲ望見ハ遠イ山ノ樹

孤村幾歲臨伊岸一雁初晴下朔風

伊水

為報洛橋遊宦侶扁舟

洛陽友々子

不繫與心同

題ヲ知ラズニ註ニハ訓解ヲ註ナク此詩ヲ作テ寮友ニ送ラカク多ク洛陽友々子

韋應物

乘リ下ノ北ノ方

黃河入

即景ヲ作テアト

役者

居寮友ニヨセルニテアル

鞏洛

西ノ方ハ山テ谷アインヤウナセニイ処ニ東

大河

通

朔風

北ヲ望見ハ遠イ山ノ樹

扁舟

洛陽友々子

題

知ラズニ註ニハ訓解ヲ註ナク此詩ヲ作テ寮友ニ送ラカク多ク洛陽友々子

乘

下ノ北ノ方

贈錢起秋夜宿靈臺寺見寄

郎士元

石林精舍武夷溪東夜叩禪扉謁遠公唐太宗諱月在上方諸品靜心持半偈萬緣空案內云遠公如高僧逢之可也

古道行應遍落木寒泉聽不窮山谷云落木音泉流音更憶雙峰最高頂此心期與故人同又其上雙峯高外

長安春望中唐亂後二都盧綸

東風吹雨過青山卻望千門艸色閒春云東風上春雨青山降家在夢中何日到春來江上幾人還川原繚繞

浮雲外宮闕參差落照間川原毛大誰念為儒逢世難獨將衰鬢客秦關吾儒者成陸勝宅秋雨中探韻同前張南史

偶碎疆同被秋風教憶鱸更聞寒雨勸飛觴秋風歸心莫問三江水旅服從沾九日霜常有垂楊來鹽州過胡兒飲馬泉李益

邊塞塞馬承綠楊著水草如烟舊是胡兒飲馬泉

九月九日詩三探韻上六韻字下秋雨上書下其題先作多名凡其題作故同前上本集依置下同人永日自相將深竹間園

九月九日九詩三探韻上六韻字下秋雨上書下其題先作多名凡其題作故同前上本集依置下同人永日自相將深竹間園

九月九日九詩三探韻上六韻字下秋雨上書下其題先作多名凡其題作故同前上本集依置下同人永日自相將深竹間園

九月九日九詩三探韻上六韻字下秋雨上書下其題先作多名凡其題作故同前上本集依置下同人永日自相將深竹間園

九月九日九詩三探韻上六韻字下秋雨上書下其題先作多名凡其題作故同前上本集依置下同人永日自相將深竹間園

九月九日九詩三探韻上六韻字下秋雨上書下其題先作多名凡其題作故同前上本集依置下同人永日自相將深竹間園



飲馬泉ノヤウスヲ見ル川ハ冬通リノ揚柳ガ糸ヲタレテ水ニキ草ナドモコキリト  
如煙モエ出ルヤウステアルコトハ昔胡兒ガ馬ノ水カワ冬ニ去ル以下有訓解註ヲナシ

幾處吹笳明月夜  
何人倚劍白雲天  
フハ何者ガ番手ニテ有冬ノ只一フリノ劍ヨリカツテ秋空テ笳ヲ吹ク音ヲモ  
去年ノ冬通タリハコトハ冬モ水ガ冬ニハ  
ツテアリサヒシカツタ方今キテニハ春ノ

莫遣行人照客鬢  
恐驚憔悴入新年  
モ後ヲハ  
テ

登柳州城樓寄漳汀封連四州刺史  
コト詩ハ柳宗元柳州  
ハ流サレテ奉行ニ成

柳宗元  
城上高樓接大荒  
海天愁思正茫茫  
吾ガイル柳州ノ高樓ヨリ向ヲ見ワタシタ  
外ガ世界ノハヒキゾノイテアル南海ノ天

驚風亂颭芙蓉水  
密雨斜侵薜荔牆  
ドット吹ク  
風ガ城ガ

嶺樹重遮千里目  
江流曲似九迴腸  
故郷ヤ其元タチノイル方ヲ望ミ見ヤウト思テモ嶺樹ガイルエモ目ヲ遮テ  
ニセマ江流ノ宛轉曲テ流ラニテモ腸ニシタル九迴腸似テカナシイ

共來百粵文身地  
猶自音書滯一鄉  
ニ皆カマウニ夷ノ地流サレニ成テ遠ノ隔テイルニハ杖文ノ便リスニ編ニトシテ  
思ヤウテラチバニテ相見ク分ラヌ百粵文身共ニ壯子ノ字ニクノ夷ノヲ云

秦和庫部盧四兄曹長元日朝廻  
韓愈

天仗宵嚴建羽旄  
春雲送色曉雞號  
フ元且ノコト天子ノ御先拂イノ役人トカマダ  
夜ノアケヌウチカラ羽旄ヲタケ番ヲシテ

金爐香動螭頭暗  
玉佩聲來雉尾高  
御爐ノ香  
氣ガ動テ

承北極儒冠列侍映東曹  
太平時節身難遇  
郎署何須笑二毛  
ソウスルト北面ノ武王臣女我服シテ走り向ヒキツクイテ護衛シ  
テラリ文官ハ冠ヲツラ子テ東ノ方ヨリ西ノ方ヘキツクイテ南  
ラカヤウチ御規式モカカニア  
ツテ世ノ中ノ太平ナリ

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

七簡  
明和七年寅七月

京室町通六角通下町 書林田原勘兵衛梓

ニセノウ

